

平成 23 年度

群馬大学大学教育・学生支援機構
報 告 書



群馬大学大学教育・学生支援機構

ま え が き

1. 大学教育センターの改組・再編

本学では、学生の教育ならびに生活を支援するための組織として大学教育・学生支援機構を設置し、機構と学部が連携しながら、学士力を身につけた実社会で活躍できる人材の養成を進めてきた。大学教育センターは、機構において、教養教育を推進するための中核組織としての役割を担ってきた。

今後も社会の要請に応じて、学士力の基礎となる広い視野、国際性、就業力の基礎を身につけさせ、専門教育へのスムーズな展開を可能とする教養教育をより強力に進めていくためには、施策を企画立案し、これを検討して実施する、機動的な体制の整備が必要であることから、次のとおり大学教育センターを教育基盤センターへ改組・再編した。

具体的内容は、以下の通りである。

- 1) 大学教育の基盤である教養教育を推進するとともに、専門教育に共通する教育の基盤を整備するための組織として、大学教育センターを「教育基盤センター」に改組した。
- 2) 教養教育及びこれに関連した教育体制のあり方を検討するために、教育基盤センターに教育企画室を新設した。教育企画室は、センター長と連携して、教養教育に関する企画立案等を実施する。
- 3) 教育基盤センターと各部局との連携のため、センター長の下に教育基盤センター運営委員会を置く。
- 4) これまで教養教育の企画運営を行ってきた共通教育企画部会を、教養教育の運営を中心に行う部会に改め、教養教育部会とする。部会を構成している各専門委員会は、科目委員会に名称変更し、科目集団登録者から選出される2号委員の定数を、委員会の実情に応じて柔軟に扱うこととする。また、人文・社会系、自然系については、人文・社会科学、自然科学に名称変更を行う。
- 5) 教養教育の外国語教育については、外国語教育の充実を図るため、将来の外国語教育センター化を視野に入れて、教養教育部会とは別に、外国語教育部会を設置して運営する。
- 6) 大学教育の改善評価等を行ってきた教育方法企画部会は、幅広く大学教育の改善に取り組む部会として、教育推進部会に改める。
- 7) 上記の教養教育部会、外国語教育部会、教育推進部会は、教育基盤センター運営委員会の下に置く。

「平成 23 年度 群馬大学 大学教育・学生支援機構」報告書 巻 頭 言

大学教育・学生支援機構

副機構長 吉 田 亨

平成 18 年度に組織された群馬大学大学教育・学生支援機構は、平成 23 年度より、4 つのセンターの一つである大学教育センターを、教育基盤センターへと改組しました。この改組は、平成 22 年度に、平塚浩士前機構長のもとに組織されたワーキンググループでの議論を踏まえて、実施に移されたものです。

大学教育センターは、大学教育の改善と教養教育の円滑な運営を目的としていましたが、教育基盤センターでは、全学に共通する大学教育の基盤整備と教養教育の円滑な運営が目的となりました。この目的達成のために、企画立案を担当する教育企画室が新設されました。また、従来の共通教育企画部が教養教育部会に、教育方法企画部が教育推進部会に改められ、外国語教育部会とともに、教育基盤センター運営委員会の下で、具体的な業務に当たっています。

教育企画室では、平成 25 年度からの実施に向けて、時代に即した教養教育科目の新たな構成を検討しました。その結果、科目区分を「教養基盤科目(学士力育成)」、「教養育成科目」、「専門基礎科目」とすることになりました。また、「教養基盤科目(学士力育成)」の中には、授業科目「就業力」を設けるとともに、全学生必修の授業科目「学びのリテラシー」を開講することとなり、平成 24 年度には試行授業を開設する予定です。

学生の大学生生活全般を支援する学生支援センター、入試業務と入試広報を担当する学生受入センター、学生および他の大学構成員の健康支援業務を主務とする健康支援総合センターは、これまで通り、活動を続けています。

本機構の業務に関する報告書の発刊は、今回が 6 回目となりますが、本学学生の大学生生活をより豊かなものにするため、この報告書に基づいて活動結果を検証し、各センターの新たな方針を構築して今後の活動を展開していきたいと考えています。本学構成員の皆様の益々のご支援とご協力をお願い申し上げます。

なお、本報告書の作成に当たり、各センターの活動を担い、日々忙しく活動している中で、ご協力頂いた教職員の皆様、また執筆に当たった関係者の皆様に深く感謝致します。

目 次

| | | |
|----------|------------------------------------|-----------|
| 1 | 教育基盤センター | 1 |
| 1.1 | 教育企画室..... | 1 |
| 1.2 | 教養教育部会..... | 2 |
| 1.2.1 | はじめに..... | 2 |
| 1.2.2 | 平成23年度活動概要..... | 2 |
| 1.2.3 | 平成23年度活動内容..... | 3 |
| 1.3 | 外国語教育部会..... | 5 |
| 1.3.1 | はじめに..... | 5 |
| 1.3.2 | 英語習熟度別クラス編成, および英語アチーブメントテスト..... | 5 |
| 1.3.3 | TOEIC IP..... | 5 |
| 1.3.4 | TOEFL ITP..... | 5 |
| 1.3.5 | e-ラーニングの推進..... | 6 |
| 1.3.6 | ドイツ語技能検定試験・フランス語技能検定試験..... | 6 |
| 1.3.7 | ドイツ語・フランス語の共通アチーブメントテスト..... | 6 |
| 1.3.8 | 工学部の英語教育カリキュラム改変..... | 7 |
| 1.3.9 | その他..... | 7 |
| 1.4 | 教育推進部会..... | 8 |
| 1.4.1 | はじめに..... | 8 |
| 1.4.2 | 全学FD..... | 8 |
| 1.4.3 | ベストティーチャー賞..... | 8 |
| 1.4.4 | 教養教育授業評価..... | 33 |
| 2 | 学生支援センター | 85 |
| 2.1 | 入学料免除及び徴収猶予..... | 85 |
| 2.1.1 | 免除申請者数, 免除者数..... | 85 |
| 2.1.2 | 徴収猶予申請者数, 徴収猶予者数..... | 85 |
| 2.2 | 授業料免除及び徴収猶予..... | 85 |
| 2.2.1 | 免除申請者数, 免除者数..... | 85 |
| 2.2.2 | 徴収猶予申請者数, 徴収猶予者数..... | 85 |
| 2.3 | 寄宿料免除..... | 85 |
| 2.3.1 | 免除申請者数, 免除者数..... | 86 |
| 2.4 | 奨学金..... | 86 |
| 2.4.1 | 日本学生支援機構第一種奨学生数(平成23年10月1日現在)..... | 86 |
| 2.4.2 | 日本学生支援機構第二種奨学生数(平成23年10月1日現在)..... | 86 |
| 2.4.3 | 日本学生支援機構以外の奨学生数(平成23年10月1日現在)..... | 86 |
| 2.5 | 学生相談体制及び学生相談..... | 86 |
| 2.5.1 | 学生相談体制..... | 86 |
| 2.5.2 | 主な相談事項..... | 86 |
| 2.5.3 | 学生相談アンケートの実施及び活用..... | 86 |

| | | |
|--------|---------------------------|----|
| 2. 6 | 授業欠席状況調査 | 87 |
| 2.6.1 | 授業欠席者数及び主な欠席理由 | 87 |
| 2.6.2 | 実施方法, 時期 | 87 |
| 2. 7 | 障害学生への支援 | 87 |
| 2.7.1 | 障害学生数 | 87 |
| 2.7.2 | 支援内容 | 88 |
| 2. 8 | 学生教育研究災害傷害保険, 学研災付帯賠償責任保険 | 88 |
| 2.8.1 | 加入者数 | 88 |
| 2.8.2 | 請求種別保険金請求件数 | 88 |
| 2. 9 | 通学証明書, 旅客運賃割引証 | 88 |
| 2.9.1 | 発行枚数及び主な発行理由 | 88 |
| 2. 10 | 学生寮 | 89 |
| 2.10.1 | 養心寮入寮者数 | 89 |
| 2.10.2 | 啓真寮入寮者数 | 89 |
| 2. 11 | 生活支援施設 | 89 |
| 2.11.1 | 食堂 | 89 |
| 2.11.2 | 売店 | 89 |
| 2. 12 | 課外活動施設 | 90 |
| 2.12.1 | 体育施設 | 90 |
| 2.12.2 | 文化施設 | 92 |
| 2.12.3 | 課外活動共用施設 | 92 |
| 2.12.4 | 合宿所 | 93 |
| 2. 13 | 学生団体及び主な活動 | 93 |
| 2.13.1 | 学生団体 | 93 |
| 2.13.2 | 大学祭 | 93 |
| 2.13.3 | 関東甲信越大学体育大会 | 93 |
| 2.13.4 | クラブ・サークルリーダーシップ研修会 | 93 |
| 2. 14 | 研修施設 | 94 |
| 2.14.1 | 北軽井沢研修所 | 94 |
| 2.14.2 | 草津セミナーハウス | 94 |
| 2. 15 | 学生の就職支援 | 95 |
| 2.15.1 | 進路状況及び主な就職先 | 95 |
| 2.15.2 | 全学就職ガイダンス・セミナーの開催 | 95 |
| 2.15.3 | キャリアカウンセリングの充実 | 95 |
| 2.15.4 | キャリアサポート室における情報収集環境の充実 | 95 |
| 2.15.5 | 就職支援の体制強化の充実 | 95 |
| 2.15.6 | 就職活動のための実践的支援の充実 | 96 |
| 2.15.7 | 就職支援BOOKの作成・配付 | 96 |
| 2. 16 | アルバイトの紹介体制の充実 | 96 |
| 2.16.1 | 主な紹介等件数 | 96 |

| | | |
|----------------|----------------------------------|------------|
| 2. 17 | 学生生活実態調査 | 96 |
| 2. 18 | キャンパスニュース群の発行 | 96 |
| 2. 19 | 学生支援センター資料集 | 97 |
| 3 | 学生受入センター | 116 |
| 3. 1 | はじめに | 116 |
| 3. 2 | オープンキャンパス等 | 116 |
| 3. 3 | 入学者の追跡調査 | 117 |
| 3. 4 | その他 | 117 |
| 4 | 健康支援総合センター | 118 |
| | はじめに | 118 |
| 4. 1 | 平成 23 年度年間業務実施概要 | 118 |
| 4. 2 | 学生定期健康診断 | 121 |
| 4.2.1 及び 4.2.2 | 学生の定期健康診断状況 | 121 |
| 4.2.3 及び 4.2.4 | 学生定期健康診断受検状況 | 121 |
| 4.2.5 | 学生定期健康診断における疾患別要観察者数（前橋地区） | 121 |
| 4.2.6 | 学生定期健康診断時に発見された異常者数と事後指導結果（前橋地区） | 122 |
| 4.2.7 | 健康診断時における精神保健調査 | 123 |
| 4. 3 | 外国人留学生健康診断状況 | 124 |
| 4. 4 | ウイルス性疾患抗体検査 | 124 |
| 4. 5 | 健康支援総合センター利用者等 | 124 |
| 4.5.1 | 利用者数 | 125 |
| 4.5.2 | 利用件数 | 125 |
| 4.5.3 | 疾病領域別利用者数 | 125 |
| 4.5.4 | 医療機関紹介の診療科分類 | 125 |
| 4.5.5 | 薬剤別処方日数 | 126 |
| 4.5.6 | 常備薬使用数 | 126 |
| 4. 6 | 健康相談・精神保健相談 | 126 |
| 4.6.1 | 健康相談・精神保健相談の対応内容 | 126 |
| 4.6.2 | 精神保健相談者数 | 127 |
| 4.6.3 | 精神保健相談内容 | 127 |
| 4. 7 | カウンセリング状況 | 128 |
| 4.7.1 | 学外臨床心理士による心理カウンセリング数 | 128 |
| 4. 8 | 教員による教養教育への参加等教育への参加状況 | 128 |
| 4. 9 | 教員による健康管理に関する調査研究業務 | 129 |
| 4. 10 | 健康支援総合センター所属教職員等 | 131 |
| 4. 11 | 健康支援総合センター主催の委員会等 | 132 |
| 4. 12 | 平成 23 年度健康支援総合センター運営委員会委員 | 132 |
| 4. 13 | 健康支援総合センターの全国委員会等出席 | 132 |
| 4. 14 | 学内諸会議への教職員の出席 | 133 |
| 4. 15 | 学内行事实施に伴う救護業務 | 133 |

| | | |
|-------|--|-----|
| 4. 16 | 出版・広報活動 | 133 |
| 4. 17 | 社会貢献活動 | 134 |
| 4. 18 | その他の活動 | 134 |
| 4. 19 | キャンパス・ソーシャルケースワーカーの活動 | 134 |
| 4. 20 | 健康維持・向上相談員の活動 | 135 |
| 4. 21 | 健康支援総合センターの抱える問題点と改善の方向性 | 135 |
| 4. 22 | 健康支援総合センター資料集 | 138 |
| | 平成 23 年度 業務 | 138 |
| | 平成 23 年度 前橋地区学生定期健康診断日程表 | 141 |
| | 平成 23 年度 桐生・太田地区学生定期健康診断日程表 | 142 |
| | 平成 23 年度 学生定期健康診断受検状況（荒牧・昭和地区） | 143 |
| | 平成 23 年度 学生定期健康診断受検状況（桐生・太田地区） | 144 |
| | 平成 23 年度 学生定期健康診断における疾患別要観察者 | 145 |
| | 平成 23 年度 学生定期健康診断結果 | 146 |
| | 平成 23 年度 精神保健調査 | 148 |
| | 平成 23 年度 外国人留学生健康診断結果 | 149 |
| | 平成 23 年度 医学部 1 年ウイルス性疾患抗体価検査 | 150 |
| | 平成 23 年度 利用人数 | 151 |
| | 平成 23 年度 利用件数 | 151 |
| | 平成 23 年度 健康相談・精神保健相談の対応内容 | 151 |
| | 平成 23 年度 疾病領域別利用者数 | 151 |
| | 平成 23 年度 医療機関紹介の診療科分類 | 152 |
| | 平成 23 年度 精神保健相談者数 | 152 |
| | 平成 23 年度 精神保健相談内容 | 152 |
| | 平成 23 年度 薬剤別使用数（処方日数による） | 153 |
| | 平成 23 年度 常備薬使用数 | 153 |
| | 平成 23 年度 学外臨床心理士による心理カウンセリング数 | 154 |
| | 群馬大学保健管理センター規程 | 155 |
| | 保健管理センターの設置について | 156 |
| | 平成 23 年度 学校医・カウンセラー | 157 |
| | 第 12 回（平成 23 年度第 1 回）健康支援総合センター運営委員会次第 | 158 |
| | 第 13 回（平成 23 年度第 2 回）健康支援総合センター運営委員会次第 | 159 |
| | 第二期中期目標・中期計画にかかる 6 年間の実施予定計画 | 160 |
| | 平成 23 年度 健康支援総合センター運営委員会委員名簿 | 161 |
| | 健康支援総合センター規程 | 162 |

1 教育基盤センター

機構改革に伴い、教育基盤センターは大学教育センターを引き継ぐ形で23年度に発足した組織である。センターにはセンター長（教学担当理事・副学長）と副センター長の2名の兼任教員と5名の専任教員がいる。センターには教育企画室のほかに教養教育部会、外国語教育部会、教育推進部会の3つの部会があり、教養教育を中心とした全学の共通教育を企画し、運営、そしてその教育効果の評価を行なっている。

また教育基盤センターでは、初年次学生に向けて、新入生オリエンテーションやウォークラリー、文化講演会など、キャンパス生活を有意義に送るために必要な様々な行事を企画・運営・実施している。

1.1 教育企画室

平成23年度から、教養教育及びこれに関連した教育体制のあり方を検討するために、教育基盤センターに教育企画室を新設し、センター長と連携して、教養教育に関する企画立案等を行った。

議題内容は、次のとおりである。

| 回数 | 年 月 日 | 議 題 |
|----|-------------|--|
| 1 | 平成23年5月16日 | 1. 教養教育改革について 2. その他 |
| 2 | 平成23年6月20日 | 1. 教養教育の問題点について 2. その他 |
| 3 | 平成23年7月11日 | 1. 新教養教育科目の開設区分について 2. 日本語リテラシーについて 3. 教養教育科目の英語の開講コマ数について 4. その他 |
| 4 | 平成23年8月8日 | 1. 新教養教育科目の開設区分について 2. 高年次での選択英語等の開講について 3. その他 |
| 5 | 平成23年9月12日 | 1. 新教養教育科目の開設区分について 2. 日本語リテラシー科目ワーキンググループについて 3. 日本語検定試験について 4. 高年次での選択英語等の開講について（経過報告） 5. 群馬大学学生支援・教育力向上のための経費要求について 6. その他 |
| 6 | 平成23年10月11日 | 1. 新教養教育科目の開設区分について（継続） 2. 日本語リテラシー科目ワーキンググループについて 3. 研究倫理審査委員会について 4. その他 |
| 7 | 平成23年11月8日 | 1. 新教養教育科目の開設区分について（継続） 2. 日本語リテラシー科目ワーキンググループについて 3. 大学院スタンダードについて 4. 平成25年度概算要求及び設備導入計画について 5. その他 |

| | | |
|----|-------------------|--|
| 8 | 平成 23 年 12 月 13 日 | 1. 新教養教育科目の開設区分について（継続） 2. 日本語リテラシー科目ワーキンググループについて 3. その他 |
| 9 | 平成 24 年 1 月 10 日 | 1. 教養教育科目名称について 2. 「日本語リテラシー科目（仮称）」試行授業について 3. 今後のスケジュールについて 4. その他 |
| 10 | 平成 24 年 2 月 14 日 | 1. 教養教育科目の科目名称について 2. 「学びのリテラシー（1）」試行授業について 3. 「日本語検定」及び「語彙・読解力検定」の実施結果について 4. 今後の検討課題について 5. グローバル人材育成 WG について 6. その他 |
| 11 | 平成 24 年 3 月 6 日 | 1. 教育企画室の専任教員について 2. 「日本語検定」及び「語彙・読解力検定」の実施結果について 3. 開放専門科目について 4. 「全学共通科目＋学部別科目」の呼称について 5. 第3回グローバル人材育成 WG について 6. その他 |

1.2 教養教育部会

1.2.1 はじめに

教養教育部会は大学教育センター共通教育企画部が機構改革で発足した組織である。これまでの共通教育企画部は初年次の共通・教養教育に関する企画・立案も担ってきたが、新組織の教養教育部会は、新組織の教育企画室が企画・立案したものを実施・運営するための調整など、実務的な役割を主として担う組織になった。構成メンバーは部会長、副部会長、教育基盤センター副センター長、外国語教育部会長、科目委員会（学修原論、情報処理、健康科学、総合科目、人文・社会科学、自然科学）の各委員長（6名）、学生支援センター（就業力育成支援室）、国際教育・研究センター、生体調節研究所からそれぞれ1名、各学部教務委員（教育学部及び社会情報学部はそれぞれ1名、医学部及び工学部はそれぞれ2名）からなる19名である。

1.2.2 平成 23 年度活動概要

教養教育部会は毎月1回の定例会会をもち、教養教育実施のための諸問題について討議している。平成23年度は5月に第一回の部会をもち、8月の休会を除き、平成24年3月まで計10回の定例会議をもった。

通常業務以外に今年度の大きな課題は25年度から実施予定の教養教育カリキュラム実現に向けて現行カリキュラム改訂の準備作業を始め、原案を作成し、その調整を計ることであった。

平成23年度教養教育部会の主な通常業務は下記の通りであった。

- 1) 次年度教養教育科目開講コマ数の確定
- 2) 次年度教養教育実施体制（担当教員などの確定）について承認
- 3) 次年度教養教養科目等の時間割の確定

- 4) 次年度学年暦の作成・承認
- 5) 非常勤講師（ゲスト講師を含む）採用のための審査
- 6) 教養教育科目の授業に係わる経費などの承認
- 7) 合宿研修費要求に関する審査
- 8) TA の採用に関する審査
- 9) 障害を有する入学志願者との事前相談についての報告
- 10) 放送大学との単位互換科目（追加・変更分）についての報告
- 11) 協定を結ぶ他大学との単位互換科目（追加・変更分）についての報告
- 12) 交換留学生の教養教育科目履修についての報告

これらの通常業務に関係した主な項目及びそれ以外の例年実施の項目を月別に示した。

- 4月 新入生のオリエンテーションの実施
- 6月 平成 24 年度教養教育科目開設必要コマ数の確定
教養教育関係予算案の承認
- 7月 文化講演会の開催
前期期末試験の実施
次年度学年暦案の提示
- 8月 次年度教養授業担当の学部等への照会
- 9月 次年度学年暦案の決定
- 10月 次年度教養教育実施体制について承認
- 11月 ウォークラリーを実施
- 1月 平成 24 年度教養教育科目等授業時間割の確定
- 2月 後期期末試験の実施
- 3月 次年度新入生オリエンテーション計画の作成

1.2.3 平成 23 年度活動内容

通常の活動は例年通り行ない、とくに大きく問題になったことはなく、報告及び審議を進めた。通常の報告及び審議事項以外では平成 25 年度に予定されている教養教育カリキュラムの改訂についての作業が本年度から始まった。

文化講演会が 7 月 12 日に、春に予定されていたウォークラリーが延期となり、秋に実施された。

1) 平成 24 年度教養教育について

先にも触れたように、教育基盤センターでは平成 25 年度の教養教育のカリキュラム改訂を目指している。そのため、来年度の教養教育については基本的に本年度の内容を変えることなく、実務的な対応を主とし、変更は最小限度にとどめた。大きな変更点は平成 25 年度実施予定の日本語リテラシー科目（仮称）の試行授業を平成 24 年度に実施することである。そのための FD を平成 24 年 2 月 12 日に実施した。また 23 年度から習熟度別クラス編成を行なっている工学部の英語クラスは平成 24 年度には 1 クラスの定員を 32 名とし、少人数教育を実施することになった。平成 21 年度から実施してきた総合科目「野菜作りから日本文化を考える」は平成 23 年度を持って閉講することにした。

2) 平成 25 年度実施の教養教育カリキュラム改訂のための作業

5 月開催の第一回の部会で、平成 25 年度に教養教育のカリキュラム改訂を行なう、そのための作業を本年度中に始めることを報告した。カリキュラム改訂の議論は教育企画室会議で進められ、そこで骨子が固まると、教養教育部会で審議する形となった。カリキュラム改

訂では、導入初期の基本理念からのずれが指摘されていた学修原論の見直しが大きな課題となり、学修原論をなくして「日本語リテラシー科目」として新たに学生全員必修科目として課すことになった。12月の第7回の部会でそのための試行授業を24年度に実施することが承認された。試行は各学部の状況により実施形態は異なるが、すべての学部で実施し、計10コマ開講することに決まった。なお「日本語リテラシー科目」はその後の教育企画室会議で「学びのリテラシー」と改称された。

3) 平成23年度文化講演会について

平成23年7月12日(火)にミューズホールにおいて、元群馬大学長赤岩英夫氏が「元素普存則との出会い」と題して講演された。参加者は、本学学生、教職員等150名程の参加者であった。

4) ウォークラリーについて

ウォークラリーは春に予定されていたが雨天で延期となり、後期のスポーツ科学の時限に実施した(11月7日と11月22日)。

1.3 外国語教育部会

1.3.1 はじめに

平成 23 年度、「大学教育センター」から「教育基盤センター」への改組に伴い、「外国語教育部」は「外国語教育部会」となり、大学教育・学生支援機構において平成 20 年度以降取り組んできた諸プロジェクトを継続し、全学の外国語教育の改善を図ってきた。前年度に引き続き、英語習熟度別クラス編成の実施、そのためのデータ収集を目的とした英語アチーブメントテストの実施、TOEIC-IP の実施、TOEFL-ITP の実施、e-ラーニングの推進を行なった。さらに、ドイツ語技能検定試験、ドイツ語およびフランス語の年度末共通テスト、ドイツ語のアチーブメントテストを実施し、受講学生の学力向上の度合いを客観的に計測することに努めた。また、とくに工学部の英語カリキュラムについては、1 クラス 40 名以下とする、習熟度別クラス編成を、前期・後期ともに実施することができた。

1.3.2 英語習熟度別クラス編成、および英語アチーブメントテスト

英語習熟度別のクラス編成は、平成 19 年度に行った英語習熟度別のクラスに対するアンケート調査によって確認された、教員側のきわめて高い評価と受講生の一定の好評価に基づき、平成 20 年度から、希望する学部・学科のクラスを対象として正式に実施され始めたもので、最終的には全学のクラスに英語習熟度別編成が導入されることが望まれる。

平成 21 年度より、工学部応用化学・生物化学科 1 年、保健学科看護学専攻 1 年（保健 A・B クラス）、社会情報学部 1 年、2 年の英語クラスにおいて習熟度別クラス編成が行なわれたが、平成 22 年度には、翌年度以降、工学部すべての学科に対して実施することが計画され、そのため 22 年度末には、工学部および社会情報学部の全一年次生に対して、アチーブメントテストを実施した。このデータをもとに、23 年度の 4 月には両学部の全新生に対して、プレイスメントテストを行い、習熟度別クラス編成を行なった。

プレイスメントテスト 平成 23 年 4 月 4 日（月）

| | | | |
|-------------|-----|--------|-------|
| 14：50～16：00 | 受験者 | 社会情報学部 | 105 名 |
| 16：10～17：30 | 受験者 | 工学部 | 522 名 |

1.3.3 TOEIC-IP

群馬大学では平成 15 年度から TOEIC-IP を、「選択英語 AI」「選択英語 AII」と連動させながら継続的に実施しており、外国語教育部会が中心となって、多くの学生の TOEIC 受験を促している。

実施は年 2 回（7 月／1 月）で、平成 21 年度からは、申し込み手続を群馬大学で直接行うことにより、受験料を低く抑えることが可能になった。平成 23 年度の実施日時、参加者数は以下の通りである。

| | | |
|--------------------------------------|--------|-------|
| 1 回目：平成 23 年 7 月 13 日（水；17:40～20:10） | 実施：参加者 | 160 名 |
| 2 回目：平成 24 年 1 月 25 日（水；17:40～20:10） | 実施：参加者 | 584 名 |

1.3.4 TOEFL-ITP

海外留学を希望する学生にとって TOEFL の成績が要求されることが多いため、群馬大学では平成 20 年度から、TOEFL-ITP を荒牧キャンパスで年 2 回（7 月と 1 月）実施することとした。平成 23 年度の日程と受験者数は以下の通りであった。

| | | |
|--------------------------------------|--------|------|
| 1 回目：平成 23 年 7 月 4 日（月；17:40～20:10） | 実施：参加者 | 23 名 |
| 2 回目：平成 24 年 1 月 11 日（水；17:40～20:10） | 実施：参加者 | 32 名 |

TOEFL-ITP は、10 名以上が参加しないと実施ができないため、今後も外国語教育部会が中心となって、広報に努力を払い、各部局の協力を得ながら、参加者の拡充を目ざしていくこととした。

1.3.5 e-ラーニングの推進

e-ラーニングを推進するために、平成 23 年度も前年度に引き続き ALC NetAcademy2 の説明会（4 月 13 日）を開催した。この e-ラーニングのシステムは、TOEIC の得点向上に直結するため、とりわけ就職および進学に TOEIC を必要としている工学部の学生には、これまで以上の利用を促さねばならない。そのためにも、荒牧キャンパスのみならず桐生キャンパスの二年次生以上の学生の利用を促進すべきであることが再確認された。

1.3.6 ドイツ語技能検定試験・フランス語技能検定試験

群馬大学では、外国語教育部会が実施主体となって、ドイツ語、フランス語担当教員の協力のもと、群馬大学を会場にして、周辺地域の受験希望者がドイツ語技能検定試験、フランス語技能検定試験を受験できるよう継続的に努力してきており、平成 23 年度もドイツ語技能検定試験（5 級 01 級）およびフランス語技能検定試験（5 級～1 級）を、荒牧キャンパスにおいて実施した。実施日時と受験者数は以下の通りである。

ドイツ語技能検定試験

実施日時：秋季試験：平成 23 年 11 月 23 日（水・祝）

学内外の総受験者数：29 名（複数級併願者含む）

*例年 40～60 名の間で推移。本年度は震災の影響からか、関東以北の試験場での受験者数が減少傾向であった。

群馬大学生受験者数：2 名

*ただし書類に学校名を記入していない場合はこれにカウントされない。

*例年 5 名前後で推移。

フランス語技能検定試験

実施日時：春季試験：平成 23 年 6 月 19 日（日）5 級，4 級，3 級，準 2 級，2 級，1 級

秋季試験：平成 23 年 11 月 20 日（日）5 級，4 級，3 級，準 2 級，2 級，準 1 級

1.3.7 ドイツ語・フランス語の共通アチーブメントテスト

第二外国語のうち、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語などの印欧語族の言語学習は、中学での英語授業時間の短縮、高校での英文法授業の簡略化に伴い、同系語族の文法を論理的に理解する貴重な機会となってきている。だがいかんせん英語の学力自体が（さらには言語能力自体が）低下している昨今の大学生にとっては、第二外国語は、学んだところで身につかない（短絡的には「話せないから意味がない」）科目と見なされがちな科目ともなっている。その種の短絡性をアカデミズムの観点から批判したところで、これは我が国の文化レベル全体に関わる深刻な問題が背景としてあるため、第二外国語軽視の動向は一朝一夕で解決できる事態ではない。だがせめて、大学で学ぶ学問に関しては、その学習の達成度が、客観的に測れるシステムがあることが望ましい。

第二外国語のうち、学生がもっとも多く履修しているドイツ語およびフランス語については、学生たちの学習意欲を向上させるために、またその学習の進捗を図るために、21 年度以来実施している共通のアチーブメントテストを本年度も実施した。（週 2 回 1 年間 4 単位（学習時間年間 120 時間*）履修可能な学部学科のうち、週 1 回分を専任教員が担当するクラスで年度末最終授業時に共通問題で実施（試験時間 45 分**））

ドイツ語共通アチーブメントテスト

| | | |
|-----|----------------------|---------------------|
| 実施日 | 平成 24 年 1 月 30 日 (月) | 教育学部 DEF クラス 39 名受験 |
| 実施日 | 平成 24 年 1 月 24 日 (火) | 医学部医学科 14 名受験 |
| 実施日 | 平成 24 年 1 月 25 日 (水) | 社会情報学部 A クラス 11 名受験 |
| 実施日 | 平成 24 年 1 月 30 日 (月) | 社会情報学部 B クラス 26 名受験 |

フランス語共通アチーブメントテスト

| | | |
|-----|---------------------|---------------------|
| 実施日 | 平成 24 年 2 月 6 日 (月) | 教育学部 DEF クラス 29 名受験 |
| 実施日 | 平成 24 年 2 月 6 日 (月) | 教育学部 ABC クラス 36 名受験 |
| 実施日 | 平成 24 年 2 月 7 日 (火) | 医学部医学科 23 名受験 |
| 実施日 | 平成 24 年 2 月 8 日 (水) | 社会情報学部 14 名受験 |

21 年度以来の実施結果からおおむね以下のことが得られている。

* 4 単位 (120 時間) を履修する学生については、平均得点が全国のドイツ語技能検定 3 級ないしはフランス語技能検定 3 級合格者の最低得点とほぼ同等である。

* クラスサイズが 30 名を超えると得点が下がり始める傾向がある。

1.3.8 工学部の英語教育カリキュラム改変

工学部の場合、入試の二次試験に英語が課されていないことから、英語力の低い学生が多数在籍しているが、一方で工学部の大学院進学率は高く、その進学には TOEIC の得点が合否判定に利用されている。また学部・大学院ともに、卒業・修了後ビジネス界に就職する率ももっとも高い学部・研究科であり、職に就いた後も、英語力を要求されることは必至である。そこで前年度の外国語教育部は、群馬大学の学生のおよそ半数を占める工学部学生の英語力を増強するために、大幅な英語カリキュラムの改善を検討した。そして今年度、あらたに教育基盤センター「外国語教育部会」は、これを実行に移した。おもな変更点は以下の 4 つである。

- 1) 週 2 回 (90 分×2 回) の英語授業を履修させる。
- 2) 前期 2 単位、後期 2 単位で、1 年次に 4 単位を取得させる。
- 3) 週 2 回のうち、1 回は文法・読解力の養成、1 回は聴解・会話等、コミュニケーション能力の育成を目指した授業とする。
- 4) 4 月入学時にプレースメントテストを行ない、習熟度別クラスを実現する。

本学では全学的に、卒業要件となる英語の単位は 4 単位となっているが、基本的な英語力の低い学生については、一年次に 4 単位を履修させることが望ましい。そこで週 2 回の英語の授業で 4 単位を取得させるカリキュラムに変更した。また授業形態も、「読解型」と「コミュニケーション型」の 2 種類とし、総合的な語学力の育成を図った。

1.3.9 その他

外国語教育部会は、今年度工学部の英語カリキュラムの改変と 1 クラスの少人数化に取り組んだが、1 クラスの学生数はさらに 30 名以下にすることが理想である。また前期終了時にもアチーブメントテストを行ない、これによってさらに後期の習熟度別クラスを編成し直すことが必要と思われる。また、こうした少人数化と習熟度別クラス編成は、工学部のみならず全学的に実施して行くべきであろう。これらは来年度・平成 24 年度より検討すべき課題である。

1.4 教育推進部会

1.4.1 はじめに

前年度と同様、全学 FD 連続講演会、ベストティーチャー賞選考、教養教育授業評価及び教養教育アンケートを行った。また、初めての試みとして、前年度教養教育でのベストティーチャー賞受賞者による公開授業を実施した。

1.4.2 全学 FD

全学 FD 連続講演会「大学教育のグランドデザイン」④として、平成 24 年 2 月 3 日に、京都大学高等教育研究開発推進センター 大塚雄作教授「実質的学びの場の構築に向けてー つなぐ FD の発想と評価ー」を開催した。

1.4.3 ベストティーチャー賞

平成 18 年度に創設された「ベストティーチャー賞」を継続実施した。

平成 24 年 5 月 11 日に、各学部等から選出された最優秀賞候補者による公開模擬授業、及び、学長・理事・学部長等による審査委員会を開催し、最優秀賞・優秀賞受賞者を決定した。最優秀賞受賞者は、医学部保健学科から選出された山崎恒夫教授（保健学研究科）で、他の受賞候補者は全員が優秀賞を受賞した。今年度は、公開模擬授業を荒牧地区で実施し、桐生地区にも同時中継することで、効果の波及を図った。

昨年度は教養教育から選出された受賞者による公開模擬授業を実施したが、23 年度は教養教育から選出された 3 名の受賞者による公開授業として、後期の授業から 2 回を指定し、教員、学生に公開した。

平成23年度ベストティーチャー賞行事プログラム

1. 日 時：平成24年5月11日（金）13：30～17：30

2. 場 所：大学会館ミュージズホール ほか（荒牧キャンパス）

3. 日 程

(1) 公開模擬授業（13：30～15：45）

場所：大学会館ミュージズホール

司会：横山知行（教育基盤センター教育推進部会長）

1-1 開会

1-2 挨拶・趣旨説明 石川 治（教育・国際交流担当理事）

1-3 模擬授業 最優秀候補者6人

13：35～13：55 ハァリ・キス（教育基盤センター 准教授）

13：55～14：15 藤本 宗利（教育学部 教授）

14：15～14：35 末松美知子（社会情報学部 教授）

（休憩）

14：45～15：05 前嶋 明人（医学部附属病院 講師）

15：05～15：25 山崎 恒夫（保健学研究科 教授）

15：25～15：45 原野 安土（工学研究科 准教授）

1-4 閉会

(2) 審査委員会の開催（15：50～16：20）

場所：大学会館3階 会議室

議長：石川 治 副学長（審査委員会委員長代理）

2-1 審議（審査委員会 役員・学部長等・機構長）

(3) ベストティーチャー賞授与式（16：20～16：50）

場所：大学会館ミュージズホール

進行：吉田 亨（副機構長）

3-1 開式

3-2 審査結果・学長挨拶

3-3 表彰状・副賞授与

3-4 受賞者代表挨拶

3-5 閉式

3-6 記念撮影

(4) 学長・受賞者を囲んでの茶話会（17：00～17：30）

場所：レストランあらまき

進行：吉田 亨（副機構長）

4-1 開会

4-2 受賞の感想

4-3 懇談

4-4 閉会

受賞候補者の選考経緯と選考理由

1 教養教育における選考経緯と推薦理由

教養教育のベストティーチャー賞受賞者の選考は、23年度の教養教育履修者に以下のようなアンケートを実施し、それに基づき実施した。以下に選考の経緯と、その選考理由を記述する。

 教養教育 ベストティーチャー選考用紙 (平成23年度)

平成24年3月

「ベストティーチャー賞」は、専任教員の教育・授業方法の向上を図ることを目的に、優れた授業を行う専任教員を学長表彰するためのものです。

教養教育における選考は、本選考用紙による学生の皆さんの評価に基づいて行われます。宜しくご協力をお願い致します。

群馬大学 大学教育・学生支援機構
 教育基盤センター長 石川 治

[1] 記入者の学籍番号と氏名

学籍番号 _____ 氏名 _____

[2] 優れた授業を行う教員の選考

以下の欄に本年度履修の教養教育科目で、授業内容、授業方法、学生の皆さんとの良好な関係等の観点を総合し、優れていたと思う教員のうち、前期の授業担当教員から2名以内、後期の授業担当教員から2名以内を選び、その「教員名」「授業の曜日・時限」「授業題目名」「欠席回数」「優れていたと思う理由」を記入して下さい。

選考対象となる、教員名、授業の曜日・時限、授業題目名(時間割番号)については一覧表を参照して下さい。非常勤講師、昨年度受賞教員は対象外です。

| | 教員名 | 授業の曜日・時限 | 授業題目名 (時間割番号) | この授業での欠席回数 | 優れていると思う理由 |
|-----|------|----------|-------------------|------------|---------------------|
| (例) | 赤城太郎 | 水・3-4 | 日本文化の形成 (1432) | 2 | 内容がよく整理され、理解しやすかった。 |
| 前期 | | | () | | |
| 前期 | | | () | | |
| 後期 | | | () | | |
| 後期 | | | () | | |

選考経緯

1. 教育基盤センター教育推進部会(11月25日)および教育基盤センター運営委員会(2月27日)で、23年度の教養教育ベストティーチャー賞候補者選考手順を審議し、決定した。
2. 1年後期の成績配付時(3月14,15日(夜間主コースは3月8日))に、学生に「教養教育ベストティーチャー選考用紙(平成23年度)」への記入を依頼し、回収した。記入の対象は、1年次開講のすべての教養教育科目の単位認定教員から、非常勤講師と22年度教養教育ベストティーチャー賞受賞者を除いた教員とした。学生からの記載は、前期2名、後期2名の連記とし、教員名のほかに、授業時限、授業題目名、欠席回数、優れていると思う理由も記載してもらった。
3. 候補者選考手順に基づき、候補者のべ10名をリストアップした。
4. 3月28日に、石川大学教育・学生支援機構長/教育基盤センター長、吉田大学教育・学生支援機構副機構長/教育基盤センター副センター長、相澤教養教育部会長、吉川外国語教育部会長、横山教育推進部会長で候補者選考を行い、3月28日の教育基盤センター運営委員会に結果を報告した。候補者選考にあたっては、得票状況に加え、優れていると思う理由、教養教育への貢献等も考慮し、総合的に判断した。

候補者の推薦理由

(最優秀賞候補者)

大学教育・学生支援機構 Keith Barry 准教授

Keith 准教授は、英語による発信能力を高めるため、1年生全員に必修科目として開講されている英語計83コマのうち、9コマを担当し、履修登録者347名のうち139名(40%)から得票していた。クラス規模は平均40名だが、得票率が高く、担当コマ数が多いこともあり、総得票数が最も多く、履修登録者数あたりの得票数も多かった。

Keith 准教授は、英語の技能(聞き、読み、理解し、発信する能力)を高めるための授業を展開し、教養教育の英語授業を受講している学生たちから、実に高い信頼を得ている。特に、多読教材を用いて英語読解力を養成する授業では、4-5人のグループごとに読んだ本の紹介をさせ、学生たちの英語読書に対するモチベーションを高めている。個々の学生たちの読書量を把握するためにはMoodleを利用し、学生たちの進行状況を見据えながら、個別の指導にも力を入れている。また、読解力・理解力が英語に対する受信能力だとすれば、学生たちによる本の紹介・グループ発表は、英語によって意見を語る発信能力の養成でもある。このようにKeith 准教授は、柔軟な方法を用いて学生の実情にあった英語教育を行っており、学生たちの英語技能の全面的な向上に大いに貢献している。

以上から、Keith Barry 准教授を最優秀賞候補者として推薦した。

(優秀賞候補者)

教育学部 藤本 宗利 教授

藤本教授は、教養教育では、後期に分野別科目(人文)「平安時代の文学」を開講している。履修登録者数は119名と多く、54名(45%)から投票があり、結果として授業題目あたりの得票数が最も多かった。

藤本教授は「平安時代の文学」を担当。難解で読みにくい、古臭くてつまらないと敬遠されがちな古典文学を、わかりやすく読解。当時の社会制度や社会通念などを紹介しつつ、現代の若者にも共通する問題性を提示して、受講生一人ひとりが、平安文学を身近な存在としてとらえられるような工夫をしている。毎回の講義後に課している小レポートにおいても、古典文学好きな受講生から寄せられる「おもしろい・楽しい」とい

う感想のほかに、それまであまり古文に関心のなかった受講生からも、「はじめて古典に興味を持った」という評価を多く得ている。

以上から、藤本教授を、優秀賞候補者として推薦した。

(優秀賞候補者)

工学部 普神 敬悟 准教授

普神准教授は、教養教育では、前期の学修原論で「理系のコミュニケーション力を養う科学実験」を開講している。履修登録者15名中10名(67%)がこの授業題目に投票しており、学修原論として、履修登録者数あたりの得票数が非常に高かった。また、学部別科目の「化学」でも受講生47(投票総数)名中17名(37%)という、多くの受講生からの得票があった。

授業の特徴は、主体的に問題に取り組む機会を多数設け、自ら問題を解決する経験を通じて本当の実力の涵養を目指す点にある。授業ではまず、出版物等のマニュアルに基づいて実験を経験しながら、そのマニュアルの不備を実感し、批判する経験から入る。さらに、この経験に基づいて、実用的な「かゆいところに手の届く」マニュアルの作成に実際に取り組む。次に、作成したマニュアルを、同じように他の受講者に検証させ、ディスカッションを通じて協力しあいながらより良いマニュアルに仕上げる過程を経験させている。テーマは受講生が自由かつ主体的に選択でき、受講生の興味を喚起するよう工夫されていた。また、開講期間を通じてきめ細やかなサポートと助言がなされるなど、受講生からバラエティに富んだ評価を受けていた。

以上から、普神教授を、優秀賞候補者として推薦した。

2 教育学部における選考経緯と推薦理由

選考経緯

1. 現行の選考方法は、平成19年12月26日開催の教育学部将来構想委員会で承認されており、学部教育の活性化というベストティーチャー選考の趣旨に照らし、ベストティーチャー賞受賞者は、その後2年間は選考対象外としている。
2. ベストティーチャー選考の資料とすることを学生に周知し、学部3・4年生全員を対象に専攻の教員2名と専攻以外の教員2名を投票用紙に連記の上、投票させて得票を得た教員21名をベストティーチャー候補教員とした。
ついで、これらの候補教員について平成23年度授業評価結果を所定の算定方法に基づき点数化して選考資料を作成した。
3. 3月29日に学部長、副学部長、教務委員長で構成する選考会議において、選考手順の確認を行い、選考資料に基づき得点の上位2名を平成23年度教育学部ベストティーチャーとして選出した。

候補者の推薦理由

(最優秀賞候補者)

藤本 宗利 教授 (国語教育講座)

藤本教授は、国語教育講座の教員として前期「初等科国語(一)」、「国文学史(古代)」後期「基礎国文学」などの講義を担当。学習指導要領の改訂に伴う「伝統的言語文化」の重視に、柔軟に対応した授業展開を心がけ、小学校から高等学校まで各校種にも適応できる、古典教育の基礎的力の育成を目指した講義を展開している。受講生からは、「わかりやすく楽しい」「古典に興味を持った」という評価を多く得ている。

以上から、藤本教授を最優秀賞候補者として推薦した。

(優秀賞候補者)

伊藤 隆 教授 (数学教育講座)

伊藤教授は、数学教育講座の教員として前期「解析学の基礎」「関数解析学」後期に「複素関数論」「解析学講読」等、主に解析学の講義を開講している。教師側からの一方的講義になりがちな専門の数学を、学校教員を養成する視点から構成し直し、学生の理解を確認しながら進める講義には定評がある。学生との良質なコミュニケーションを通じ、背後にある数学の重要概念を小、中及び高等学校の授業の中に生かせる形で、浸透させている。また、『成長する生きた数学』をテーマとする指導により、ゼミ生の教員採用試験の合格率が極めて高い。さらに多くの向学心を喚起し、ほぼ毎年のように、群馬大、北大、東北大、筑波大、千葉大等の大学院に進学する学生を輩出している。

以上から、伊藤教授を優秀賞候補者として推薦した。

3 社会情報学部における選考経緯と推薦理由

選考経緯

社会情報学部では、教授会において、次のような受賞者の決定方法が承認され、それに基づき受賞者を決定することとなった。

授業評価アンケートにおける授業内容評価(5項目)および総合評価(それぞれ4段階評価)の「教員別平均ポイント」が最も高かった専任教員にベストティーチャー賞を授与する。ただし、次の科目は算定の対象から除く。

- (1) 「社会情報学ゼミ」および「卒業研究」
- (2) 総合評価の回答者数が10名未満の科目
- (3) 複数の教員で担当する科目

候補者の推薦理由

(推薦順位1位の候補者)

末松美知子 教授 (社会情報学部 情報行動学科)

決定方法の通り、授業評価アンケートにおける授業評価(5項目)および総合評価(それぞれ4段階評価)の「教員別平均ポイント」が専任教員の中で最も高かったため。

4 医学部医学科における選考経緯と推薦理由

選考経緯

医学部医学科では、医学部医学科学友会授業向上委員会において学生を対象に実施される授業評価アンケートの結果を参考にして医学科教務部会で審議し、医学部医学科ベストティーチャー賞(ベストティーチャー石井賞)受賞候補者を推薦している。平成23年度は、講師2名が授業評価アンケート結果に基づいて受賞候補者として推薦され、平成23年12月10日に医学教育教授法ワークショップにおいて、両教員による模擬授業が行われた。ワークショップ出席教員からの投票による選考の結果、両教員とも医学部医学科ベストティーチャー賞を受賞した。受賞者について教務部会で協議した結果、4年生ブロック1「腎臓疾患」の講義を担当した前嶋明人講師が群馬大学ベストティーチャー賞候補者として推薦された。

候補者の推薦理由

(最優秀賞候補者)

前嶋 明人 講師 (腎臓・リウマチ内科)

前嶋講師は平成6年群馬大学医学部を卒業後、群馬大学第三内科(現：生体統御内科学)に所属し、群大病院および関連病院にて内科学、腎臓病学・リウマチ病学の研究を積んだ。平成9年大学院に入学し、腎臓の発生や再生、腎幹細胞の研究に従事した。

幸いにも、海外の専門誌（J Am Soc Nephrol, Kidney Int など）に複数報告することができ、その結果が評価され、平成 13 年群馬大学大学院医学系研究科優秀賞を受賞している。平成 15 年から 3 年間カリフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）内科にて腎臓病学の最先端研究に携わり、研究者あるいは教育者として必要な様々な知識・技術を習得した。平成 18 年 4 月に帰国後、群馬大学腎臓リウマチ内科のスタッフとして診療、研究だけでなく、研修医・シニアレジデントの指導、大学院生の指導、卒前臨床実習や内科学講義を担当し、医学教育を活発に行っている。今回、授業向上委員会（医学部 4 年生）が実施した授業評価アンケートの結果、ベストティーチャーとして前嶋講師が選出され、「要点を強調しながら聴き取りやすい声で語りかける授業」「見やすいカラースライド」「要点が整理されたプリント」「練習問題により学習の成果を確認できる」などが高く評価された。

以上の学生の評価およびこれまでの活発な教育活動を考慮し、全学ベストティーチャー候補としてふさわしいと考えられたため、ここに推薦する。

5 医学部保健学科における選考経緯と推薦理由

選考経緯

- 1 教育課程専門委員会（平成 23 年 12 月 15 日開催）で、平成 23 年度保健学科ベストティーチャーの選考手順を審議し、表彰年度限りで退職する者及び前年度受賞者を対象外とすることを決定した。
- 2 後期に各クラス連絡委員を通して、「保健学科ベストティーチャー賞投票用紙」の学生への配付を依頼し、投票は、学生が個々に投票箱に投票するように指示した。
学生からの記載は、3 名まで任意に記載できるものとし、授業科目名、優れていると思う理由を記載してもらった。
- 3 3 月 19 日に教育課程専門委員会で投票結果を基に協議し、上位 3 名を候補者とすることを確認し、学科会議に提案することとなった。

候補者の推薦理由

（最優秀賞候補者）

山崎 恒夫 教授（保健学研究科リハビリテーション学講座）

山崎教授は、平成 23 年度から、作業・理学療法専攻の学生を対象として、「生理学 I・II」「生理学実習」「神経内科学 I・II」「高次脳機能障害作業治療学」を開講するほか、教養教育科目（総合科目）として「心と脳の健康管理」を担当している。

「生理学 I・II」は、生命維持の仕組みを学ぶ基礎医学科目であり、「神経内科学 I・II」は学生にとって最初に学ぶ臨床医学科目である。これらの講義は医学知識に乏しい 1～2 年生を対象としたもので、入門講座としての意味合いがある一方で、国家試験の出題科目として高度な専門知識を過不足なく伝授しなければならない。この矛盾した目標を達成するために、山崎教授は講義の要点を記したプリントを授業ごとに配付し、基礎知識を講義しながら、国家試験で出題されるポイントとその出題意図を学生に伝えている。調査では「生理学 I・II」履修者 41 名中 29 名、「神経内学 I・II」履修者 44 名中 21 名がこれらの科目に投票している。投票理由には“理解しやすい”“授業がおもしろい・楽しい”“要点を押さえて丁寧に説明してくれる”などの意見が多い。こうした学生の評価からも、山崎教授の試みは「入門と専門教育」という相反するレベルの内容を、授業時間内に学生に伝えることに成功しており、低学年を対象とした専門科目講義のひとつのモデルとなる授業ではないかと考える。

以上のことから、山崎教授を最優秀賞候補者として推薦する。

6 工学部における選考経緯と推薦理由

選考経緯

▽平成 23 年 10 月 12 日 平成 23 年度候補者の選出学科を決定（代議員会）

【応用化学・生物化学科／環境プロセス工学科／社会環境デザイン工学科】

▽平成 23 年 12 月末まで 学生投票の実施（学部 3・4 年生及び博士前期課程 1・2 年生）

▽平成 24 年 3 月 19 日 ベストティーチャー選考委員会

▽平成 24 年 4 月 11 日 優秀賞候補者を決定（代議員会）

学長への推薦

| 推薦順位 | 氏名 | 職名 | 所属 |
|------|------|-----|-------------|
| 1 | 原野安土 | 准教授 | 環境プロセス工学科 |
| 2 | 松本健作 | 助教 | 社会環境デザイン工学科 |
| 3 | 板橋英之 | 教授 | 応用化学・生物化学科 |

各候補者の推薦理由：

（最優秀賞候補者）

環境プロセス工学専攻 原野 安土 准教授

本学部ベストティーチャー優秀賞候補者は、「群馬大学ベストティーチャー賞実施要項」に定めるもののほか、「工学部ベストティーチャー選抜要領」の定めるところにより選抜される。これによると、学部 3・4 年生及び大学院博士前期課程 1・2 年次の投票をもとに、教育活動に熱心であり、また、担当授業が公開されている本学部専門教育科目を担当する助手を除く専任教員のうち、単位認定を行った専任教員から選抜することとしている。なお、選考委員会は、本学部の要求する適切なシラバスの記載が行われ、かつ教員評価が確実に実施されている選抜対象者から最優秀候補者を選考するものとする。

環境プロセス工学科では、平成 23 年 11 月に当該学生が履修した環境プロセス工学科の専門教育科目のうち、授業方法、授業内容、学生との良好な関係構築等の観点から優れていると感じた授業の担当教員を 1 名から 3 名選ぶ無記名投票を行った。その結果、原野安土准教授が最も多く得票した。

原野安土准教授の、学生指導に対する熱意と、授業改善に対する不断の努力の結果であり、シラバス掲載等の諸条件も満たしていることから、本学ベストティーチャー賞優秀賞候補者としてふさわしいと判断し、ここに推薦するものである。

（優秀賞候補者）

社会環境デザイン工学専攻 松本 健作 助教

推薦理由：

本学部ベストティーチャー優秀賞候補者は、「群馬大学ベストティーチャー賞実施要項」に定めるもののほか、「工学部ベストティーチャー選抜要項」の定めるところにより選抜される。これによると、学部 3、4 年生および大学院博士前期課程 1・2 年生の投票をもとに、教育活動に熱心であり、また担当授業が公開されている本学部専門教育科目を担当する助手を除く専任教員のうち、単位認定を行った専任教員から選抜することとしている。なお、選考委員会は、本学部の要求する適切なシラバスの記載が行われ、かつ教員評価が確実に実施されている選抜対象者から優秀賞候補者を選考するものとする。

社会環境デザイン工学科では、平成 23 年 10 月中旬以降に、実際に履修した当学科の専門教育科目（卒業研究を含む）のうち、授業方法、授業内容、学生との良好な関係構築の観点を総合して、優れていたと感じた授業担当教員を 1 名選ぶ学生による記名

投票を行った。その結果、半井健一郎准教授が最も多く得票したが、半井先生は新年度から転出されるため、次点の松本健作助教が選出された。学生が記載した主な投票理由は以下のとおりである。

- ・説明がとても丁寧でわかりやすい。気さくに話しかけてくれる。
- ・重要なポイントが授業内で強調されていた。
- ・授業内容がまとまっていて、理解しやすかった。
- ・効率がいい。
- ・学生の理解度を確認しながら授業を進めてくれるので有難い。

(優秀賞候補者)

応用化学・生物化学工学専攻 板橋 英之 教授

推薦理由：

本学部ベストティーチャー賞優秀賞候補者は、「群馬大学ベストティーチャー賞実施要項」に定めるもののほか、「工学部ベストティーチャー選抜要領」の定めるところにより選抜される。これによると、学部3・4年生及び大学院博士前期課程1・2年生の投票をもとに、教育熱心であり、また担当授業が公開されている本学部専門教育科目を担当する助手を除く専任教員のうち、単位認定を行った専任教員から選抜することとしている。なお、選考委員会は、本学部の要求する適切なシラバスの記載が行われ、かつ教員評価が確実に実施されている選抜対象者から優秀賞候補者を選考するものとする。

学部3年生以上が所属する応用化学・生物化学科では、平成23年10月下旬から11月上旬にかけて、実際に履修した応用化学・生物化学科の専門教育科目（卒業研究を含む）のうち、授業方法、授業内容、学生との良好な関係構築等の観点を総合して、優れていたと感じた授業担当教員を1名から3名選ぶ学生による投票を行った。その結果、板橋英之教授が最も多く得票した。学生が記載した主な投票理由は以下の通りである。

- 例を挙げて、理解が難しい内容もわかりやすく説明してくれる。
- 学生との距離のとり方が良い。
- 講義のテンポがよく、内容に引きつけられる。
- 90分があっという間に過ぎていくほど面白い。
- 生徒とコミュニケーションをはかりながらの授業であるため、緊張感があり、かつ楽しい。
- 講義が丁寧でわかりやすい。
- 話術がすごい。

以上の学生の投票理由にある通り、板橋英之教授は、卓越した指導力で教育効果の高い授業を実践したこと、教育方法の工夫や改善に取り組むとともに、意欲的に情熱をもって教育活動に取り組むことで顕著な教育効果をあげたこと、シラバス掲載等の諸条件を満たしていることから、本学ベストティーチャー賞優秀賞候補者としてふさわしいと考え、推薦するものである。

授業・教育方法の紹介

1. 授業名（受賞対象となるもの）
2. 授業の概要
3. 授業で特に工夫をしている点
4. 学生に接する場合に留意している点
5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

—教養教育推薦—

ベアリー・キース（べありー きーす）：教育基盤センター 准教授

1. 受賞授業名

教養教育英語 1年・再履修，工学研究科「論文発表技法」

2. 授業の概要

平成23年度から工学部新カリキュラムが導入され，その立案，設計，実施などに携わってきました。学生は習熟度別にクラス分けされ，リスニングとリーディングを中心に授業が展開されています。リーディングの一環で「多読」学習に重点を置いています。一般的な日本人学生は精読と訳読というスキルを授業で豊富に経験しているが，「多読」にあまり浸みありません。多読とは，文字通り多く読むことによって，処理能力が高められ，より「流暢」な使用者になる（ここであえて「学習者」より「使用者」という立場に立ちます。）

つまり，日本という非英語圏の環境の中で，いかに，英語に触れる機会を増やすことで，なるべくインプットを重視しています。結果として，インプットが多ければ多いほど英語の処理能力が上達し，やがてある程度に英語が使えるようになる。具体的に，学生は図書館から多読教材を借りて一週間に5,000-10,000語を読みます。これは，上に述べたように英語を取得するには必要・不可欠なインプットの最低限のラインです。

このようにして，リーディングは比較的容易に進捗を計ることができますが，リスニングは必ずしもそうではないのです。そこで，学生はリスニング・ジャーナル，いわゆる「交換日記」を作成します。学生は学習内容（英語の省略，イントネーション，ワールドイングリッシュ等）の実例を見つけ，その現象について簡単なレポートを書かせる。これは英語教育では noticing といい，自分の学習した内容を authentic なものであると認識させるのです。

3. 授業で特に工夫をしている点

リーディングでは，多読の履歴はムードル上で学生の総語数を見えています。学生は本を読み終わったら簡単なオンラインクイズを受け，合格したら語数が累積される仕組みです。

リスニングではインターネット等のメディアを使ってニュースなどを題材にしたりしてパワーポイントを用いて，視覚的に分かりやすい授業を目指しています。

4. 授業で学生に接する場合に留意している点

できるだけ学生のファーストネームを覚えるようにしています。また，「学生の立場に立つ」が語学教員としてとりわけ重要だと考えています。つまり，自分も日本語取得，他の言葉を学んだ経験から外国語を学ぶことはいかに大変という認識にたつことです。趣味でもありますが，常に外国語を学ぶことにより，新しい teaching idea などが得られるし，今の学生の喜びとフラストレーションを理解しようとしています。

5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

全く分かりません。長く京都にすんでいましたので、関西弁で突っ込みを入れることがありますので、それが気に入る学生もいるのではないかなあ、と思われま

藤本宗利 (ふじもと むねとし) : 教育学部 国語教育講座 教授

1. 受賞授業名

平安時代の文学

2. 授業の概要

この講義は、『蜻蛉日記』『和泉式部日記』『枕草子』『紫式部日記』など、当時の現実生活を描いた作品を中心に取り上げ、これほど多くの女流文学の開花を可能にした、平安という時代の特色に迫ることを目標としている。当時の結婚制度や社会通念、女性の教育・学問観、労働環境など、女性たちの社会進出を取り巻くさまざまな問題にも話題を広げ、千年前の作品を現代の若者の眼でとらえ返そうとする試みである。

3. 授業で特に工夫をしている点

古典文学は、ともすると古臭いと毛嫌いされがち傾向にある。そのため、講義においては、なるべくわかりやすく、共感しやすいテーマから切り出そうと努めている。この授業では、恋愛、結婚、仕事という観点から、題材となる作品を選んで読解した。現代に生きる若者が、現代にも共通する問題として、古典作品と向き合っていけるような話題提供を心がけている。

4. 授業で学生に接する場合に留意している点

講義においては、一語一語をはっきりと発音するように心がけている。多少早口になっても、受講生が聞き取れるようにという配慮である。若い時はひたすら大きな声で話していたが、最近は話柄に応じて、時には敢えて声のトーンを落としたりして、抑揚をつけるように努めている。これは、放送大学や公民館等において、一般市民対象の古典文学講義を多数行った経験から身につけたもの。また、なるべく教室全体に目配りしながら講義するようにも注意している。

5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

授業に臨む時は、緊張の連続。毎回必死に講義していることが、かえって受講者の目には「熱意ある態度」と映ったのかもしれない。

普神敬悟 (ふがみ けいご) : 工学研究科 応用化学・生物化学専攻 応用分子化学 准教授

1. 受賞授業名

学修原論 数理と自然を考察する
理系のコミュニケーション力を養う化学実験

2. 授業の概要

この授業では、化学実験に関するマニュアルの作成と仲間が作ったマニュアルの検証・評価を通じ、仕事を適切に遂行する為の意思疎通力や指導力の習得を目指します。

具体的には：

1. まず自分で選んだ実験を実施させ、テキストとした出版物の記述を批評させます。
2. 経験を踏まえ、出版物よりも使いやすい「痒い所に手の届く」マニュアルを作成させます。
3. これを他の受講者にテキストとして使用させ、実験することを通して評価させます。
4. マニュアル制作者と使用(評価)者として問題点や改善案についてディスカッションさせます。
5. 制作者側はディスカッションの結果を踏まえ、改訂版を作成、提出し、再度評価を受けます。
6. 次に、使用者側に「もっとすぐれたマニュアル」を制作、提出させます。
7. これを、別の受講者との間で手順3～5の実施を経て改善を図ります。
8. 新しい使用者側の受講生に、「もっとすぐれたマニュアル」を制作、提出させます。
9. こうして、3者のそれぞれ独自の視点からの改善をふまえ、最初に制作したマニュアルの「決定版」を完成させます。

以上の経験を通じ、協同作業における意志疎通に必要な諸要素について、実践的に学習させます。

3. 授業で特に工夫をしている点

受講生が興味を持って主体的に取り組めるよう、受講生の要望は、実現可能性を適切に評価し、安全の確保に留意した上で、できる限り実現させるように心がけています。

m o o d l eを活用し、受講生の要望や相談に迅速に対応できるよう、工夫しています。スケジュールは文書で予め周知しますが、受講生の進度に応じ、フレキシブルに対応できるようにしています。

マニュアルの評価や制作は、主として宿題となるので、受講生があまり負担に感じすぎることのないよう、要求する作業の量は、必要最小限となるよう、配慮しています。

成績評価については、作品のデキだけでなく、ディスカッションへやマニュアル改善に向けた貢献度や実験に取り組む態度など、日ごろの受講態度にできる限り目を配り、情報収集に努め、総合的、実質的な評価をしてあげられるよう、配慮に努めています。

4. 授業で学生に接する場合に留意している点

質問には相手が納得できるまで、粘り強く対応するよう、心がけています。

また、学生がどこまで理解できたのかを見届ける努力を心がけています。

学生が声をかけたり要望を出し易い雰囲気づくり、接し方を工夫しています。

受講生が希望すれば、時間を超過しても切り上げさせずに、納得行くまで実験に付き合います。

逆に、実験途中でも次の予定が迫っている場合は、作業の完了を強要しないことにしています。

5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

自由に選んだ化学実験が体験できたことが好評だったのではないかと思います。

多少忙しくとも、やる意義が感じられさえすれば、受講者の評判は落ちない気がします。

キメの細かい配慮が好感を呼んだのであれば、苦勞が報われた気がします。

—教育学部推薦—

藤本宗利（ふじもと むねとし）：教育学部 国語教育講座 教授

1. 受賞授業名（担当授業名）

「初等科国語（一）」、「国文学史（古代）」、「基礎国文学」、「国文学」

2. 授業の概要

「初等科国語（一）」では、指導要領の改訂に伴って重点を置かれるようになった「伝統的言語文化」の事項を中心に、各社教科書の教材を分析。学生が現場に立つ際に、自分なりの見識を持って授業に臨めるだけの、基礎力を身につけることを目指している。

「国文学史（古代）」は、恋愛・生死などの局面における心の動きや、自然と人生の関わりなどにおいて、記紀万葉の昔から現代に至るまで共通して見出せる発想に着眼させ、伝統性と独創性について学生に考察させようとするもの。

「基礎国文学」は、小学校から高校までの教材を採り上げ、枕草子・古典和歌・源氏物語・堤中納言物語などを、古典教材としてどう扱っていくべきかを学生に問いかけた。

「国文学」では枕草子を対象に、宮廷文学という視点から見返し、女性と仕事、社会進出などの問題を採り上げて論じた。

3. 授業で特に工夫をしている点

古典文学は、難解で古臭いと敬遠されがちな傾向にある。そのため、いずれの講義においても、恋愛、結婚、仕事など、なるべく共感しやすい観点から問題を切り出そうと努めている。作品の読解においてもわかりやすく親しみやすい解釈を工夫。今まで古典に縁遠かった学生も、現代にも共通する問題として、古典作品と向き合っていけるような話題提供を心がけている。

4. 授業で学生に接する場合に留意している点

講義においては、一語一語をはっきりと発音するように心がけている。多少早口になっても、受講生が聞き取れるようにという配慮である。若い時はひたすら大きな声で話していたが、最近は話柄に応じて、時には敢えて声のトーンを落としたりして、抑揚をつけるように努めている。これは、放送大学や公民館等において、一般市民対象の古典文学講義を多数行った経験から身につけたもの。また、なるべく教室全体に目配りしながら講義するように注意している。一方、学生に対しても、授業前に黒板を拭く、教室のゴミを片付ける等、教育現場に出る際の心得として、日頃から習慣付けるべく指導している。

5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

授業に臨む時は、緊張の連続。毎回必死に講義していることが、かえって受講者の目には「熱意ある態度」と映ったのかもしれない。

伊藤 隆（いとう たかし）：教育学部 数学教育講座 教授

1. 受賞授業名（担当授業名）

解析学の基礎、解析演習A、複素関数論、関数解析学、解析学講読A、解析学統講、現代解析学IA、現代解析学IIA、総合演習（数学）

2. 授業の概要

数学の専門の中で主に解析学を担当している。新入生に、微分積分を再構築し直す観点か

ら、解析学の基礎。2年生には、既知の関数を複素平面上の関数と見ることに力点をおく複素関数論、3年生には関数空間に計量を入れ、大域的に関数を取り扱う関数解析学の講義等、4年生には現代解析学の講義を行っている。その他、演習や講読で、学生の数学の力の伸長を図っている。

3. 授業で特に工夫をしている点

解析学は極限を取る操作にその特徴を有するが、高等学校で微分積分を学習する以前に小、中学校でもその題材は現れている。小中高では厳密な意味で扱えなかった極限操作に習熟できるように - 解析学の理解の1つの壁といわれる - イプシロンデルタ論法を努めて用いるようにしている。具体例を数多く用い、定理の本質が浮き彫りになるように、講義を構成している。また、数学は、現在も発展、成長している学問であることを学生が認識できるように、数学の発達の歴史を加えながら、さらに現代的な内容も紹介している。

4. 授業で学生に接する場合に留意している点

一方的な授業にならないように、常に学生の反応を見ながら、講義を行っている。学生の間違った理解の反応も授業の上では、議論のきっかけ、もしくは修正すべき価値があるものとして評価している。新しい概念を導入する場合、良い具体例を用いて理解を促すように心掛けている。

5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

理由は特に思い当たらないが、学生の理解の確認をしながら、授業を進めていることかもしれない。

—社会情報学部推薦—

末松美知子 (すえまつ みちこ) : 社会情報学部 情報行動講座 教授

1. 受賞授業名

「メディア・イングリッシュ B」

「舞台表象論」

2. 授業の概要

(1) 「メディア・イングリッシュ B」

英語による情報発信能力の養成を目指す演習科目。英語らしい表現やパラグラフの構成について学び、英文表現力、構成力を身に付ける。社会の諸問題に関する意見や考えを英語の論理で表現する訓練を重ね、最終的には、各自が500ワード程度の論説文を書き、クラス全体の論文集(社説集 Issues)を作成する。

(2) 「舞台表象論」

身体というメディアを用いた様々な舞台表象(演劇、落語、オペラ、バレエなど)について、社会的・歴史的コンテキストや現代社会における表象としての有効性などを検証する。実際の映像を見ながら、舞台表象の分析・考察も行う。

3. 授業で特に工夫をしている点

学生が既に持っている知識や経験と関連させて新しい知識や学修方法を提示する。

4. 授業で学生に接する場合に留意している点

宿題の課題や授業中の作業を報告するワークシートなどを毎回の授業で提出してもらう。それらにコメントをつけて返却し、全ての学生と1対1のコミュニケーションの機会を持つよう心がけている。

5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

学生自身が授業を通して何らかの達成感を感じることができたため。

—医学部医学科推薦—

前嶋明人（まえじま あきと）：医学部附属病院 腎臓・リウマチ内科 講師

1. 受賞授業名

医学部4年生ブロック講義1（疾患領域：腎臓疾患）

体液バランスと腎臓／糸球体腎炎の診断と治療／慢性腎不全（1）／慢性腎不全（2）

計4コマ

2. 授業の概要

(1)4年生ブロック講義の腎臓疾患領域（計10コマ）

腎臓の構造や機能、その機能不全により生じる様々な病態を概説する。

(2)「体液バランスと腎臓」

腎生理学に基づいた水分バランス、電解質バランス、酸塩基バランスを説明し、その機能が障害されて生じる高血圧、浮腫、高・低Na血症、高・低K血症、アシドーシス・アルカローシスを説明する。

(3)「糸球体腎炎の診断と治療」

蛋白尿や血尿といった検尿異常をもつ患者に腎生検を行い、どのように各種腎炎を診断していくかを説明し、その発症メカニズムを概説する。ステロイドや免疫抑制剤、アンギオテンソ受容体拮抗薬などによる治療についても説明する。

(4)「慢性腎不全（1）」

最近提唱されている慢性腎臓病という概念を紹介し、早期発見・早期治療の重要性を概説する。

(5)「慢性腎不全（2）」

慢性腎不全に対する透析医療（血液透析、腹膜透析）について概説し、長期透析に伴う様々な合併症とその対策について説明する。

以上の内容は、大学病院での卒前臨床実習を行う上で事前に習得しておくべき知識であると同時に、医師になってからも診療上、必須かつ基本的な知識も含まれる。

3. 授業で特に工夫をしている点

医師になるために習得すべき知識は膨大であり、我々が担当する腎臓疾患領域も数コマの授業で網羅できるものには到底ありません。最終的には自分で勉強することが必要になります。その点を考慮して、講義では多くの情報を詰め込むのではなく、重要かつ基本的な内容のみを説明し、理解できた達成感を持ってもらうように心がけています。

それによって「苦手意識を持たないこと」が、その後の自主勉強に多少なりとも役立つのではないかと考えています。

医学生にとっては「単なる試験勉強のための授業」かもしれませんが、実は「自分が将来医師として知っておくべき基本的な知識」がたくさん含まれていることを強調しています。

また、授業内容に関連した医師国家試験の過去問を紹介して、学生の好奇心や集中力が持

続するよう促しています。授業はパワーポイントを用いて行い、資料は卒前臨床実習や国家試験の準備にも復習として使用できるよう心がけて作成し、理解しやすいようにカラーの図や写真を使用しました。

4. 授業で学生に接する場合に留意している点

先生からの一方的な授業は、学生にとって退屈でつまらないと思います。

それを避けるため、なるべく質問（蛋白尿を指摘されたことはありますか、家族や知り合いに腎臓を患っている人はいますか、など）を投げかけたり、具体的な話題を紹介して、学生にとって授業の内容が「単なる教科書に記載された知識」ではなく、身近な問題であることを認識してもらえるように心がけています。

5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

特に思い当たる点はありません。今回、授業向上委員会（医学部4年生）が実施した授業評価アンケートの結果では、「要点を強調しながら聴き取りやすい声で語りかける授業」「見やすいカラースライド」「要点が整理されたプリント」「練習問題により学習の成果を確認できる」などが評価されたポイントのようです。

－医学部保健学科推薦－

山崎恒夫（やまざき つねお）：保健学研究科 リハビリテーション学 教授

1. 受賞授業名

生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学実習、神経内科学Ⅰ・Ⅱ、高次脳機能障害作業治療学、心と脳の健康管理

2. 授業の概要

(1) 生理学

理学・作業療法専攻の1年生に対して行う通年の必修授業です。生命の成り立ちと人体の機能を学ぶ国家試験の出題科目であり、解剖学と並ぶ医学の基礎科目です。授業は私1人で担当しています。生理学実習は2年前期に行われるもので、主として電気生理学検査といわれるものを実際に体験します。

(2) 神経内科学

理学・作業の2年後期・3年前期に行う必修科目です。国家試験の出題科目であり、リハビリが必要な神経疾患患者の病態を講義します。2名の教員での分担講義です。

(3) 高次脳機能障害作業治療学

作業療法専攻の3年生後期に行う必修授業で、国家試験にも出題されます。作業療法では失語・失認・失行といった大脳機能障害も重要なリハビリの対象であり、授業ではその基礎知識を講義します。2名の教員での分担講義です。

(4) 心と脳の健康管理

後期に荒牧で行っている教養教育総合科目です。選択してくれる学生は1年生70名ほどで、工学部や教育学部の学生が多い印象です。私にとっては国家試験の枠組みにとらわれずに講義ができる唯一の授業です。専門的な知識を交えて病気の理解を促します。2名の教員での分担講義です。

3. 授業で特に工夫をしている点

プロフィールにありますように、保健学科には昨年度に着任したばかりであり、また担当科目も今までほとんど講義をしたことのないものです。受講する学年も医学知識に乏しい低

学年が主であり、今まで医学科高学年を教えてきた私には困惑と不安のなかでのスタートでした。

従って授業に“工夫”をする余裕もなく、先生方に自信をもってお伝えできることは何もないのですが、あえて申せば過去の国試問題を研究して教えるべき事項を削り込んだことと、重要なポイントを説明する前に、「ここがポイント」だと事前に知らせて注意喚起を促したことでしょうか。

また、高校の授業との違和感を少なくするために、教科書を指定し、毎回プリントを作成して、ポイントでは板書も行いました。

4. 授業で学生に接する場合に留意している点

「甘すぎる」とお叱りを受けるかもしれませんが、“学生に恥をかかせない”“自信を失わせない”ことには留意しているつもりです。例えば、私の担当科目の理解には、高校の理科の知識が必須です。

しかし、受験科目の関係で、生物や物理を十分に勉強していない学生もいます。そこで重要ポイントでは“知っている”ことを前提に話しを進めることはせずに、あえて中学の理科レベルから説明を開始して、なるべく多くの学生に“理解できる喜び”を知ってもらおうと努力しました。

また、事ある毎に「知らないことは恥ずかしいことではない。知らないことは学生の特権である。」と繰り返し述べて、わからなければ質問をするように促したつもりです。

5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

なぜ多くの学生が支持してくれたのか皆目見当が付きません。ただ、時々用もないのに学生が研究室に顔を見せに来てくれることから、私が“学生の敵ではない”ことだけはわかってくれたのではないかと考えています。

—工学部推薦—

原野安土 (はらの あづち) : 工学研究科 環境プロセス工学専攻 准教授

1. 受賞授業名

学生が実際に履修した全ての本学部の専門教育科目(卒業研究を含む)が対象授業である。主な担当科目として、学部においては主に物理化学Ⅰ, 分離工学Ⅰなど、大学院においては環境化学プロセス特論がある。

2. 授業の概要

(1) 物理化学Ⅰ

学生が学ぶ最初の専門科目として、エネルギーの保存則や系の安定性(平衡)がどのような論理で記述されているかを学生が把握することを目標とし、専門分野における厳密な論理立てと現象の記述の出発点となることを期待して授業を進めている。

具体的な授業内容は

- ①熱的平衡と温度の概念の理解
- ②熱力学第1, 2, 3法則の理解
- ③自由エネルギーの導入とその意味の理解
- ④化学反応と熱力学の関係の把握

を中心に行なっている。

(2) 分離工学Ⅰ

化学プラントを設計する際に単位操作の考え方は非常に重要である。その中でも分離に

関する単位操作は工学的に体系化され、使いやすい形となっている。本講義では単位操作の概念を分離操作を通じて学ぶことを目的として授業を進めている。内容は拡散的単位操作の中で、蒸留、吸収、吸着操作の原理を習得し、分離プロセスの設計を行うための手法を学ばせている。

3. 授業で特に工夫をしている点

授業でもっとも重要なことは学生に自己学習をするきっかけを与えることと考えている。しかし、この難題は簡単に解が見つかるものではなく、毎年の学生の反応を見ながら、効果的な方法はないかと手探りで授業を進めている段階である。

学部での講義で最も工夫している点は、講義では学生になるべくわかりやすいように説明し、わかったような気をさせておいて、演習で若干骨のある問題を解かせることで、十分理解していないことを認識させる。最初からあまり難しくしてしまうと学生が引いてしまうし、逆に、わかり易くすると、解った気になって自己学習をしないため、まったく理解しないまま自己満足で終わってしまう。このさじ加減がとても重要である。新学科のカリキュラムから環境プロセス工学科では、従来の大学教育で行なわれていた担当教員が講義と演習授業を一貫して行ない、学生からのフィードバックのかかった授業を開始した。具体的には物理化学Ⅰでは環境プロセス工学演習Ⅰとタイアップして、講義と演習を合わせた形式で全体の授業を計画し進めている。

その他、工夫している点は以下のようなものである。

- (1) オリジナルテキストを使用するが、このテキストは空欄や空白が多く、常に授業中に理解したことを記入できるようになっている。また、授業に使用するスライドの内容の1/2程度を掲載しているが、1/2程度は自分でスライドを見ながら写すようにしている。
- (2) 授業中の説明は必ず2回反復するように努力している。1回目は注目させるようにし、2回目はゆっくりと説明するように努力している。少しくどいとも自分では思っているが、この程度が良いようである。
- (3) 飲み物は持ち込み可で（食べ物は不可）、リラックスしたムードで授業ができるようにしている。
- (4) 授業途中に5分休憩を設けている。これにより、集中力の維持ができ、寝ている学生も休憩時間中に復帰することが多い。
- (5) 試験に関しては工夫している点は、A4用紙の持込を許可している点で、学生は試験のためにびっしりA4に試験対策を書き込んでくる。それを作るためにずいぶん時間を割いており、これも勉強のうちと考えている。

授業前30分に今日話す内容の予習を行っている。授業中はなるべく余談は少なくして授業内容のみ行うように努力している。

4. 授業で学生に接する場合に留意している点

最も留意している点は、なるべく普段すれ違った学生に声を掛けることである。やはり、コミュニケーションが基本であり、それを大切にすることでお互いの信頼関係が生まれ、授業中に解らない点などを素直に質問できる雰囲気があると考えている。

その他に学生と接するときには留意している点は以下のようなものである。

- (1) 演習を行う際は、教壇から降り、歩き回って、学生の回答を見ることにより、学生の理解度を確認し、話しかけることにより、質問ができる雰囲気をつくっている。
- (2) 質問はなるべく受け付けるが、何がわからないかはっきりしない場合は、何がわからないかはっきりするまで自己学習するよう突き放している。

なるべく全体の学生を見回すように講義をし、あまり学生にプレッシャーを与えないようにしている。

5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

年回りも学生の父親と同じ世代になり、若干余裕をもって学生に接することができるようになってきたことが大きいと感じている。

群馬大学には学生と教職員、学生同士の触れ合いを大切にした人間味溢れる教育がある。この環境の中、人間性豊かな何事にも前向きに取り組める学生を育てたいという熱意が、少しでも学生に伝わっていると理解したい。

松本健作 (まつもと けんさく) : 工学研究科 社会環境デザイン工学専攻 流域環境学 助教

1. 受賞授業名

社会環境工学実験Ⅰ・Ⅱ, 水理学演習ほか

2. 授業の概要

水理学に関する実験および応用演習問題の解説

3. 授業で特に工夫をしている点

とかく数式が先行しがちな科目である水理学では、実際に現象を見せることが何よりも理解の助けになると考え、特に3年後期の社会環境工学実験Ⅱでは実験を実施して現象を見せながら講義を行う形式をとっている。

「水理学嫌い」を「水理学ファン」に、という気持ちで実施している。

水理学演習では、水理学Ⅰ・Ⅱで学んだ基礎的知識を応用した演習問題を解説していく形式をとっている。解説にあたっては、単に問題を解くだけでなく、陥り易い間違いを例示し、また間違いを引き起こす曖昧な理解についてじっくりと解説することで、学生の理解の深化を図っている。

4. 授業で学生に接する場合に留意している点

学生の反応を常に意識している。具体的な解説に入る前に、これから解説する内容の重要度や、陥り易い間違いとその原因を説明したうえで各問の解説を実施する。

突然ランダムに学生に質問するなどによって、学生に緊張感を持続させ、集中力を持続させるよう心がけている。

5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

学生の理解度や反応を意識し、毎年授業改善を地道に繰り返してきた。また、授業以外の場では、できるだけ気軽に学生と接し、名前を覚えることを含め、個々の特徴をできるだけ把握しようと努めている。これらがそれぞれ一因となっているものと想像するが、特別な事は実施しておらず、標準的な取り組みだと認識している。

「教学相長」を常に実感しており、学生との触れ合いによって自身の能力が長じるのを自覚している。授業改善もそのうちの一つであり、全ては「学生が好きだ」という本質に起因しているものと確信する。

板橋英之 (いたばし ひでゆき) : 工学研究科 応用化学・生物化学専攻 応用分子化学 教授

1. 受賞授業名

環境化学

2. 授業の概要

前半は通常の講義とし、後半は学生自身が環境に関する問題を調査し、その解決策についてのオリジナルな意見を口頭で発表する、いわゆるリサーチプロポーザル形式の授業とする。リサーチプロポーザルについては受講生を10グループ程度に分け、グループ単位で調査・検討と発表を行う。

(展開)

第1回 ガイダンス

講義計画とリサーチプロポーザルの概要を説明する。

第2回 地球について(1)

地球の誕生、地球の大きさ、地球の構造について講義する。

第3回 地球について(2)

地球の元素存在度、地殻の元素組成、元素普存則について講義する。

第4回 大気圏(1)

地球大気の特徴、大気の成分、成層圏オゾン、オゾン層の破壊について講義する。

第5回 大気圏(2)

主な大気汚染物質とその発生源、酸性雨、地球温暖化について講義する。

第6回 水圏(1)

水について、水の特異性、海水・河川水・地下水・雨水について講義する。

第7回 水圏(2)

水質の指標、富栄養化、水域汚染について講義する。

第8回 生物圏(1)

生体に害を及ぼす化学物質、日本で問題となった公害について講義する。

第9回 生物圏(2)

内分泌攪乱化学物質について講義する。

第10～15回 リサーチプロポーザル

「地球温暖化」「オゾン層の破壊」「酸性雨」「内分泌攪乱物質」等について各グループが調査・検討してきた内容を各グループごとに全員の前でパワーポイントを使って発表する。

3. 授業で特に工夫をしている点

- ・要点をまとめたパワーポイントスライドを用いている。
- ・スライドの字は24ポイント以上の大きさにしている。
- ・スライドをノートに書く時間を与えている。
- ・ほぼ全員がノートを取り終えてから、黒板を使って詳しい説明をしている。
- ・図表を含むスライドは印刷して配布している。
- ・スライドに文章が多い場合は、穴埋め式のプリントを配布している。
- ・授業の最初に前回の要点の豆テストをしている。
- ・スライドの1枚目に前回の要点と今回の要点を記述している。
- ・授業中に理解する必要があるところを明確にしている。
- ・一番後ろの人にも聞こえるように声の大きさを工夫している。
- ・スライドの切り替えはリモコンで行い教室中を歩き回って学生に話しかけるようにしている。

- ・大切な箇所は演習問題を出して、授業中に解かせている。
- ・学生が興味を引きそうな話題を入れるようにしている。
- ・授業中できるだけ多くの学生に答えさせるようにしている。
- ・対話形式の授業を試みている。

4. 授業で学生に接する場合に留意している点

- ・一人一人をみて話をするようにしている。
- ・学生の能力を否定するようなことは言わないようにしている。
- ・「やればできる」と鼓舞するようにしている。

5. ベストティーチャー賞を受賞した理由として思い当たる点

- ・学生の反応を確認しながら授業をしている点。
- ・要点を易しい言葉で伝えている点。
- ・学生のやる気を引き出すような話をする点。
- ・情熱を持って授業をしている点。

ベストティーチャー賞受賞者のプロフィール

ベアリー・キース (ベアリー キース)：教育基盤センター 准教授

アメリカオクラホマ州タルサ市出身。1988年にタルサ大学教養学部外国語・文学学科(スペイン語専攻, フランス語副専攻)を卒業後, Japan Exchange & Teaching Programme (JETプログラム)に「英語指導助手」として来日。京都府亀岡市の中学で英語指導し, 後, オクラホマ州立大学で勤務。立命館大学(国際関係修士)と京都大学の大学院を経て, 平成14年に群馬大学工学部に講師として赴任。平成19年に大学教育センターに異動し, 同20年に外国語教育部の准教授に。趣味は外国語(仏, 独, 西, 日本語, 中国語など)を学ぶことです。

藤本宗利 (ふじもと むねとし)：教育学部 国語教育講座 教授

1958年, 群馬県桐生市の生まれ。桐生高校から本学教育学部に入学。卒業後は東京大学大学院人文科学研究科に進む。国語国文学専攻 博士課程単位取得退学。博士(文学)。常葉学園短期大学 講師を経て, 平成5年より本学教育学部 助教授。現在, 同教授。専門は平安文学。特に『枕草子』の研究。著書に, 『枕草子研究』(風間書房), 『感性のきらめき 清少納言』(新典社), 『枕草子をどうぞ 定子後宮への招待』(新典社)など。

普神敬悟 (ふがみ けいご)：工学研究科 応用化学・生物化学専攻 応用分子化学 准教授

1961年 石川県金沢市生まれ, 1984年京都大学工学部工業化学科卒業, 1989年京都大学大学院工学研究科博士後期課程 学位取得退学(工学博士)。日本学術振興会特別研究員, イリノイ大学博士研究員, 長崎大学工学部助手, 京都大学工学部助手を経て1995年より群馬大学工学部助手, 現在は准教授。専門は有機反応化学。

伊藤 隆 (いとう たかし)：教育学部 数学教育講座 教授

1958年, 群馬県桐生市生まれ。群馬大学教育学部数学科, 新潟大学大学院理学研究科数学専攻修士課程, 大阪大学基礎工学研究科数理系博士課程修了。理学修士, 工学博士。琉球大学理学部助手を経て1990年4月群馬大学教育学部助教授として赴任。現在同教授。専門は, 作用素環論および関数解析学。著書として『 π の計算—アルキメデスから現代まで』。また, 途上国理数科教育 JICA プロジェクトにおいて, 『Teori Himpunan: Bilangan Kardinal dan Aksioma Pilihan』(インドネシア語で『集合論:濃度と選択公理』の意)を著す。

末松美知子 (すえまつ みちこ)：社会情報学部 情報行動講座 教授

東京都出身。上智大学文学部英文学科卒, 東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程(英文学)修了。1989年より群馬大学教養部講師, 1993年より社会情報学部講師。2001～2002年ロンドン大学キングス・カレッジ客員研究員。現在は社会情報学部教授。専門は英文学(英米演劇)。現在の主な研究テーマは, シェイクスピア上演の比較演劇史。

前嶋明人 (まえじま あきと) : 医学部附属病院 腎臓・リウマチ内科 講師

1970年生まれ。神奈川県立横須賀高等学校卒業。1994年群馬大学医学部卒業後、群馬大学第三内科(現:生体統御内科学)に入局。内科学,腎臓病学・リウマチ病学の診療に従事。1997年群馬大学大学院医学系研究科に入学し、腎臓の発生・再生の研究を行う。2001年3月学位取得(医学博士),群馬大学大学院医学系研究科優秀賞受賞。同年4月から群馬大学生体調節研究所・非常勤研究員(2年間)。2003年より3年間,カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)内科へ留学(腎幹細胞の研究に従事)。2006年より群馬大学医学部附属病院腎臓リウマチ内科教務員,2007年より助教,2011年より講師となり現在に至る。2007年日本腎臓学会大島賞受賞。

現在,群馬大学医学部附属病院にて腎臓・リウマチ専門医として診療に従事しながら,教育面では,2年生の論文チュートリアル,4年生の腎臓疾患の臨床講義(4コマ),5,6年生の卒前臨床実習(病棟回診,腎組織実習)を担当している。また,研修医・シニアレジデントの指導,大学院生の実験指導を行っている。

山崎恒夫 (やまざき つねお) : 保健学研究科 リハビリテーション学 教授

1957年,神奈川県川崎市生まれ。1983年群馬大学医学部医学科卒業,同年群馬大学医学部附属病院神経内科入局。1992年ハーバード大学医学部神経学教室博士研究員。1995年東京大学医学部神経病理学助手。2002年群馬大学医学部附属病院神経内科講師。2010年同准教授。2011年4月群馬大学大学院保健学研究科教授。

専門は神経内科学とくに認知症。約30年にわたって主としてアルツハイマー病の発症機構を病理学的・生化学的に研究してきました。10年ごとに様々な研究室を移動してきたなかで,多くの方々から受けた“刺激”が私の人生の宝となりました。学生には「他人の釜の飯を食う」経験をするように勧めています。

原野安土 (はらの あづち) : 工学研究科 環境プロセス工学専攻 准教授

【学歴】

- ・昭和61年3月 群馬大学工学部化学工学科卒業
- ・昭和63年3月 群馬大学大学院工学系研究科化学工学専攻修士課程修了
- ・平成3年3月 東京大学大学院工学系研究科反応化学専攻第1種博士課程単位取得の上退学
- ・平成5年2月 博士(工学)取得(東京大学)

【職歴】

- ・平成3年4月 東京大学工学部助手
- ・平成8年4月 群馬大学工学部講師
- ・平成16年3月 群馬大学工学部准教授
- ・平成19年4月 群馬大学大学院工学研究科准教授(現在に至る)

【主要な研究内容】

主に大気中に浮遊しているエアロゾルの変質や反応に関する研究を行なっている。現在以下のテーマを中心に研究を進めている。(1) 静電噴霧を用いたナノ粒子の捕集,(2) 各種エアロゾルの吸湿特性に関する研究,(3) 大気エアロゾルの変質と反応に関する研究,(4) 微量液滴を用いた新規環境浄化技術の開発。

松本健作 (まつもと けんさく) : 工学研究科 社会環境デザイン工学専攻 流域環境学 助教

【学歴】

- ・平成 5 年 熊本大学卒業
- ・平成 7 年 同大学修士課程修了
- ・平成 10 年 熊本大学博士課程単位取得退学

【職歴】

- ・平成 10 年 群馬大学助手
- ・平成 19 年 群馬大学助教

【主要な研究内容】

主に河川堤防の質的安全性診断手法の開発を行っている。本質的には土質力学の範疇であるが降雨や河川水の浸透による泥流化によって流体力学的ふるまいをみせるため、両力学体系の学際的取り扱いが必要となる分野である。現地観測, 室内実験および数値シミュレーションといったアプローチで研究を進めている。

板橋英之 (いたばし ひでゆき) : 工学研究科 応用化学・生物化学専攻 応用分子化学 教授

【学歴】

- ・昭和 61 年 3 月 群馬大学工学部応用化学科卒業
- ・昭和 61 年 4 月 群馬大学大学院工学研究科修士課程応用化学専攻入学
- ・昭和 63 年 3 月 群馬大学大学院工学研究科修士課程応用化学専攻修了
- ・昭和 63 年 4 月 筑波大学大学院化学研究科博士課程化学専攻入学
- ・平成 3 年 3 月 筑波大学大学院化学研究科博士課程化学専攻修了 (理学博士)

【職歴】

- ・平成 3 年 4 月 筑波大学化学系 準研究員
- ・平成 3 年 7 月 筑波大学化学系 助手
- ・平成 5 年 1 月 群馬大学工学部応用化学科 助手
- ・平成 9 年 10 月 群馬大学工学部応用化学科 助教授
- ・平成 16 年 4 月 群馬大学工学部応用化学科 教授
- ・平成 21 年 4 月 群馬大学大学院工学研究科長・工学部長

【最近の研究】

環境水中の重金属イオンの化学形態に関する研究, 環境中の微量成分の流れ分析法の開発, 土壌や環境水からの重金属除去法の開発。

平成22年度教養教育ベストティーチャーによる公開授業開催について

平成22年度教養教育ベストティーチャー優秀賞を受賞された先生方の、公開授業を下記のとおり実施します。

各学部・研究科の教職員・学生の皆さんの参加を歓迎します。

記

| 教員名 | 授業題目 | 日時 | 教室 |
|-------------------------------|-------------------|----------------------------------|----------------|
| 岡崎 彰 (教育学部・教授) | 恒星の科学 | 11月2日(水)3-4時限 11月9日(水)3-4時限 | 教養教育棟 GA302 |
| コントラス ジェフリー (教育基盤センター・准教授) | 総合英語1年 | 11月1日(火)3-4時限 11月7日(月)5-6時限 | 教養教育棟 GC217 |
| 松元 宏行 (教育基盤センター) | 科学の歴史と倫理 電気の歴史 | 11月15日(火)7-8時限 11月29日(火)7-8時限 | 教養教育棟 GC300 |

※ 教室の入口に受付を用意しますので、受付名簿に記載の上、入室してください。

主催：教育基盤センター

1.4.4 教養教育授業評価

各授業題目に対する授業評価アンケートを学部別科目と情報処理で実施するとともに、1年生全員を対象に、教養教育全体に対するアンケートを後期成績配付時に実施した。

授業評価アンケートでは、今年度初めて学部別科目でアンケートを実施した。ほとんどの学生が必要不可欠な科目として評価していたが、反面、高校での履修内容への配慮、学部の専門教育とのつながり、学生の学力や理解度の配慮の点では学部や科目によって評価が低いものもあり、これらの科目については改善の余地があるものと考えられた。シラバスの記述、成績評価基準、クラス規模、教室や実習環境はおおむね良い評価が得られていた。また、情報処理では、昨年度同様に基礎知識の修得、情報倫理に関する知識の修得では高い評価が得られていたが、履修者の基礎知識にばらつきがあるようで、個々の学生の理解度にも配慮した内容や授業進行が必要と考えられた。

教養教育アンケートでは、ほとんどの項目で22年度より多少改善されていて、20年度を底に、教養教育全体として改善傾向にあると考えられる。カリキュラム、教え方、満足度に関しては、6割以上の学生が良かった、満足していると評価しているが、まだ改善の余地があると思われる。科目区分ごとの評価ではどの科目群でも評価があがっている。特に習熟度別クラス編成を導入した「英語」で評価が年ごとにあがってきている。

授業評価質問票（学部別科目）

この授業評価の結果が、あなたの成績に影響することは全くありません。授業を受けて感じたことをそのまま回答してください。各質問に対する答えを選択肢から選び、□の中にV印を付してください。

A. あなたの所属学部等についてお尋ねします。

- 1 教育学部
 2 社会情報学部
 医学部 (3 医学科 4 保健学科)
 工学部 (5 昼間コース 6 夜間主コース)

B. あなたが今学期受講した「分野別科目」の授業についてお尋ねします。

| | | | |
|-------|---------|------------|---------|
| あてはまる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない |
|-------|---------|------------|---------|

- | | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| (1) 学部学生にとって必要不可欠な教養科目としてふさわしい授業であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (2) 各高校での履修内容への配慮が感じられる授業内容であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (3) 学部の専門教育との今後のつながりが期待できる授業内容であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (4) 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (5) シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (6) 出欠管理、成績評価基準など教員の学生への対応は適切であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (7) クラスの人数は適切であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (8) 教室の環境は適切であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (9) 実験またはグループ発表について：実験や発表の内容また進行のための設備や教員配置は適切であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

C. その他、学部別科目の授業に関して、気付いた点、改善すべき点等を自由に書いてください。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

ご協力ありがとうございました。

授業評価質問票（情報処理）

この授業評価の結果が、あなたの成績に影響することは全くありません。授業を受けて感じたことをそのまま回答してください。各質問に対する答えを選択肢から選び、□の中にV印を付してください。

A. あなたの所属学部等についてお尋ねします。

- 1 教育学部
 2 社会情報学部
 医学部 (3 医学科 4 保健学科)
 工学部 (5 昼間コース 6 夜間主コース)

B. あなたが今学期受講した「情報処理」の授業についてお尋ねします。

あなたが受講した情報処理を選んで下さい（情報処理入門 1 情報処理 2）

前期金曜 9-10 限

| | | | |
|-------|---------|------------|---------|
| あてはまる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない |
|-------|---------|------------|---------|

| | 1 | 2 | 3 | 4 |
|------------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| (1) コンピュータやインターネットの基礎知識を修得できた。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (2) コンピュータの活用能力を高めることができた。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (3) 情報倫理に関する知識・態度を身につけることができた。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (4) 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (5) シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (6) 出欠管理、成績評価基準など教員の学生への対応は適切であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (7) クラスの人数は適切であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (8) 教室の環境は適切であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (9) もっと高度な内容を学びたかった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

C. その他、分野別科目の授業に関して、気付いた点、改善すべき点等を自由に書いてください。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |

ご協力ありがとうございました。

以下のアンケートは、平成23年度の教養教育科目を履修した皆さんの、教養教育に対する評価や希望などを知り、今後の改善に活かすために実施するものです。ご協力くださいますようお願いいたします。

教育基盤センター
教育推進部会

「教養教育」アンケート（23年度）

以下の質問項目について、回答の選択肢の中から該当する番号を選び、右の回答欄に記入ください。

回答欄

〔1〕 所属学部

1. 教育学部 2. 社会情報学部 3. 医学部医学科 4. 医学部保健学科
5. 工学部(昼) 6. 工学部(夜)

1

〔2〕 教養教育のカリキュラム(授業科目のメニュー、時間割、授業内容)について
どう感じましたか。

1. とてもよかった 2. まあよかった 3. どちらともいえない
4. あまりいいとはいえない 5. わるい

2

〔3〕 教養教育における教員の授業の教え方について、全体的にみてどう感じましたか。

1. とてもよかった 2. まあよかった 3. どちらともいえない
4. あまりいいとはいえない 5. わるい

3

〔4〕 事務窓口の対応や、その他の学生支援体制についてはどう感じましたか。

1. とてもよかった 2. まあよかった 3. どちらともいえない
4. あまりいいとはいえない 5. わるい

4

〔5〕 授業を選択するとき、シラバスはよく利用しましたか。

1. 授業の内容や進度の確認などに学期中何度も見た
2. 履修届を提出するときなどには参考にした
3. ほとんど見なかった
4. 一度も見なかった

5

〔6〕 入学時に配付した教養教育の「授業案内」「履修手引」等は役立ちましたか。

1. 大変役に立った 2. 少し役に立った 3. どちらともいえない
4. あまり役に立たなかった 5. 役に立たなかった

6

〔7〕 総合的に考えて、本学の教養教育に満足していますか。

1. 大変満足している 2. 少し満足している 3. どちらともいえない
4. あまり満足していない 5. 満足していない

7

裏面につづく

本学の教養教育は、大きく分けて次の〔8〕－〔17〕のような10分野に分かれます。〔8〕－〔17〕のそれぞれについて、履修してみてくださいか。選択肢を次の5つの中から選び、該当する番号を各項目の右の回答欄に記入してください。

1. とてもよかった 2. まあよかった 3. どちらともいえない
4. あまり意味がなかった 5. ほとんど意味がなかった

〔8〕 学修原論

少人数形式で行う授業。

科目名は、人間と文化を理解する、現代社会と歴史を考察する、数理と自然を考察する

8

〔9〕 総合科目

広い視点から総合的テーマで行う授業。

科目名は、人間理解と多文化共生、現代社会と環境問題、科学的世界と生命・健康、国際社会と地域社会、情報社会と技術、総合科目特別講義 / 演習

9

〔10〕 情報処理

対象科目名は、情報処理入門

10

〔11〕 健康科学

対象科目名は、健康学原論、健康・スポーツ科学

11

〔12〕 語学

対象科目名は、英語

12

〔13〕 語学

対象科目名は、フランス語、ドイツ語、中国語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、韓国語

13

〔14〕 分野別科目（人文分野）

対象科目名は、哲学、倫理学、文学、心理学、歴史学、考古学、芸術

14

〔15〕 分野別科目（社会分野）

対象科目名は、法学、日本国憲法、政治学、経済学、社会学、文化人類学、地理学、教育学

15

〔16〕 分野別科目（自然分野）

対象科目名は、地球科学、生命科学、数理科学、物質科学

16

〔17〕 学部別科目

学部ごとに決めている科目で、教育学部は「こどもと世界」、「日本国憲法」、

社会情報学部は「情報社会論入門」、医学部、工学部は「数学」、「物理学」、

「化学」、「生物学」、「地学」など

17

〔18〕 本学の教養教育について希望、意見がありましたら、以下に記述ください。また、「ほとんど意味がなかった」などの回答をされた場合、その理由も記述ください。

教養教育授業等に関するアンケート

学 部：_____

○パソコンの所持状況について

問1. あなたは、パソコンを所持していますか？

(該当箇所に○を付けてください。複数回答可)

- 1 デスクトップ型パソコン
- 2 ノート型パソコン
- 3 i p a dなどのタブレット
- 4 その他(具体的に: _____)
- 5 現在、パソコンを所持していない

問2. パソコンを所持している方は、いつ購入しましたか？

(該当箇所に○を付けてください。複数回答可)

- 1 中学生時
- 2 高校生時
- 3 大学入学前
- 4 大学入学後

問3. パソコンは何の目的で購入しましたか？

(該当箇所に○を付けてください。複数回答可)

- 1 勉強用
- 2 特に大学授業の勉強に必要なため
- 3 趣味・娯楽のため

問4. パソコンは主にどのソフトを活用していますか？

(該当箇所に○を付けてください。複数回答可)

- 1 ワード
- 2 エクセル
- 3 パワーポイント
- 4 一太郎
- 5 その他(具体的に: _____)

問5. 今後、購入予定がありますか？ 購入するとしたらどのタイプですか？

(該当箇所に○を付けてください。複数回答可)

- 1 デスクトップ型パソコン
- 2 ノート型パソコン
- 3 i p a dなどのタブレット
- 4 その他(具体的に: _____)
- 5 今後、購入予定はない(理由: _____)

○教養教育授業に係る成績評価について

問6. あなたの成績は、シラバスに明示された評価基準による適切な評価でしたか？

- 1 全科目とも適正に評価されていた
- 2 適正に評価されていなかった
(以下に適正でない科目があった場合、授業科目名称と理由を書いてください)

ご協力ありがとうございました。

平成23年度前期授業評価（学部別科目）集計表

| 区 分 | 対象者数 | 提出者数 | 回収率(%) |
|------------------|-------|-------|--------|
| 教 育 学 部 | 243 | 241 | 99.2 |
| 社 会 情 報 学 部 | 106 | 97 | 91.5 |
| 医 学 部 医 学 科 | 622 | 507 | 81.5 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 494 | 194 | 39.3 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 2,500 | 2,350 | 94.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 17 | 11 | 64.7 |
| 合 計 | 3,982 | 3,400 | 85.4 |

質問1. 学部学生にとって必要不可欠な教養科目としてふさわしい授業であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|------|------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 1 | 0.4 | 121 | 50.2 | 102 | 42.3 | 13 | 5.4 | 4 | 1.7 | 241 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 35 | 36.1 | 53 | 54.6 | 8 | 8.2 | 1 | 1.0 | 97 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 237 | 46.7 | 143 | 28.2 | 88 | 17.4 | 39 | 7.7 | 507 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 94 | 48.5 | 89 | 45.9 | 7 | 3.6 | 4 | 2.1 | 194 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 3 | 0.1 | 1127 | 48.0 | 996 | 42.4 | 167 | 7.1 | 57 | 2.4 | 2350 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 0 | 0.0 | 9 | 81.8 | 2 | 18.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 11 | 100.0 |
| 全 体 | 4 | 0.1 | 1623 | 47.7 | 1385 | 40.7 | 283 | 8.3 | 105 | 3.1 | 3400 | 100.0 |

質問2. 高校での履修内容への配慮が感じられる授業内容であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|------|------|------|------|-----|------|-----|------|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 0 | 0.0 | 63 | 26.1 | 112 | 46.5 | 53 | 22.0 | 13 | 5.4 | 241 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 9 | 9.3 | 40 | 41.2 | 38 | 39.2 | 10 | 10.3 | 97 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 122 | 24.1 | 151 | 29.8 | 169 | 33.3 | 65 | 12.8 | 507 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 58 | 29.9 | 88 | 45.4 | 39 | 20.1 | 9 | 4.6 | 194 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 4 | 0.2 | 812 | 34.6 | 961 | 40.9 | 395 | 16.8 | 178 | 7.6 | 2350 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 0 | 0.0 | 8 | 72.7 | 3 | 27.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 11 | 100.0 |
| 全 体 | 4 | 0.1 | 1072 | 31.5 | 1355 | 39.9 | 694 | 20.4 | 275 | 8.1 | 3400 | 100.0 |

質問3. 学部の専門教育との今後のつながりが期待できる授業内容であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|------|------|------|------|-----|------|-----|------|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 0 | 0.0 | 87 | 36.1 | 111 | 46.1 | 37 | 15.4 | 6 | 2.5 | 241 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 30 | 30.9 | 50 | 51.5 | 13 | 13.4 | 4 | 4.1 | 97 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 1 | 0.2 | 225 | 44.4 | 124 | 24.5 | 102 | 20.1 | 55 | 10.8 | 507 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 61 | 31.4 | 101 | 52.1 | 28 | 14.4 | 4 | 2.1 | 194 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 5 | 0.2 | 894 | 38.0 | 1065 | 45.3 | 311 | 13.2 | 75 | 3.2 | 2350 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 0 | 0.0 | 9 | 81.8 | 2 | 18.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 11 | 100.0 |
| 全 体 | 6 | 0.2 | 1306 | 38.4 | 1453 | 42.7 | 491 | 14.4 | 144 | 4.2 | 3400 | 100.0 |

質問4. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|-----|------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 0 | 0.0 | 82 | 34.0 | 119 | 49.4 | 33 | 13.7 | 7 | 2.9 | 241 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 1 | 1.0 | 26 | 26.8 | 50 | 51.5 | 16 | 16.5 | 4 | 4.1 | 97 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 146 | 28.8 | 199 | 39.3 | 115 | 22.7 | 47 | 9.3 | 507 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 47 | 24.2 | 102 | 52.6 | 38 | 19.6 | 7 | 3.6 | 194 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 4 | 0.2 | 672 | 28.6 | 1058 | 45.0 | 460 | 19.6 | 156 | 6.6 | 2350 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 0 | 0.0 | 7 | 63.6 | 4 | 36.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 11 | 100.0 |
| 全 体 | 5 | 0.1 | 980 | 28.8 | 1532 | 45.1 | 662 | 19.5 | 221 | 6.5 | 3400 | 100.0 |

質問5. シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|------|------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 4 | 1.7 | 93 | 38.6 | 137 | 56.8 | 7 | 2.9 | 0 | 0.0 | 241 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 29 | 29.9 | 52 | 53.6 | 14 | 14.4 | 2 | 2.1 | 97 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 6 | 1.2 | 184 | 36.3 | 229 | 45.2 | 71 | 14.0 | 17 | 3.4 | 507 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 2 | 1.0 | 61 | 31.4 | 114 | 58.8 | 13 | 6.7 | 4 | 2.1 | 194 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 26 | 1.1 | 751 | 32.0 | 1251 | 53.2 | 273 | 11.6 | 49 | 2.1 | 2350 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 1 | 9.1 | 3 | 27.3 | 7 | 63.6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 11 | 100.0 |
| 全 体 | 39 | 1.1 | 1121 | 33.0 | 1790 | 52.6 | 378 | 11.1 | 72 | 2.1 | 3400 | 100.0 |

質問6. 出欠管理、成績評価基準など教員の学生への対応は適切であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|------|------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 2 | 0.8 | 101 | 41.9 | 108 | 44.8 | 29 | 12.0 | 1 | 0.4 | 241 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 28 | 28.9 | 53 | 54.6 | 12 | 12.4 | 4 | 4.1 | 97 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 192 | 37.9 | 222 | 43.8 | 67 | 13.2 | 26 | 5.1 | 507 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 1 | 0.5 | 48 | 24.7 | 100 | 51.5 | 39 | 20.1 | 6 | 3.1 | 194 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 12 | 0.5 | 1018 | 43.3 | 1020 | 43.4 | 228 | 9.7 | 72 | 3.1 | 2350 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 1 | 9.1 | 6 | 54.5 | 3 | 27.3 | 1 | 9.1 | 0 | 0.0 | 11 | 100.0 |
| 全 体 | 16 | 0.5 | 1393 | 41.0 | 1506 | 44.3 | 376 | 11.1 | 109 | 3.2 | 3400 | 100.0 |

質問7. クラスの人数は適切であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|------|------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 0 | 0.0 | 119 | 49.4 | 95 | 39.4 | 25 | 10.4 | 2 | 0.8 | 241 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 46 | 47.4 | 37 | 38.1 | 13 | 13.4 | 1 | 1.0 | 97 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 263 | 51.9 | 198 | 39.1 | 39 | 7.7 | 7 | 1.4 | 507 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 78 | 40.2 | 92 | 47.4 | 20 | 10.3 | 4 | 2.1 | 194 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 5 | 0.2 | 1122 | 47.7 | 995 | 42.3 | 180 | 7.7 | 48 | 2.0 | 2350 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 0 | 0.0 | 7 | 63.6 | 4 | 36.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 11 | 100.0 |
| 全 体 | 5 | 0.1 | 1635 | 48.1 | 1421 | 41.8 | 277 | 8.1 | 62 | 1.8 | 3400 | 100.0 |

質問8. 教室の環境は適切であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|------|------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 1 | 0.4 | 121 | 50.2 | 92 | 38.2 | 25 | 10.4 | 2 | 0.8 | 241 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 33 | 34.0 | 46 | 47.4 | 17 | 17.5 | 1 | 1.0 | 97 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 2 | 0.4 | 241 | 47.5 | 187 | 36.9 | 55 | 10.8 | 22 | 4.3 | 507 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 1 | 0.5 | 81 | 41.8 | 85 | 43.8 | 22 | 11.3 | 5 | 2.6 | 194 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 11 | 0.5 | 1001 | 42.6 | 986 | 42.0 | 253 | 10.8 | 99 | 4.2 | 2350 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 0 | 0.0 | 8 | 72.7 | 3 | 27.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 11 | 100.0 |
| 全 体 | 15 | 0.4 | 1485 | 43.7 | 1399 | 41.1 | 372 | 10.9 | 129 | 3.8 | 3400 | 100.0 |

質問9. 実験またはグループ発表について: 実験や発表の内容または進行のための設備や教員配置は適切であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|------|-----|------|------|------|-----|------|-----|------|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 3 | 1.2 | 75 | 31.1 | 117 | 48.5 | 35 | 14.5 | 11 | 4.6 | 241 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 33 | 34.0 | 51 | 52.6 | 10 | 10.3 | 3 | 3.1 | 97 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 54 | 10.7 | 192 | 37.9 | 194 | 38.3 | 50 | 9.9 | 17 | 3.4 | 507 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 51 | 26.3 | 32 | 16.5 | 81 | 41.8 | 15 | 7.7 | 15 | 7.7 | 194 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 286 | 12.2 | 567 | 24.1 | 1029 | 43.8 | 300 | 12.8 | 168 | 7.1 | 2350 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 2 | 18.2 | 3 | 27.3 | 2 | 18.2 | 1 | 9.1 | 3 | 27.3 | 11 | 100.0 |
| 全 体 | 396 | 11.6 | 902 | 26.5 | 1474 | 43.4 | 411 | 12.1 | 217 | 6.4 | 3400 | 100.0 |

【その他自由記述欄】

| 区 分 | 記入有り「1」 | | 記入なし「0」 | | 合 計 | |
|------------------|---------|------|---------|------|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 49 | 20.3 | 192 | 79.7 | 241 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 83 | 85.6 | 14 | 14.4 | 97 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 115 | 22.7 | 392 | 77.3 | 507 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 19 | 9.8 | 175 | 90.2 | 194 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 385 | 16.4 | 1965 | 83.6 | 2350 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 2 | 18.2 | 9 | 81.8 | 11 | 100.0 |
| 全 体 | 653 | 19.2 | 2747 | 80.8 | 3400 | 100.0 |

平成23年度後期授業評価（学部別科目）集計表

| 区 分 | 対象者数 | 提出者数 | 回収率(%) |
|------------------|-------|-------|--------|
| 教 育 学 部 | 247 | 229 | 92.7 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0 | 0.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 320 | 272 | 85.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 444 | 278 | 62.6 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 1,870 | 1,396 | 74.7 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 0 | 0 | 0.0 |
| 合 計 | 2,881 | 2,175 | 75.5 |

- 1・・・あてあまる
- 2・・・ややあてはまる
- 3・・・あまりあてはまらない
- 4・・・あてはまらない

質問1. 学部学生にとって必要不可欠な教養科目としてふさわしい授業であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|-----|------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 0 | 0.0 | 125 | 54.6 | 94 | 41.0 | 8 | 3.5 | 2 | 0.9 | 229 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 89 | 32.7 | 130 | 47.8 | 44 | 16.2 | 9 | 3.3 | 272 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 85 | 30.6 | 156 | 56.1 | 32 | 11.5 | 5 | 1.8 | 278 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 2 | 0.1 | 613 | 43.9 | 623 | 44.6 | 115 | 8.2 | 43 | 3.1 | 1396 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全 体 | 2 | 0.1 | 912 | 41.9 | 1003 | 46.1 | 199 | 9.1 | 59 | 2.7 | 2175 | 100.0 |

質問2. 高校での履修内容への配慮が感じられる授業内容であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 0 | 0.0 | 53 | 23.1 | 120 | 52.4 | 45 | 19.7 | 11 | 4.8 | 229 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 104 | 38.2 | 107 | 39.3 | 45 | 16.5 | 16 | 5.9 | 272 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 62 | 22.3 | 120 | 43.2 | 74 | 26.6 | 22 | 7.9 | 278 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 1 | 0.1 | 520 | 37.2 | 574 | 41.1 | 205 | 14.7 | 96 | 6.9 | 1396 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全 体 | 1 | 0.0 | 739 | 34.0 | 921 | 42.3 | 369 | 17.0 | 145 | 6.7 | 2175 | 100.0 |

質問3. 学部の専門教育との今後のつながりが期待できる授業内容であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|-----|------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 0 | 0.0 | 107 | 46.7 | 94 | 41.0 | 27 | 11.8 | 1 | 0.4 | 229 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 72 | 26.5 | 115 | 42.3 | 71 | 26.1 | 14 | 5.1 | 272 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 1 | 0.4 | 63 | 22.7 | 160 | 57.6 | 47 | 16.9 | 7 | 2.5 | 278 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 3 | 0.2 | 476 | 34.1 | 638 | 45.7 | 223 | 16.0 | 56 | 4.0 | 1396 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全 体 | 4 | 0.2 | 718 | 33.0 | 1007 | 46.3 | 368 | 16.9 | 78 | 3.6 | 2175 | 100.0 |

質問4. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 0 | 0.0 | 85 | 37.1 | 116 | 50.7 | 24 | 10.5 | 4 | 1.7 | 229 | 100.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 87 | 32.0 | 121 | 44.5 | 53 | 19.5 | 11 | 4.0 | 272 | 100.0 |
| 医学部保健学科 | 0 | 0.0 | 51 | 18.3 | 139 | 50.0 | 70 | 25.2 | 18 | 6.5 | 278 | 100.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 406 | 29.1 | 623 | 44.6 | 265 | 19.0 | 102 | 7.3 | 1396 | 100.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全 体 | 0 | 0.0 | 629 | 28.9 | 999 | 45.9 | 412 | 18.9 | 135 | 6.2 | 2175 | 100.0 |

質問5. シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 2 | 0.9 | 91 | 39.7 | 119 | 52.0 | 15 | 6.6 | 2 | 0.9 | 229 | 100.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 4 | 1.5 | 114 | 41.9 | 136 | 50.0 | 17 | 6.3 | 1 | 0.4 | 272 | 100.0 |
| 医学部保健学科 | 7 | 2.5 | 55 | 19.8 | 187 | 67.3 | 23 | 8.3 | 6 | 2.2 | 278 | 100.0 |
| 工学部昼間コース | 20 | 1.4 | 441 | 31.6 | 734 | 52.6 | 158 | 11.3 | 43 | 3.1 | 1396 | 100.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全 体 | 33 | 1.5 | 701 | 32.2 | 1176 | 54.1 | 213 | 9.8 | 52 | 2.4 | 2175 | 100.0 |

質問6. 出欠管理、成績評価基準など教員の学生への対応は適切であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 1 | 0.4 | 88 | 38.4 | 105 | 45.9 | 31 | 13.5 | 4 | 1.7 | 229 | 100.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 128 | 47.1 | 123 | 45.2 | 16 | 5.9 | 5 | 1.8 | 272 | 100.0 |
| 医学部保健学科 | 1 | 0.4 | 90 | 32.4 | 165 | 59.4 | 16 | 5.8 | 6 | 2.2 | 278 | 100.0 |
| 工学部昼間コース | 4 | 0.3 | 582 | 41.7 | 601 | 43.1 | 159 | 11.4 | 50 | 3.6 | 1396 | 100.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全 体 | 6 | 0.3 | 888 | 40.8 | 994 | 45.7 | 222 | 10.2 | 65 | 3.0 | 2175 | 100.0 |

質問7. クラスの人数は適切であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 1 | 0.4 | 93 | 40.6 | 106 | 46.3 | 24 | 10.5 | 5 | 2.2 | 229 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 148 | 54.4 | 112 | 41.2 | 11 | 4.0 | 1 | 0.4 | 272 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 113 | 40.6 | 155 | 55.8 | 7 | 2.5 | 3 | 1.1 | 278 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 1 | 0.1 | 638 | 45.7 | 596 | 42.7 | 121 | 8.7 | 40 | 2.9 | 1396 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全 体 | 2 | 0.1 | 992 | 45.6 | 969 | 44.6 | 163 | 7.5 | 49 | 2.3 | 2175 | 100.0 |

質問8. 教室の環境は適切であった。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 0 | 0.0 | 102 | 44.5 | 111 | 48.5 | 13 | 5.7 | 3 | 1.3 | 229 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 127 | 46.7 | 120 | 44.1 | 19 | 7.0 | 6 | 2.2 | 272 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 78 | 28.1 | 151 | 54.3 | 46 | 16.5 | 3 | 1.1 | 278 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 4 | 0.3 | 593 | 42.5 | 593 | 42.5 | 155 | 11.1 | 51 | 3.7 | 1396 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全 体 | 4 | 0.2 | 900 | 41.4 | 975 | 44.8 | 233 | 10.7 | 63 | 2.9 | 2175 | 100.0 |

質問9. 実験またはグループ発表について:実験や発表の内容または進行のための設備や教員配置は適切であっ

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 14 | 6.1 | 69 | 30.1 | 120 | 52.4 | 19 | 8.3 | 7 | 3.1 | 229 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 30 | 11.0 | 99 | 36.4 | 117 | 43.0 | 19 | 7.0 | 7 | 2.6 | 272 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 47 | 16.9 | 49 | 17.6 | 139 | 50.0 | 28 | 10.1 | 15 | 5.4 | 278 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 200 | 14.3 | 343 | 24.6 | 562 | 40.3 | 180 | 12.9 | 111 | 8.0 | 1396 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全 体 | 291 | 13.4 | 560 | 25.7 | 938 | 43.1 | 246 | 11.3 | 140 | 6.4 | 2175 | 100.0 |

【その他自由記述欄】

| 区 分 | 記入有り「1」 | | 記入なし「0」 | | 合 計 | |
|------------------|---------|------|---------|------|------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 25 | 10.9 | 204 | 89.1 | 229 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 54 | 19.9 | 218 | 80.1 | 272 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 46 | 16.5 | 232 | 83.5 | 278 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 167 | 12.0 | 1229 | 88.0 | 1396 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全 体 | 292 | 13.4 | 1883 | 86.6 | 2175 | 100.0 |

平成23年度前期授業評価（情報処理）集計表

| 区 分 | 対象者数 | 提出者数 | 回収率(%) |
|-----------|-------|------|--------|
| 教育学部 | 230 | 215 | 93.5 |
| 情報処理入門 | 230 | 215 | 93.5 |
| 情 報 処 理 | 0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 106 | 98 | 92.5 |
| 情報処理入門 | 101 | 95 | 94.1 |
| 情 報 処 理 | 5 | 3 | 60.0 |
| 医学部医学科 | 109 | 101 | 92.7 |
| 情報処理入門 | 109 | 101 | 92.7 |
| 情 報 処 理 | 0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0 | 0.0 |
| 情 報 処 理 | 0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 523 | 495 | 94.6 |
| 情報処理入門 | 523 | 495 | 94.6 |
| 情 報 処 理 | 0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 34 | 34 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 34 | 34 | 100.0 |
| 情 報 処 理 | 0 | 0 | 0.0 |
| 合 計 | 1,002 | 943 | 94.1 |
| 情報処理入門 | 997 | 940 | 94.3 |
| 情 報 処 理 | 5 | 3 | 60.0 |

質問1. コンピュータやインターネットの基礎知識を修得できた。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 108 | 50.2 | 94 | 43.7 | 9 | 4.2 | 4 | 1.9 | 215 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 108 | 50.2 | 94 | 43.7 | 9 | 4.2 | 4 | 1.9 | 215 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 50 | 51.0 | 46 | 46.9 | 1 | 1.0 | 1 | 1.0 | 98 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 48 | 50.5 | 45 | 47.4 | 1 | 1.1 | 1 | 1.1 | 95 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 2 | 66.7 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 66 | 65.3 | 30 | 29.7 | 4 | 4.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 66 | 65.3 | 30 | 29.7 | 4 | 4.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 274 | 55.4 | 202 | 40.8 | 17 | 3.4 | 2 | 0.4 | 495 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 274 | 55.4 | 202 | 40.8 | 17 | 3.4 | 2 | 0.4 | 495 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 25 | 73.5 | 8 | 23.5 | 1 | 2.9 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 25 | 73.5 | 8 | 23.5 | 1 | 2.9 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 0 | 0.0 | 523 | 55.5 | 380 | 40.3 | 32 | 3.4 | 8 | 0.8 | 943 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 521 | 55.4 | 379 | 40.3 | 32 | 3.4 | 8 | 0.9 | 940 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 2 | 66.7 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |

質問2. コンピュータの活用能力を高めることができた。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 101 | 47.0 | 90 | 41.9 | 18 | 8.4 | 6 | 2.8 | 215 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 101 | 47.0 | 90 | 41.9 | 18 | 8.4 | 6 | 2.8 | 215 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 54 | 55.1 | 42 | 42.9 | 1 | 1.0 | 1 | 1.0 | 98 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 52 | 54.7 | 41 | 43.2 | 1 | 1.1 | 1 | 1.1 | 95 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 2 | 66.7 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 67 | 66.3 | 28 | 27.7 | 5 | 5.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 67 | 66.3 | 28 | 27.7 | 5 | 5.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 1 | 0.2 | 267 | 53.9 | 192 | 38.8 | 31 | 6.3 | 4 | 0.8 | 495 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.2 | 267 | 53.9 | 192 | 38.8 | 31 | 6.3 | 4 | 0.8 | 495 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 22 | 64.7 | 12 | 35.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 22 | 64.7 | 12 | 35.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 1 | 0.1 | 511 | 54.2 | 364 | 38.6 | 55 | 5.8 | 12 | 1.3 | 943 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.1 | 509 | 54.1 | 363 | 38.6 | 55 | 5.9 | 12 | 1.3 | 940 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 2 | 66.7 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |

質問3. 情報倫理に関する知識・態度を身につけることができた。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 82 | 38.1 | 106 | 49.3 | 22 | 10.2 | 5 | 2.3 | 215 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 82 | 38.1 | 106 | 49.3 | 22 | 10.2 | 5 | 2.3 | 215 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 45 | 45.9 | 46 | 46.9 | 6 | 6.1 | 1 | 1.0 | 98 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 43 | 45.3 | 45 | 47.4 | 6 | 6.3 | 1 | 1.1 | 95 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 2 | 66.7 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 62 | 61.4 | 33 | 32.7 | 5 | 5.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 62 | 61.4 | 33 | 32.7 | 5 | 5.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 221 | 44.6 | 236 | 47.7 | 36 | 7.3 | 2 | 0.4 | 495 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 221 | 44.6 | 236 | 47.7 | 36 | 7.3 | 2 | 0.4 | 495 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 19 | 55.9 | 15 | 44.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 19 | 55.9 | 15 | 44.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 0 | 0.0 | 429 | 45.5 | 436 | 46.2 | 69 | 7.3 | 9 | 1.0 | 943 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 427 | 45.4 | 435 | 46.3 | 69 | 7.3 | 9 | 1.0 | 940 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 2 | 66.7 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |

質問4. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 59 | 27.4 | 89 | 41.4 | 48 | 22.3 | 19 | 8.8 | 215 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 59 | 27.4 | 89 | 41.4 | 48 | 22.3 | 19 | 8.8 | 215 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 18 | 18.4 | 43 | 43.9 | 30 | 30.6 | 7 | 7.1 | 98 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 17 | 17.9 | 41 | 43.2 | 30 | 31.6 | 7 | 7.4 | 95 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 | 2 | 66.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 51 | 50.5 | 37 | 36.6 | 10 | 9.9 | 3 | 3.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 51 | 50.5 | 37 | 36.6 | 10 | 9.9 | 3 | 3.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 184 | 37.2 | 235 | 47.5 | 65 | 13.1 | 11 | 2.2 | 495 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 184 | 37.2 | 235 | 47.5 | 65 | 13.1 | 11 | 2.2 | 495 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 18 | 52.9 | 12 | 35.3 | 4 | 11.8 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 18 | 52.9 | 12 | 35.3 | 4 | 11.8 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 0 | 0.0 | 330 | 35.0 | 416 | 44.1 | 157 | 16.6 | 40 | 4.2 | 943 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 329 | 35.0 | 414 | 44.0 | 157 | 16.7 | 40 | 4.3 | 940 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 | 2 | 66.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |

質問5. シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 67 | 31.2 | 122 | 56.7 | 24 | 11.2 | 2 | 0.9 | 215 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 67 | 31.2 | 122 | 56.7 | 24 | 11.2 | 2 | 0.9 | 215 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 35 | 35.7 | 50 | 51.0 | 11 | 11.2 | 2 | 2.0 | 98 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 34 | 35.8 | 48 | 50.5 | 11 | 11.6 | 2 | 2.1 | 95 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 | 2 | 66.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |
| 医学部医学科 | 1 | 1.0 | 60 | 59.4 | 34 | 33.7 | 5 | 5.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 1.0 | 60 | 59.4 | 34 | 33.7 | 5 | 5.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 5 | 1.0 | 194 | 39.2 | 263 | 53.1 | 30 | 6.1 | 3 | 0.6 | 495 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 5 | 1.0 | 194 | 39.2 | 263 | 53.1 | 30 | 6.1 | 3 | 0.6 | 495 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 25 | 73.5 | 8 | 23.5 | 1 | 2.9 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 25 | 73.5 | 8 | 23.5 | 1 | 2.9 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 6 | 0.6 | 381 | 40.4 | 477 | 50.6 | 71 | 7.5 | 8 | 0.8 | 943 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 6 | 0.6 | 380 | 40.4 | 475 | 50.5 | 71 | 7.6 | 8 | 0.9 | 940 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 | 2 | 66.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |

質問6. 出欠管理、成績評価基準など教員の学生への対応は適切であった。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 74 | 34.4 | 108 | 50.2 | 29 | 13.5 | 4 | 1.9 | 215 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 74 | 34.4 | 108 | 50.2 | 29 | 13.5 | 4 | 1.9 | 215 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 38 | 38.8 | 49 | 50.0 | 9 | 9.2 | 2 | 2.0 | 98 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 37 | 38.9 | 47 | 49.5 | 9 | 9.5 | 2 | 2.1 | 95 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 | 2 | 66.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 73 | 72.3 | 25 | 24.8 | 2 | 2.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 73 | 72.3 | 25 | 24.8 | 2 | 2.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 3 | 0.6 | 235 | 47.5 | 211 | 42.6 | 43 | 8.7 | 3 | 0.6 | 495 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 3 | 0.6 | 235 | 47.5 | 211 | 42.6 | 43 | 8.7 | 3 | 0.6 | 495 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 31 | 91.2 | 3 | 8.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 31 | 91.2 | 3 | 8.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 3 | 0.3 | 451 | 47.8 | 396 | 42.0 | 83 | 8.8 | 10 | 1.1 | 943 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 3 | 0.3 | 450 | 47.9 | 394 | 41.9 | 83 | 8.8 | 10 | 1.1 | 940 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 | 2 | 66.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |

質問7. クラスの人数は適切であった。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 108 | 50.2 | 85 | 39.5 | 14 | 6.5 | 8 | 3.7 | 215 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 108 | 50.2 | 85 | 39.5 | 14 | 6.5 | 8 | 3.7 | 215 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 40 | 40.8 | 54 | 55.1 | 4 | 4.1 | 0 | 0.0 | 98 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 39 | 41.1 | 53 | 55.8 | 3 | 3.2 | 0 | 0.0 | 95 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 | 1 | 33.3 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 78 | 77.2 | 20 | 19.8 | 2 | 2.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 78 | 77.2 | 20 | 19.8 | 2 | 2.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 280 | 56.6 | 191 | 38.6 | 20 | 4.0 | 4 | 0.8 | 495 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 280 | 56.6 | 191 | 38.6 | 20 | 4.0 | 4 | 0.8 | 495 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 30 | 88.2 | 3 | 8.8 | 1 | 2.9 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 30 | 88.2 | 3 | 8.8 | 1 | 2.9 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 0 | 0.0 | 536 | 56.8 | 353 | 37.4 | 41 | 4.3 | 13 | 1.4 | 943 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 535 | 56.9 | 352 | 37.4 | 40 | 4.3 | 13 | 1.4 | 940 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 | 1 | 33.3 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |

質問8. 教室の環境は適切であった。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 114 | 53.0 | 78 | 36.3 | 18 | 8.4 | 5 | 2.3 | 215 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 114 | 53.0 | 78 | 36.3 | 18 | 8.4 | 5 | 2.3 | 215 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 43 | 43.9 | 52 | 53.1 | 2 | 2.0 | 1 | 1.0 | 98 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 41 | 43.2 | 51 | 53.7 | 2 | 2.1 | 1 | 1.1 | 95 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 2 | 66.7 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 77 | 76.2 | 22 | 21.8 | 1 | 1.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 77 | 76.2 | 22 | 21.8 | 1 | 1.0 | 1 | 1.0 | 101 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 2 | 0.4 | 287 | 58.0 | 182 | 36.8 | 18 | 3.6 | 6 | 1.2 | 495 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 2 | 0.4 | 287 | 58.0 | 182 | 36.8 | 18 | 3.6 | 6 | 1.2 | 495 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 31 | 91.2 | 3 | 8.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 31 | 91.2 | 3 | 8.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 2 | 0.2 | 552 | 58.5 | 337 | 35.7 | 39 | 4.1 | 13 | 1.4 | 943 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 2 | 0.2 | 550 | 58.5 | 336 | 35.7 | 39 | 4.1 | 13 | 1.4 | 940 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 2 | 66.7 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |

質問9. もっと高度な内容を学びたかった。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 17 | 7.9 | 37 | 17.2 | 94 | 43.7 | 67 | 31.2 | 215 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 17 | 7.9 | 37 | 17.2 | 94 | 43.7 | 67 | 31.2 | 215 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 6 | 6.1 | 24 | 24.5 | 50 | 51.0 | 18 | 18.4 | 98 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 6 | 6.3 | 22 | 23.2 | 49 | 51.6 | 18 | 18.9 | 95 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 66.7 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |
| 医学部医学科 | 1 | 1.0 | 7 | 6.9 | 13 | 12.9 | 37 | 36.6 | 43 | 42.6 | 101 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 1.0 | 7 | 6.9 | 13 | 12.9 | 37 | 36.6 | 43 | 42.6 | 101 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 71 | 14.3 | 163 | 32.9 | 193 | 39.0 | 68 | 13.7 | 495 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 71 | 14.3 | 163 | 32.9 | 193 | 39.0 | 68 | 13.7 | 495 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 8 | 23.5 | 9 | 26.5 | 14 | 41.2 | 3 | 8.8 | 34 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 8 | 23.5 | 9 | 26.5 | 14 | 41.2 | 3 | 8.8 | 34 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 1 | 0.1 | 109 | 11.6 | 246 | 26.1 | 388 | 41.1 | 199 | 21.1 | 943 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.1 | 109 | 11.6 | 244 | 26.0 | 387 | 41.2 | 199 | 21.2 | 940 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 66.7 | 1 | 33.3 | 0 | 0.0 | 3 | 100.0 |

【その他自由記述欄】

| 区 分 | 記入有り「1」 | | 記入なし「0」 | | 合 計 | |
|-----------|---------|------|---------|------|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 80 | 37.2 | 135 | 62.8 | 215 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 80 | 37.2 | 135 | 62.8 | 215 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 28 | 28.6 | 70 | 71.4 | 98 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 26 | 27.4 | 69 | 72.6 | 95 | 100.0 |
| 情報処理 | 2 | 66.7 | 1 | 33.3 | 3 | 100.0 |
| 医学部医学科 | 50 | 49.5 | 51 | 50.5 | 101 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 50 | 49.5 | 51 | 50.5 | 101 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 80 | 16.2 | 415 | 83.8 | 495 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 80 | 16.2 | 415 | 83.8 | 495 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 8 | 23.5 | 26 | 76.5 | 34 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 8 | 23.5 | 26 | 76.5 | 34 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全 体 | 246 | 26.1 | 697 | 73.9 | 943 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 244 | 26.0 | 696 | 74.0 | 940 | 100.0 |
| 情報処理 | 2 | 66.7 | 1 | 33.3 | 3 | 100.0 |

平成23年度後期授業評価（情報処理）集計表

| 区 分 | 対象者数 | 提出者数 | 回収率(%) |
|-----------|------|------|--------|
| 教育学部 | 0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 160 | 143 | 89.4 |
| 情報処理入門 | 160 | 143 | 89.4 |
| 情報処理 | 0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0 | 0.0 |
| 合 計 | 160 | 143 | 89.4 |
| 情報処理入門 | 160 | 143 | 89.4 |
| 情報処理 | 0 | 0 | 0.0 |

- 1・・・あてあまる
- 2・・・ややあてはまる
- 3・・・あまりあてはまらない
- 4・・・あてはまらない

質問1. コンピュータやインターネットの基礎知識を修得できた。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 1 | 0.7 | 70 | 49.0 | 66 | 46.2 | 5 | 3.5 | 1 | 0.7 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.7 | 70 | 49.0 | 66 | 46.2 | 5 | 3.5 | 1 | 0.7 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 1 | 0.7 | 70 | 49.0 | 66 | 46.2 | 5 | 3.5 | 1 | 0.7 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.7 | 70 | 49.0 | 66 | 46.2 | 5 | 3.5 | 1 | 0.7 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

質問2. コンピュータの活用能力を高めることができた。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 1 | 0.7 | 72 | 50.3 | 58 | 40.6 | 10 | 7.0 | 2 | 1.4 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.7 | 72 | 50.3 | 58 | 40.6 | 10 | 7.0 | 2 | 1.4 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 1 | 0.7 | 72 | 50.3 | 58 | 40.6 | 10 | 7.0 | 2 | 1.4 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.7 | 72 | 50.3 | 58 | 40.6 | 10 | 7.0 | 2 | 1.4 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

質問3. 情報倫理に関する知識・態度を身につけることができた。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 2 | 1.4 | 53 | 37.1 | 80 | 55.9 | 7 | 4.9 | 1 | 0.7 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 2 | 1.4 | 53 | 37.1 | 80 | 55.9 | 7 | 4.9 | 1 | 0.7 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 2 | 1.4 | 53 | 37.1 | 80 | 55.9 | 7 | 4.9 | 1 | 0.7 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 2 | 1.4 | 53 | 37.1 | 80 | 55.9 | 7 | 4.9 | 1 | 0.7 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

質問4. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 1 | 0.7 | 39 | 27.3 | 70 | 49.0 | 25 | 17.5 | 8 | 5.6 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.7 | 39 | 27.3 | 70 | 49.0 | 25 | 17.5 | 8 | 5.6 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 1 | 0.7 | 39 | 27.3 | 70 | 49.0 | 25 | 17.5 | 8 | 5.6 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.7 | 39 | 27.3 | 70 | 49.0 | 25 | 17.5 | 8 | 5.6 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

質問5. シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 2 | 1.4 | 51 | 35.7 | 81 | 56.6 | 5 | 3.5 | 4 | 2.8 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 2 | 1.4 | 51 | 35.7 | 81 | 56.6 | 5 | 3.5 | 4 | 2.8 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 2 | 1.4 | 51 | 35.7 | 81 | 56.6 | 5 | 3.5 | 4 | 2.8 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 2 | 1.4 | 51 | 35.7 | 81 | 56.6 | 5 | 3.5 | 4 | 2.8 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

質問6. 出欠管理、成績評価基準など教員の学生への対応は適切であった。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 2 | 1.4 | 54 | 37.8 | 79 | 55.2 | 6 | 4.2 | 2 | 1.4 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 2 | 1.4 | 54 | 37.8 | 79 | 55.2 | 6 | 4.2 | 2 | 1.4 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 2 | 1.4 | 54 | 37.8 | 79 | 55.2 | 6 | 4.2 | 2 | 1.4 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 2 | 1.4 | 54 | 37.8 | 79 | 55.2 | 6 | 4.2 | 2 | 1.4 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

質問7. クラスの人数は適切であった。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 1 | 0.7 | 82 | 57.3 | 55 | 38.5 | 5 | 3.5 | 0 | 0.0 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.7 | 82 | 57.3 | 55 | 38.5 | 5 | 3.5 | 0 | 0.0 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 1 | 0.7 | 82 | 57.3 | 55 | 38.5 | 5 | 3.5 | 0 | 0.0 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.7 | 82 | 57.3 | 55 | 38.5 | 5 | 3.5 | 0 | 0.0 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

質問8. 教室の環境は適切であった。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 1 | 0.7 | 73 | 51.0 | 63 | 44.1 | 6 | 4.2 | 0 | 0.0 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.7 | 73 | 51.0 | 63 | 44.1 | 6 | 4.2 | 0 | 0.0 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 1 | 0.7 | 73 | 51.0 | 63 | 44.1 | 6 | 4.2 | 0 | 0.0 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.7 | 73 | 51.0 | 63 | 44.1 | 6 | 4.2 | 0 | 0.0 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

質問9. もっと高度な内容を学びたかった。

| 区分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合計 | |
|-----------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 1 | 0.7 | 15 | 10.5 | 27 | 18.9 | 67 | 46.9 | 33 | 23.1 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.7 | 15 | 10.5 | 27 | 18.9 | 67 | 46.9 | 33 | 23.1 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 1 | 0.7 | 15 | 10.5 | 27 | 18.9 | 67 | 46.9 | 33 | 23.1 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 1 | 0.7 | 15 | 10.5 | 27 | 18.9 | 67 | 46.9 | 33 | 23.1 | 143 | 100.0 |
| 情報処理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

【その他自由記述欄】

| 区 分 | 記入有り「1」 | | 記入なし「0」 | | 合 計 | |
|-----------|---------|-----|---------|------|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情 報 処 理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 社会情報学部 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情 報 処 理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部医学科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情 報 処 理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 医学部保健学科 | 10 | 7.0 | 133 | 93.0 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 10 | 7.0 | 133 | 93.0 | 143 | 100.0 |
| 情 報 処 理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部昼間コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情 報 処 理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 工学部夜間主コース | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情報処理入門 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 情 報 処 理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 全 体 | 10 | 7.0 | 133 | 93.0 | 143 | 100.0 |
| 情報処理入門 | 10 | 7.0 | 133 | 93.0 | 143 | 100.0 |
| 情 報 処 理 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

平成23年度教養教育アンケート集計表

| 区 分 | 受講者数 | 回 収 数 | 回収率(%) |
|------------------|-------|-------|--------|
| 教 育 学 部 | 247 | 230 | 93.1 |
| 社 会 情 報 学 部 | 105 | 61 | 58.1 |
| 医 学 部 医 学 科 | 81 | 54 | 66.7 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 158 | 150 | 94.9 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 524 | 424 | 80.9 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 32 | 34 | 106.3 |
| 合 計 | 1,147 | 953 | 83.1 |

質問1. 教養教育のカリキュラム(授業科目のメニュー、時間割、授業内容)についてどう感じましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 2 | 0.9 | 40 | 17.4 | 147 | 63.9 | 25 | 10.9 | 12 | 5.2 | 4 | 1.7 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 3 | 4.9 | 33 | 54.1 | 17 | 27.9 | 8 | 13.1 | 0 | 0.0 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 5 | 9.3 | 30 | 55.6 | 12 | 22.2 | 6 | 11.1 | 1 | 1.9 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 17 | 11.3 | 70 | 46.7 | 41 | 27.3 | 19 | 12.7 | 3 | 2.0 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 1 | 0.2 | 45 | 10.6 | 221 | 52.1 | 121 | 28.5 | 22 | 5.2 | 14 | 3.3 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 0 | 0.0 | 2 | 5.9 | 24 | 70.6 | 5 | 14.7 | 3 | 8.8 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 3 | 0.3 | 112 | 11.8 | 525 | 55.1 | 221 | 23.2 | 70 | 7.3 | 22 | 2.3 | 953 | 100.0 |

*「1」:とてもよかった 「2」:まあよかった 「3」:どちらともいえない 「4」:あまりいいとはいえない 「5」:わるい

質問2. 教養教育における教員の授業の教え方について、全体的にみてどう感じましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 2 | 0.9 | 39 | 17.0 | 141 | 61.3 | 41 | 17.8 | 6 | 2.6 | 1 | 0.4 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 8 | 13.1 | 32 | 52.5 | 15 | 24.6 | 6 | 9.8 | 0 | 0.0 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 9 | 16.7 | 26 | 48.1 | 18 | 33.3 | 1 | 1.9 | 0 | 0.0 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 17 | 11.3 | 93 | 62.0 | 33 | 22.0 | 6 | 4.0 | 1 | 0.7 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 2 | 0.5 | 60 | 14.2 | 190 | 44.8 | 122 | 28.8 | 35 | 8.3 | 15 | 3.5 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 0 | 0.0 | 4 | 11.8 | 17 | 50.0 | 9 | 26.5 | 4 | 11.8 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 4 | 0.4 | 137 | 14.4 | 499 | 52.4 | 238 | 25.0 | 58 | 6.1 | 17 | 1.8 | 953 | 100.0 |

*「1」:とてもよかった 「2」:まあよかった 「3」:どちらともいえない 「4」:あまりいいとはいえない 「5」:わるい

質問3. 事務窓口の対応や、その他の学生支援体制についてはどう感じましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 2 | 0.9 | 42 | 18.3 | 79 | 34.3 | 81 | 35.2 | 19 | 8.3 | 7 | 3.0 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 5 | 8.2 | 25 | 41.0 | 17 | 27.9 | 8 | 13.1 | 6 | 9.8 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 5 | 9.3 | 16 | 29.6 | 22 | 40.7 | 7 | 13.0 | 4 | 7.4 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 15 | 10.0 | 64 | 42.7 | 52 | 34.7 | 14 | 9.3 | 5 | 3.3 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 1 | 0.2 | 64 | 15.1 | 166 | 39.2 | 139 | 32.8 | 37 | 8.7 | 17 | 4.0 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 0 | 0.0 | 7 | 20.6 | 16 | 47.1 | 8 | 23.5 | 3 | 8.8 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 3 | 0.3 | 138 | 14.5 | 366 | 38.4 | 319 | 33.5 | 88 | 9.2 | 39 | 4.1 | 953 | 100.0 |

*「1」:とてもよかった 「2」:まあよかった 「3」:どちらともいえない 「4」:あまりいいとはいえない 「5」:わるい

質問4. 授業を選択するときに、シラバスはよく利用しましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 合 計 | |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 2 | 0.9 | 22 | 9.6 | 123 | 53.5 | 53 | 23.0 | 30 | 13.0 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 1 | 1.6 | 8 | 13.1 | 40 | 65.6 | 8 | 13.1 | 4 | 6.6 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 5 | 9.3 | 28 | 51.9 | 18 | 33.3 | 3 | 5.6 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 13 | 8.7 | 89 | 59.3 | 35 | 23.3 | 13 | 8.7 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 2 | 0.5 | 29 | 6.8 | 211 | 49.8 | 112 | 26.4 | 70 | 16.5 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 0 | 0.0 | 3 | 8.8 | 14 | 41.2 | 15 | 44.1 | 2 | 5.9 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 5 | 0.5 | 80 | 8.4 | 505 | 53.0 | 241 | 25.3 | 122 | 12.8 | 953 | 100.0 |

*「1」:授業の内容や進度の確認などに学期中何度も見た「2」:履修届を提出するときなどには参考にした「3」:ほとんど見なかった「4」:一度も見なかった

質問5. 入学時に配布した教養教育の「授業案内」、「履修手引」等は役立ちましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 3 | 1.3 | 113 | 49.1 | 86 | 37.4 | 21 | 9.1 | 5 | 2.2 | 2 | 0.9 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 36 | 59.0 | 22 | 36.1 | 3 | 4.9 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 20 | 37.0 | 26 | 48.1 | 4 | 7.4 | 4 | 7.4 | 0 | 0.0 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 62 | 41.3 | 70 | 46.7 | 14 | 9.3 | 2 | 1.3 | 2 | 1.3 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 2 | 0.5 | 183 | 43.2 | 162 | 38.2 | 57 | 13.4 | 15 | 3.5 | 5 | 1.2 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 0 | 0.0 | 9 | 26.5 | 13 | 38.2 | 6 | 17.6 | 6 | 17.6 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 5 | 0.5 | 423 | 44.4 | 379 | 39.8 | 105 | 11.0 | 32 | 3.4 | 9 | 0.9 | 953 | 100.0 |

*「1」:大変役に立った「2」:少し役に立った「3」:どちらともいえない「4」:あまり役に立たなかった「5」:役に立たなかった

質問6. 総合的に考えて、本学の教養教育に満足していますか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 3 | 1.3 | 43 | 18.7 | 122 | 53.0 | 41 | 17.8 | 17 | 7.4 | 4 | 1.7 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 8 | 13.1 | 28 | 45.9 | 17 | 27.9 | 8 | 13.1 | 0 | 0.0 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 3 | 5.6 | 25 | 46.3 | 17 | 31.5 | 8 | 14.8 | 1 | 1.9 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 0 | 0.0 | 22 | 14.7 | 75 | 50.0 | 42 | 28.0 | 10 | 6.7 | 1 | 0.7 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 1 | 0.2 | 52 | 12.3 | 196 | 46.2 | 125 | 29.5 | 38 | 9.0 | 12 | 2.8 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 0 | 0.0 | 5 | 14.7 | 17 | 50.0 | 10 | 29.4 | 1 | 2.9 | 1 | 2.9 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 4 | 0.4 | 133 | 14.0 | 463 | 48.6 | 252 | 26.4 | 82 | 8.6 | 19 | 2.0 | 953 | 100.0 |

*「1」:大変満足している「2」:少し満足している「3」:どちらともいえない「4」:あまり満足していない「5」:満足していない

質問7. 学修原論、履修してみてどう思いましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 10 | 4.3 | 92 | 40.0 | 105 | 45.7 | 18 | 7.8 | 5 | 2.2 | 0 | 0.0 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 23 | 37.7 | 30 | 49.2 | 7 | 11.5 | 1 | 1.6 | 0 | 0.0 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 14 | 25.9 | 29 | 53.7 | 9 | 16.7 | 2 | 3.7 | 0 | 0.0 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 2 | 1.3 | 30 | 20.0 | 83 | 55.3 | 30 | 20.0 | 4 | 2.7 | 1 | 0.7 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 11 | 2.6 | 111 | 26.2 | 214 | 50.5 | 66 | 15.6 | 14 | 3.3 | 8 | 1.9 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 1 | 2.9 | 3 | 8.8 | 16 | 47.1 | 14 | 41.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 24 | 2.5 | 273 | 28.6 | 477 | 50.1 | 144 | 15.1 | 26 | 2.7 | 9 | 0.9 | 953 | 100.0 |

*「1」:とてもよかった 「2」:まあよかった 「3」:どちらともいえない 「4」:あまり意味がなかった 「5」:ほとんど意味がなかった

質問8. 総合科目、履修してみてどう思いましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 11 | 4.8 | 68 | 29.6 | 119 | 51.7 | 28 | 12.2 | 2 | 0.9 | 2 | 0.9 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 14 | 23.0 | 38 | 62.3 | 8 | 13.1 | 1 | 1.6 | 0 | 0.0 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 16 | 29.6 | 26 | 48.1 | 10 | 18.5 | 1 | 1.9 | 1 | 1.9 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 2 | 1.3 | 28 | 18.7 | 85 | 56.7 | 27 | 18.0 | 7 | 4.7 | 1 | 0.7 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 9 | 2.1 | 72 | 17.0 | 241 | 56.8 | 80 | 18.9 | 15 | 3.5 | 7 | 1.7 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 2 | 5.9 | 5 | 14.7 | 14 | 41.2 | 13 | 38.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 24 | 2.5 | 203 | 21.3 | 523 | 54.9 | 166 | 17.4 | 26 | 2.7 | 11 | 1.2 | 953 | 100.0 |

*「1」:とてもよかった 「2」:まあよかった 「3」:どちらともいえない 「4」:あまり意味がなかった 「5」:ほとんど意味がなかった

質問9. 情報処理、履修してみてどう思いましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 10 | 4.3 | 46 | 20.0 | 101 | 43.9 | 49 | 21.3 | 20 | 8.7 | 4 | 1.7 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 8 | 13.1 | 30 | 49.2 | 18 | 29.5 | 5 | 8.2 | 0 | 0.0 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 22 | 40.7 | 18 | 33.3 | 10 | 18.5 | 4 | 7.4 | 0 | 0.0 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 2 | 1.3 | 31 | 20.7 | 73 | 48.7 | 26 | 17.3 | 14 | 9.3 | 4 | 2.7 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 5 | 1.2 | 97 | 22.9 | 197 | 46.5 | 81 | 19.1 | 30 | 7.1 | 14 | 3.3 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 0 | 0.0 | 12 | 35.3 | 19 | 55.9 | 3 | 8.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 17 | 1.8 | 216 | 22.7 | 438 | 46.0 | 187 | 19.6 | 73 | 7.7 | 22 | 2.3 | 953 | 100.0 |

*「1」:とてもよかった 「2」:まあよかった 「3」:どちらともいえない 「4」:あまり意味がなかった 「5」:ほとんど意味がなかった

質問10. 健康科学、履修してみてどう思いましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 10 | 4.3 | 100 | 43.5 | 90 | 39.1 | 27 | 11.7 | 3 | 1.3 | 0 | 0.0 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 23 | 37.7 | 26 | 42.6 | 9 | 14.8 | 2 | 3.3 | 1 | 1.6 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 17 | 31.5 | 24 | 44.4 | 9 | 16.7 | 1 | 1.9 | 3 | 5.6 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 2 | 1.3 | 50 | 33.3 | 74 | 49.3 | 18 | 12.0 | 5 | 3.3 | 1 | 0.7 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 5 | 1.2 | 138 | 32.5 | 189 | 44.6 | 68 | 16.0 | 14 | 3.3 | 10 | 2.4 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 0 | 0.0 | 14 | 41.2 | 18 | 52.9 | 2 | 5.9 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 17 | 1.8 | 342 | 35.9 | 421 | 44.2 | 133 | 14.0 | 25 | 2.6 | 15 | 1.6 | 953 | 100.0 |

*「1」:とてもよかった 「2」:まあよかった 「3」:どちらともいえない 「4」:あまり意味がなかった 「5」:ほとんど意味がなかった

質問11. 語学(英語)、履修してみてどう思いましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 10 | 4.3 | 57 | 24.8 | 98 | 42.6 | 39 | 17.0 | 18 | 7.8 | 8 | 3.5 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 7 | 11.5 | 31 | 50.8 | 16 | 26.2 | 7 | 11.5 | 0 | 0.0 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 7 | 13.0 | 25 | 46.3 | 16 | 29.6 | 4 | 7.4 | 2 | 3.7 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 3 | 2.0 | 22 | 14.7 | 76 | 50.7 | 38 | 25.3 | 6 | 4.0 | 5 | 3.3 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 5 | 1.2 | 70 | 16.5 | 190 | 44.8 | 104 | 24.5 | 39 | 9.2 | 16 | 3.8 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 0 | 0.0 | 10 | 29.4 | 16 | 47.1 | 7 | 20.6 | 1 | 2.9 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 18 | 1.9 | 173 | 18.2 | 436 | 45.8 | 220 | 23.1 | 75 | 7.9 | 31 | 3.3 | 953 | 100.0 |

*「1」:とてもよかった 「2」:まあよかった 「3」:どちらともいえない 「4」:あまり意味がなかった 「5」:ほとんど意味がなかった

質問12. 語学(フランス語他)、履修してみてどう思いましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|------------------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 10 | 4.3 | 59 | 25.7 | 93 | 40.4 | 37 | 16.1 | 22 | 9.6 | 9 | 3.9 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 18 | 29.5 | 20 | 32.8 | 18 | 29.5 | 4 | 6.6 | 1 | 1.6 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 11 | 20.4 | 29 | 53.7 | 11 | 20.4 | 2 | 3.7 | 1 | 1.9 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 23 | 15.3 | 16 | 10.7 | 46 | 30.7 | 57 | 38.0 | 6 | 4.0 | 2 | 1.3 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 41 | 9.7 | 43 | 10.1 | 117 | 27.6 | 163 | 38.4 | 31 | 7.3 | 29 | 6.8 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 7 | 20.6 | 5 | 14.7 | 1 | 2.9 | 20 | 58.8 | 1 | 2.9 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 81 | 8.5 | 152 | 15.9 | 306 | 32.1 | 306 | 32.1 | 66 | 6.9 | 42 | 4.4 | 953 | 100.0 |

*「1」:とてもよかった 「2」:まあよかった 「3」:どちらともいえない 「4」:あまり意味がなかった 「5」:ほとんど意味がなかった

質問13. 分野別科目(人文分野)、履修してみてどう思いましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 11 | 4.8 | 56 | 24.3 | 113 | 49.1 | 31 | 13.5 | 15 | 6.5 | 4 | 1.7 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 13 | 21.3 | 29 | 47.5 | 15 | 24.6 | 4 | 6.6 | 0 | 0.0 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 8 | 14.8 | 25 | 46.3 | 15 | 27.8 | 4 | 7.4 | 2 | 3.7 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 2 | 1.3 | 20 | 13.3 | 74 | 49.3 | 41 | 27.3 | 10 | 6.7 | 3 | 2.0 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 10 | 2.4 | 48 | 11.3 | 169 | 39.9 | 132 | 31.1 | 52 | 12.3 | 13 | 3.1 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 2 | 5.9 | 5 | 14.7 | 13 | 38.2 | 12 | 35.3 | 2 | 5.9 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 25 | 2.6 | 150 | 15.7 | 423 | 44.4 | 246 | 25.8 | 87 | 9.1 | 22 | 2.3 | 953 | 100.0 |

*「1」:とてもよかった 「2」:まあよかった 「3」:どちらともいえない 「4」:あまり意味がなかった 「5」:ほとんど意味がなかった

質問14. 分野別科目(社会分野)、履修してみてどう思いましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 11 | 4.8 | 47 | 20.4 | 97 | 42.2 | 58 | 25.2 | 10 | 4.3 | 7 | 3.0 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 18 | 29.5 | 24 | 39.3 | 16 | 26.2 | 3 | 4.9 | 0 | 0.0 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 4 | 7.4 | 20 | 37.0 | 22 | 40.7 | 4 | 7.4 | 4 | 7.4 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 2 | 1.3 | 15 | 10.0 | 72 | 48.0 | 52 | 34.7 | 6 | 4.0 | 3 | 2.0 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 6 | 1.4 | 58 | 13.7 | 178 | 42.0 | 143 | 33.7 | 32 | 7.5 | 7 | 1.7 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 1 | 2.9 | 7 | 20.6 | 19 | 55.9 | 5 | 14.7 | 2 | 5.9 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 20 | 2.1 | 149 | 15.6 | 410 | 43.0 | 296 | 31.1 | 57 | 6.0 | 21 | 2.2 | 953 | 100.0 |

*「1」:とてもよかった 「2」:まあよかった 「3」:どちらともいえない 「4」:あまり意味がなかった 「5」:ほとんど意味がなかった

質問15. 分野別科目(自然分野)、履修してみてどう思いましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|-----------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 11 | 4.8 | 51 | 22.2 | 99 | 43.0 | 41 | 17.8 | 20 | 8.7 | 8 | 3.5 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 1 | 1.6 | 6 | 9.8 | 24 | 39.3 | 23 | 37.7 | 6 | 9.8 | 1 | 1.6 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 9 | 16.7 | 23 | 42.6 | 15 | 27.8 | 5 | 9.3 | 2 | 3.7 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 9 | 6.0 | 16 | 10.7 | 61 | 40.7 | 57 | 38.0 | 5 | 3.3 | 2 | 1.3 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コース | 9 | 2.1 | 103 | 24.3 | 200 | 47.2 | 92 | 21.7 | 16 | 3.8 | 4 | 0.9 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コース | 1 | 2.9 | 9 | 26.5 | 10 | 29.4 | 12 | 35.3 | 2 | 5.9 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 31 | 3.3 | 194 | 20.4 | 417 | 43.8 | 240 | 25.2 | 54 | 5.7 | 17 | 1.8 | 953 | 100.0 |

*「1」:とてもよかった 「2」:まあよかった 「3」:どちらともいえない 「4」:あまり意味がなかった 「5」:ほとんど意味がなかった

質問16. 学部別科目、履修してみてどう思いましたか。

| 区 分 | 無回答 | | 「1」 | | 「2」 | | 「3」 | | 「4」 | | 「5」 | | 合 計 | |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 10 | 4.3 | 75 | 32.6 | 109 | 47.4 | 26 | 11.3 | 7 | 3.0 | 3 | 1.3 | 230 | 100.0 |
| 社 会 情 報 学 部 | 0 | 0.0 | 6 | 9.8 | 27 | 44.3 | 20 | 32.8 | 6 | 9.8 | 2 | 3.3 | 61 | 100.0 |
| 医 学 部 医 学 科 | 0 | 0.0 | 11 | 20.4 | 19 | 35.2 | 17 | 31.5 | 6 | 11.1 | 1 | 1.9 | 54 | 100.0 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 4 | 2.7 | 19 | 12.7 | 76 | 50.7 | 38 | 25.3 | 9 | 6.0 | 4 | 2.7 | 150 | 100.0 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 6 | 1.4 | 99 | 23.3 | 200 | 47.2 | 103 | 24.3 | 12 | 2.8 | 4 | 0.9 | 424 | 100.0 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 1 | 2.9 | 11 | 32.4 | 13 | 38.2 | 9 | 26.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 34 | 100.0 |
| 合 計 | 21 | 2.2 | 221 | 23.2 | 444 | 46.6 | 213 | 22.4 | 40 | 4.2 | 14 | 1.5 | 953 | 100.0 |

*「1」:とてもよかった 「2」:まあよかった 「3」:どちらともいえない 「4」:あまり意味がなかった 「5」:ほとんど意味がなかった

【その他自由記述欄】

| 区 分 | 全 体 | | 記入有り「1」 | | 記入なし「0」 | |
|------------------|-----|-------|---------|------|---------|------|
| | 人 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教 育 学 部 | 230 | 100.0 | 31 | 13.5 | 199 | 86.5 |
| 社 会 情 報 学 部 | 61 | 100.0 | 8 | 13.1 | 53 | 86.9 |
| 医 学 部 医 学 科 | 54 | 100.0 | 8 | 14.8 | 46 | 85.2 |
| 医 学 部 保 健 学 科 | 150 | 100.0 | 14 | 9.3 | 136 | 90.7 |
| 工 学 部 昼 間 コー ス | 424 | 100.0 | 35 | 8.3 | 389 | 91.7 |
| 工 学 部 夜 間 主 コー ス | 34 | 100.0 | 2 | 5.9 | 32 | 94.1 |
| 合 計 | 953 | 100.0 | 98 | 10.3 | 855 | 89.7 |

平成 23 年度教養教育授業評価アンケート（学生からの意見）集計表

学修原論

- 1 興味ある学修原論がとれなかったりしたのが残念でした。
- 2 学修原論は教わらなくても生きていけそうな内容だった。

情報処理

- 1 情報処理でパソコンが嫌いになった。
- 2 情報の授業で学んだことを、実際の自分のレポートを作成するときなどに生かすことはなかったから。
- 3 情報処理入門も物理や英語のようにレベル別のクラス分けをしてほしい。

健康科学

- 1 スポーツについてはもう少しバリエーションがあってもよかったのではないか。
- 2 体育はいらない

英 語

- 1 大学でまで、高校での受験英語だった。
- 2 英語はもっとやるべきだと思う。TOEICを取り入れたりして。
- 3 英語意味ない。
- 4 受けたものが悪かったのかもしれないが、単位稼ぎでしかなかった。英語Bの教科書が簡単すぎる。
- 5 英語教育がまるでためにならない。高校でもう一回勉強する方がよっぽど良い。せっかく外国の先生がいるのだから喋らないと意味ない。逆にいろいろ忘れてしまった。授業数増やしても英語に力を入れてるとは言えない。
- 6 英語・・・何を学ばせたいのか不明。
- 7 英語の評価は学部共通がよかった。
- 8 英語では先生が選べない。私の英語の先生は皆がCばかりの評価に対し、他の専攻ではAがほとんどだという。副専などで評価を見られる時に不公平に感じた。英語の教員を選択できる・もしくは評価の公平性をどうにかしてほしい。
- 9 英語はあまり意味がなかった。もっと単語や文法などをしっかりと学習したい。内容もそんなに濃くない教科書がかなり高いのも悪い。
- 10 読みの練習をしたかった(英語)
- 11 英語の多読システムを改善すべき。友達と協力したり読まずにクイズだけ答えたりする人がいるせいで、真面目にやるのがバカらしくなってくる。

語学（英語以外）

- 1 第二外国語はとってないです。
- 2 語学は受講していません
- 3 語学が基本仏・独選択ということに納得がいかない。
- 4 語学を充実させてください。
- 5 語学は特にフランス語が最悪だった。
- 6 語学を充実させて下さい。
- 7 語学を英語しか取っていないため

分野別科目

- 1 高校の内容をもう少し触れて欲しかった。(化学、生物)
- 2 分野別自然は文系には少し厳しい内容でした。
- 3 特に文系は自然分野の知識がほとんど無いため、自然分野においてはもう少し文系向けの内容がほしい。そもそも人数制限をして、取れなかった学生の時間割への対処がない。
- 4 分野別科目の自然分野は、文系の人にはむずかしい。もっと文系の人にもわかりやすい授業がほしい。
- 5 化学は高校の時と内容がほとんど同じだった。物理もそうだった。

学部別科目

- 1 学部別・・・単位を取るだけの授業で学ぶことは少なかった。
- 2 学部別は将来どうして必要なのがわからなかった。
- 3 専門科目の物理を学ぶ上で、前期に力学、後期に電磁気学としてやった方がいい。

教員の対応、教え方

- 1 中途半端にかんじることがあった。
- 2 後ろからでも見やすい板書になると助かる。
- 3 教科書を読めばわかることをわざわざ黒板に書き時間をかける意味がわからない。
- 4 教授の声がゴモゴモしていて何を話しているのか理解しかねる。独り言のように喋るのは良くないと思う。
- 5 非常勤の講師だと思うが、講義の声が聞こえなく受けていて意味ないと思えるような講義もあるので、マイクの設備を使いやすくしてほしい。
- 6 先生にやる気を感じない。授業をしっかりやってほしい。
- 7 高校でやっていない内容もやったものとして進める場合がかなりあったのでそういったことにも配慮すべき
- 8 授業中にうるさい→注意しない先生がいて、集中できない。
- 9 出席を取らない、テストのみ(レポートのみ)では実力、知識は身に付かないと思う。
- 10 教授はお互いに講義をききあって、群大一年生に必要な内容であるかどうか精査すべきだと思う。
- 11 先生の説明だけが先走って生徒はついていけない授業があった。
- 12 教師によって講義の質にムラがある。

時間割編成

- 1 9－10限に必修科目(学部別科目)を配置しないでほしい。
- 2 授業時間の分散を希望
- 3 木曜日の1・2限と9・10限にだけ必修の授業があり不便だった。
- 4 曜日と時間ごとにバランスよく授業を配分してほしいです。例えば火曜日の4コマには選択科目がたくさんあるのに、水曜日の4コマには選択肢がないと自分の取りたい授業を取れなくなってしまうので。
- 5 やりたい授業がかぶっていて、受けられないものがあり残念だった。
- 6 時間割が偏りすぎている。もっとどのコマにも教養教育があれば履修しやすいと思う。
- 7 とりたい教養が他のとりたいものとかぶっていた。
- 8 医学部の1年が、やり方にもよるが、いくら何でもヒマすぎないか。特に火曜や金曜2年以降の授業を持ってきてほしい。
- 9 とりたい授業が必修とかぶって取れなかった。

- 10 英語が1・2限にあるのがつらかったです。朝早いので頭まわりませんでした。
- 11 看護専攻の場合、英語、スペイン語の異文化コミュニケーション関連の講義を同時にとることができないようになっているのは、私にとって不都合であった。

授業内容、成績評価

- 1 授業にもよるが、もう少し興味深いものがきけると思っていた。
- 2 科目に似ているのが多いと思う。
- 3 難しく、内容が理解できなかった。
- 4 授業は、自分で選んだのでそこまで不満が出ることはないのでは？（学部別は抜いて）
- 5 時々シラバスで書かれた内容に対して異様に高難度だったり、逆に妙に低難度のものがあった。
- 6 講義はとても興味がひかれ、おもしろかった。このような人間のコミュニケーションに関わるような日常生活においても仕事の現場においても役立つような講義が増えるといいと感じた。
- 7 面白かったです。必修科目が1コマに多かったので2コマからにして欲しいです。

事務窓口対応

- 1 学部の事務の対応が悪い。学生センターはなかなかよい。
- 2 休講なのにその旨を貼り出さないのは良くないと思う。

その他

- 1 抽選の際、何を基準に選んでいるのか知りたい。
- 2 抽選に関して1年生より2年生、3年生を優遇してほしい。
- 3 工学部生で後期の日本国憲法の選考のもれたのは非常に大変である。
- 4 工学部は1年で必修を1つおとすと桐生から前橋まで来なければなりません。そうすると3年に上がる時に2年の単位がとれなくて留年してしまいます。そこをなんとかしてください。
- 5 アンケートなどのネット打込は大変で携帯によってはできず困る。
- 6 人気な科目は抽選になってしまうものがあり、取りたい科目がとれないことがあるので、何か対応策があるといいと思う。
- 7 群馬大学のみならず、日本の教育システム自体が問題だらけだと思う。
- 8 例年までは、全員履修できたのに、工事で大きな教室が利用できなくなり抽選ということがあります、少し困りました。
- 9 教養教育でとらなければならない数が多い。
- 10 工学部と他学部の教養科目の数の差がありすぎると思います。
- 11 受講していない 又は、興味がない分野のため特別身についた気がしていないから。
- 12 他学部 비해受講数が多いと感じた。また受講した講義の多さゆえ、それぞれが十分に勉強できたと思えなかった。
- 13 リラクゼーション・マッサージなどの講義がもう少し欲しいかなと思う。
- 14 ほとんど意味がなかった項目は履修しなかったから。
- 15 やりたい科目も抽選とかで、出来なくなるのはどうかと思う。
- 16 定員オーバーで受りたい授業が受けられないのは辛かった。
- 17 抽選もれで興味のない授業をやむをえずとることが多く、やる気を持てなかった。
- 18 時間割を組む際に受りたい授業が取れなくなったりするので改善してほしい。
- 19 抽選の廃止を希望
- 20 群大のレベルの低さを感じた。駐車場より大講義室を増やすべき

- 21 G Bの改修を長期休業中にやってほしかった。取りたい授業教室せまくて全て落ちた。
- 22 人数制限で取れたかった講義が取れなかったので、いくつもあり嫌だった。
- 23 特定の学部は単位を認めないという授業があったが、そういったものはその教科に対してより深く学びたい人にとってよいこととは思えなかった。
- 24 単位互換の関係で受けていないため、意味がなかった。
- 25 単位をください。
- 26 かなり興味のない授業も単位の数合わせでとらなければならないので授業に身が入らない。
- 27 興味がひかれなかった。
- 28 G Bが工事中で大きい教室を使えなかったからといって、いつもなら人数制限がない講義なのに今年をあぶれてしまったのが納得いかない。
- 29 昭和でやれ
- 30 医学に関係ない。
- 31 やっぱり1年生の前期だけでもいいから純粋に教養だけとれる期間がほしい。専門もだいじではあるが、専門の日(月・金)にとりたい授業が結構あるしさみしい。
- 32 もっと医学的な内容を取り扱っている講義を増やしても良いのではないかと思った。
- 33 受けていなかった。
- 34 履修しなかったから
- 35 受けていない
- 36 前期が中途半端さを感じている。
- 37 さぼっても単位がとれるから

教養教育授業等に関するアンケート

■アンケート対象者(群馬大学学部1年生)

| 事 項 | 人 数 | 割 合 | 備 考 |
|--------|-----|-------|-----|
| 教育学部 | 168 | 20.2 | |
| 社会情報学部 | 71 | 8.5 | |
| 医学部 | 199 | 23.9 | |
| 工学部 | 394 | 47.4 | |
| 合 計 | 832 | 100.0 | |

○パソコンの所持状況について

問1. あなたは、パソコンを所持していますか？(複数回答可)

| 事 項 | 人 数 | 割 合 | 備 考 |
|--------------------|-----|-------|-----|
| 1. デスクトップ型パソコン | 97 | 10.9 | |
| 2. ノート型パソコン | 740 | 83.4 | |
| 3. iPadなどのタブレット | 12 | 1.4 | |
| 4. その他 | 2 | 0.2 | |
| 5. 現在、パソコンを所持していない | 36 | 4.1 | |
| 合 計 | 887 | 100.0 | |

4. その他
・親のパソコン

問2. パソコンを所持している方は、いつ購入しましたか？

| 事 項 | 人 数 | 割 合 | 備 考 |
|----------|-----|-------|-----|
| 1. 中学生時 | 53 | 6.6 | |
| 2. 高校生時 | 111 | 13.9 | |
| 3. 大学入学前 | 447 | 55.9 | |
| 4. 大学入学後 | 188 | 23.5 | |
| 合 計 | 799 | 100.0 | |

問3. パソコンは何の目的で購入しましたか？(複数回答可)

| 事 項 | 人 数 | 割 合 | 備 考 |
|--------------------|------|-------|-----|
| 1. 勉強用 | 276 | 24.7 | |
| 2. 特に大学授業の勉強に必要なため | 464 | 41.6 | |
| 3. 趣味・娯楽のため | 376 | 33.7 | |
| 合 計 | 1116 | 100.0 | |

問4. パソコンは主にどのソフトを活用していますか？(複数回答可)

| 事 項 | 人 数 | 割 合 | 備 考 |
|------------|------|-------|-----|
| 1. ワード | 754 | 52.5 | |
| 2. エクセル | 389 | 27.1 | |
| 3. パワーポイント | 262 | 18.2 | |
| 4. 一太郎 | 9 | 0.6 | |
| 5. その他 | 23 | 1.6 | |
| 合 計 | 1437 | 100.0 | |

5. その他

- ・ GINP
- ・ iTunes
- ・ x-アプリ
- ・ sleipnir
- ・ open office
- ・ PaintToolSAI
- ・ Janetter
- ・ HellSinker
- ・ PrintMusic
- ・ RadioLineFree
- ・ Audacity
- ・ SAI
- ・ Tex
- ・ アプリ
- ・ イラレ
- ・ 音楽
- ・ ゲーム
- ・ 辞書
- ・ スカイプ
- ・ ツイタマ
- ・ メモ帳

問5. 今後、購入予定がありますか？購入するとしたらどのタイプですか？(複数回答可)

| 事 項 | 人 数 | 割 合 | 備 考 |
|-----------------|-----|-------|-----|
| 1. デスクトップ型パソコン | 88 | 10.7 | |
| 2. ノート型パソコン | 196 | 23.8 | |
| 3. iPadなどのタブレット | 65 | 7.9 | |
| 4. その他 | 2 | 0.2 | |
| 5. 今後、購入予定はない | 474 | 57.5 | |
| 合 計 | 825 | 100.0 | |

5. 今後購入予定はない理由

- ・ 1台あれば十分だから
- ・ 2台は必要ないから
- ・ 新しくしたばかりだから
- ・ 今使用しているもので十分だから
- ・ お金がない
- ・ 金銭面での都合

○教養教育授業に係る成績評価について

問6. あなたの成績は、シラバスに明示された評価基準による適切な評価でしたか？

| 事 項 | 人 数 | 割 合 | 備 考 |
|--------------------|-----|-------|-----|
| 1. 全教科とも適正に評価されていた | 725 | 97.3 | |
| 2. 適正に評価されていなかった | 20 | 2.7 | |
| 合 計 | 745 | 100.0 | |

2. 適正に評価されていなかった

以下に適正でない科目があった場合、授業科目名称と理由を記入

- ・線形代数学Ⅰ
- ・微分積分学Ⅰ（きびしい）
- ・線形代数学Ⅱ（きびしい）
- ・物理学実験の評価に疑問。欠席ないんだから最低でもDじゃ？
- ・力学（高橋浩先生）シラバスに明記されていたものと全く違った

2 学生支援センター

学生支援センターは、下部組織に学生に対する学生相談・生活部会及び就職支援部会の審議機関を組織し各学部等から委員が選出されている。審議内容等は、学生相談、生活支援及び就職支援等である。当該支援事業の事務は、学生支援課が各学部の学生支援担当係と連携を図り行っている。平成23年度の主な支援等の事項は、次のとおりである。

2.1 入学料免除及び徴収猶予

入学生について、学部生においては、特別な事情（学資負担者が1年以内に死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合（以下「特別な事情」という。))により入学料の納入が著しく困難な場合、大学院生、専攻科生については、経済的理由により入学料の納入が困難、かつ、学業優秀と認められる場合、又は特別な事情による場合について、修学を支援するため、入学料免除及び徴収猶予を行っている。

2.1.1 免除申請者数、免除者数

平成23年度入学料免除申請者数、免除者数については、次のとおりである。

4月1日入学：免除申請者数 112人、免除者数 60人

10月1日入学：免除申請者はいなかった。

2.1.2 徴収猶予申請者数、徴収猶予者数

平成23年度入学料徴収猶予申請者数、徴収猶予者数については、次のとおりである。

4月1日入学：徴収猶予申請者数 33人、徴収猶予者数 28人

10月1日入学：徴収猶予申請者数 4人、徴収猶予者数 4人

2.2 授業料免除及び徴収猶予

経済的理由により授業料の納入が困難、かつ、学業優秀と認められる学生又は特別な事情（学資負担者が授業料納入期限の6ヶ月以内に死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた）により授業料の納入が著しく困難な学生について、修学を支援するため、授業料免除及び徴収猶予を行っている。

2.2.1 免除申請者数、免除者数

平成23年度授業料免除申請者数、免除者数については、次のとおりである。

前期：免除申請者数 838人、免除者数 733人

後期：免除申請者数 773人、免除者数 726人

2.2.2 徴収猶予申請者数、徴収猶予者数

平成23年度授業料徴収猶予申請者については、次のとおりである。

前期：徴収猶予申請者数 2人、徴収猶予者数 2人

後期：徴収猶予申請者はいなかった。

2.3 寄宿料免除

本学では、学生本人又は学資負担者が風水害等の災害を受け、寄宿料の納入が著しく困難と認められる場合、寄宿料の免除を行っている。

2.3.1 免除申請者数, 免除者数

免除申請者はいなかった。

2.4 奨学金

本学では、日本学生支援機構の奨学金と地方公共団体や民間奨学団体から本学に募集依頼のあった奨学金を扱っている。これらの奨学金は、いずれも学業・人物ともに優秀であり、かつ健康であって経済的理由により学資の支弁が困難であると認められた者が対象となる。

なお、日本学生支援機構の奨学金には、無利子貸与の第一種奨学金と有利子貸与の第二種奨学金があり、いずれも貸与終了後には、返還が必要となる。

2.4.1 日本学生支援機構第一種奨学生数 (平成23年10月1日現在)

| | |
|------|------------------------|
| 学部生 | 809人 (特別支援教育特別専攻科を含む。) |
| 大学院生 | 264人 |

2.4.2 日本学生支援機構第二種奨学生数 (平成23年10月1日現在)

| | |
|------|--------------------------|
| 学部生 | 1,244人 (特別支援教育特別専攻科を含む。) |
| 大学院生 | 114人 |

2.4.3 日本学生支援機構以外の奨学生数 (平成23年10月1日現在)

| | |
|------|-----|
| 学部生 | 23人 |
| 大学院生 | 0人 |

2.5 学生相談体制及び学生相談

本学は、次のような学生相談体制を設け、学生の個人的な問題や悩みごとについての相談に応じている。

2.5.1 学生相談体制

全学の学生を対象に荒牧キャンパスに学生相談室を、また、工学部の学生を対象に桐生キャンパスに学生相談室を設けて相談に応じている。

2.5.2 主な相談事項

主な相談事項は、勉学・進路、メンタルヘルス、クラブ・サークル活動、経済的事情・アルバイト、友人(男女)関係についてなどである。

2.5.3 学生相談アンケートの実施及び活用

平成23年12月に講師以上の全教員に対して、平成23年4月1日から平成23年12月31日までの間に学生から相談のあった内容や各教員の対応について「学生相談アンケート」を実施し、回収率32.9%であった。

なお、各教員が個々の相談事例にどのように対処したのかの内容を報告書にまとめ、全教員に配付し学生指導の活用を図った。

2.6 授業欠席状況調査

欠席状況調査は、授業への受講状況を通して本学学生の学業意欲を調査し、精神面の障害や不健康状態にある者を早期に発見して、面談等により本人へ適切な指導を与えることを目的とする。

2.6.1 授業欠席者数及び主な欠席理由

平成23年度前期欠席者数：20名

主な欠席理由：進路の迷い、授業が理解できない、朝寝坊及び気のゆるみ、
身体的病気怪我等

平成23年度後期欠席者数：49名

主な欠席理由：進路の迷い、授業が理解できない、身体的病気怪我等

2.6.2 実施方法、時期

1) 実施方法

- ・実施時期は、5月（前期）と11月（後期）の年2回を実施基準月とする。
- ・調査対象は、卒業研究に着手（研究室に所属）しない学部全学生とする。
- ・調査科目は、各学部が指定した科目とする。
ただし、1年次前期は、学部の依頼により大学教育センターが指定した健康学原論とし、後期は、別紙授業科目とする。
- ・調査方法は、調査科目について連続4回の出欠チェックを行う。
- ・集計作業は、各学部担当事務（1年次生は学務部）が行う。
- ・4回のチェックのうち3回以上欠席した者をクラス担任別に集計する。
- ・クラス担任別集計に基づき面接対象一覧と個人ごとの面接票を作成する。
- ・面接票には学籍番号、所属、氏名、住所、電話番号等を記載する。
- ・学部長名（1年次生は学生相談・生活部会長名）で面接対象一覧と面接票を添えて、クラス担任等に対して欠席者の事情聴取を期限内に終了するよう依頼する。

2) クラス担任による欠席者の事情聴取

- ・実施時期は、6月（前期）、12月（後期）を実施基準月とする。
- ・調査対象は、3回以上欠席した者とする。
- ・調査方法は、クラス担任等が対象者を呼び出し、直接面談により欠席理由等を聴取する。
- ・面談により適切な指導を行い、かつ、精神科医の面談の可否を判断し、その内容を面接票に記載して、その都度学部長（1年次生は学務部）に提出する。

3) 医師による欠席者との面談

クラス担任等から学部長（1年次生は学務部）に提出された面接票を健康支援総合センター医師に回付し、医師が指導の必要があると判断した欠席者と面談を行い、必要なカウンセリング等を行う。

2.7 障害学生への支援

障害のある学生がその能力に応じ、群馬大学において十分な教育を受け、学生生活を送ることができるために、大学教育・学生支援機構の中に、障害学生サポートルームが設置されている。また、聴覚障害のある学生に対し、パソコンテイクなどの修学支援を行っている。

2.7.1 障害学生数

平成23年度に障害のある学生は、聴覚障害6名が在籍した。

2.7.2 支援内容

群馬大学障害学生修学支援実施要項に基づく修学支援の必要な学生は、聴覚障害6名であった。聴覚障害学生のうち3名は、1授業につきパソコンテイク者2名の交互による修学支援、手話通訳を行い、他の3名にはパソコンテイクを行った。

2.8 学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険

学生教育研究災害傷害保険は、学生が正課中、学校行事中、学校施設内外における課外活動中、学校施設内にいる間、通学中、学校施設等相互間の移動に係る傷害に対して補償を行う保険である。

学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課中、学校行事中及び正課、学校行事としてのインターンシップ、介護等体験活動、教育実習、ボランティア活動等を行う際及びその往復中で、他人にけがを負わせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険である。

本学では、教育研究の円滑な実施のために、入学の際に当該保険に全員が加入することを勧めている。

2.8.1 加入者数

平成23年度の学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険加入者数は、資料のとおりである。

2.8.2 請求種別保険金請求件数

平成23年度の学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数は、資料のとおりである。

2.9 通学証明書，旅客運賃割引証

通学証明書は、学生がJR、私鉄、バス等の通学定期券を購入する際に必要となる証明書である。

学生旅客運賃割引証は、学生の修学上の経済的負担軽減と学校教育の振興に寄与することを目的としている制度で、片道乗車区間の距離100kmを超える区間を乗車する際に使用することができる。

通学証明書及び学生旅客運賃割引証発行業務については、荒牧地区、昭和地区、桐生地区及び太田地区で証明書自動発行機にて行っている。

2.9.1 発行枚数及び主な発行理由

平成23年度の通学証明書及び学生旅客運賃割引証の発行枚数等は、資料のとおりである。

2.10 学生寮

本学には、前橋地区に養心寮、桐生地区に啓真寮の2寮がある。

学生寮は、集団生活を通して社会人としての優れた人物の育成及び学生の経済的負担の軽減を図ると共に、人間形成の場として有意義な学生生活が送れるよう設けられている。

2.10.1 養心寮入寮者数

養心寮入寮者（定員は男子77人、女子62人、合計139人、寄宿料月額4,300円）の、月平均入寮者数は男子72.7人、女子61.8人である。

2.10.2 啓真寮入寮者数

啓真寮入寮者（定員は男子のみで102名、寄宿料月額5,900円）の、月平均入寮者数は15.7人である。

2.11 生活支援施設

本学では、学生生活の利便性を確保し、経済面の支援を図るために荒牧地区、昭和地区及び桐生地区にそれぞれ食堂・売店等を設けており、群馬大学生生活協同組合に委託している。

食堂では食事及び懇親会等を、売店では、書籍、日用品、旅行鞆等を市価より安く提供している。

2.11.1 食堂

| 事項・地区 | 荒牧地区 | 昭和地区 | 桐生地区 |
|---------|----------------------------|-------------------------|---|
| 座席数 | 487席 (ホール内426席,外61席) | 298席 (ホール内276席,外22席) | 558席 (ホール内438席,外20席, 桐園100席) |
| 営業時間 | 11:00～14:00 17:30～19:30 | 11:00～14:00 | 11:00～14:00 17:30～19:00 桐園 11:00～14:00 |
| 年間営業日数 | 296日 | 296日 | 284日 |
| 年間利用者数 | 147,062人 | 51,387人 | 189,782人 |
| 提供メニュー数 | 50以上 | 30以上 | 60以上 |

2.11.2 売店

| 事項・地区 | 荒牧地区 | 昭和地区 | 桐生地区 |
|--------|------------|------------|------------|
| 営業時間 | 9:30～18:00 | 8:30～18:00 | 9:30～18:00 |
| 年間営業日数 | 290日 | 296日 | 284日 |
| 年間利用者数 | 195,406人 | 137,826人 | 189,782人 |

2.12 課外活動施設

本学には、荒牧、昭和、桐生の各キャンパスに各種の課外活動施設があり、学生の利用に供している。その主な施設については、次のような施設仕様、使用等状況である。

2.12.1 体育施設

・荒牧キャンパス

陸上競技場

陸上競技場は、400メートルトラックで、フィールドの材質は土である。体育の授業や、陸上競技部で主として使用している。

また、トラック内側の芝生（インフィールド）も、やり投げ等の陸上種目の他、クリケット等の他のスポーツで使用している。

サッカー・ラグビー場

サッカー・ラグビー場は、サッカー又はラグビーの公式試合が可能な面積を持っており、グラウンド材質は土である。サッカー、ラグビー及びフットサル用のゴールが設置してある。サッカー・ラグビー場には、夜間照明も設置している。

サッカー部、ラグビー部、アメリカンフットボール部及びフットサルサークルなどが主として使用している。

また、教育学部、社会情報学部の体育大会では、このサッカー・ラグビー場と体育館を主会場として使用している。

テニスコート

テニスコートは、次の9コートがあり、硬式テニス部やソフトテニス部を始め、荒牧地区、昭和地区の各テニスサークルが主として使用している。

- ・硬式専用コート3面（クレーコート）
- ・軟式専用コート3面（クレーコート）
- ・全天候型コート2面（オムニコート（人工芝））
- ・両用コート1面（クレーコート。ゴルフ練習施設併設）

なお、オムニコートは夜間照明が設置してあり、水はけのよい人工芝のため雨上がりにすぐ使えることもあり、人気が非常に高い。その反面人工芝の消耗も激しく、修繕費がかかるのが難点となっている。

野球場

野球場は、内野は土、外野は芝生で、夜間照明も設置してある。当該球場は、荒牧キャンパス、昭和キャンパス及び桐生キャンパスの各野球クラブ・サークルが日毎に交替制で使用している。

当該施設を主に使用しているクラブ・サークルは、準硬式野球部、硬式野球部、軟式野球サークルアウィル及び医学部準硬式野球部である。

プール

プールは、8コースの50メートルプールで、5月～8月まで使用している。水泳部が主として使用しているが、教育学部体育専攻の授業や、教養教育科目のシーズンスポーツ（野外スポーツ、カヌー）などでも使用している。

第1体育館

第1体育館は、クラブ・サークル活動や体育の授業のうち、主として球技用として使用し

ている。バレーボール、バスケットボールなどであれば2面使用可能である。バレーボール部、バスケットボール部などが主として使用しているほか、教育学部、社会情報学部の体育大会でもサッカー・ラグビー場と並んで主会場として使用している。

第2体育館

第2体育館は、主として体操競技、ダンスなどの授業、クラブ・サークル活動に使用している。当該体育館には、広い面積の鏡や、体操での安全確保用のウレタンを敷き詰めたピットなどがある。また、卓球部、バドミントン部なども第2体育館を主として使用している。

武道場

武道場は、剣道などで使用している床面が1面、柔道などで使用している畳面が1面の計2面があり、各種武道の授業及びクラブ・サークル活動で使用している。主として剣道部、柔道部、空手道部、少林寺拳法部、レスリング部などが使用している。

弓道場

弓道場は、射場と矢取り塚とで構成される施設であり、平成22年度に新営され、公式試合が可能となっている。

馬場

馬場は、馬術部が使用している施設で、地面の表層は砂、その下が土で、最下層は小石となっている。乗馬して練習すると表面が荒れるため、馬術部学生が常に整地して使用している。

学生が365日馬場の部室に常駐し（授業時間及び深夜を除く）、馬に餌等を与えて馬場を管理している。なお、餌代は学生が拠出している。

・昭和キャンパス

体育館

体育館は、バレーボール、バスケットボール、バドミントンなどの球技で使用するアリーナと、剣道場・柔道場各1面の武道場があり、武道場の二階は卓球場となっている。

昭和地区では体育の正課授業がないため、体育館は主としてクラブ・サークル活動などで使用している。

弓道場

荒牧地区等と同様に弓道場がある。昭和地区は敷地面積が狭隘であるため、荒牧地区と比べると射場の幅は狭くなっている。

・桐生キャンパス

菱グラウンド（サッカー・ラグビー場、野球場）

サッカー・ラグビー場のグラウンド材質は土で、サッカー及びラグビー用のゴールが設置してあり、サッカー部、ラグビー部及びフットサルサークルなどが主として使用している。

野球場は、内野は土、外野は芝生で、硬式野球部が主として使用しているほか、工学部や各学科のソフトボール大会の会場としても使用している。

テニスコート

テニスコートは全天候型コート（オムニコート（人工芝））が3面あり、硬式テニス部、ソフトテニス部が主に使用している。

水はけのよい人工芝のため雨上がりにすぐ使えることもあり、人気が非常に高い。その反面人工芝の消耗も激しく、修繕費がかかるのが難点となっている。

プール

プールは、7コースの25メートルプールで、5月～8月まで使用している。水泳部が主として使用しているほか、7～8月は一般学生及び教職員にも開放している。

体育館

1階は武道場となっており、剣道などで使用している床面が1面、柔道などで使用している畳面が1面の計2面がある。主として剣道部、柔道部、空手道部、少林寺拳法部、ダンスサークル、八木節同好会などが使用している。また、併設されているトレーニングルームは、陸上競技部を始め、屋外の運動部も使用している。

2階は主として球技用のフロアであり、バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、バドミントン部などが使用しているほか、工学部内の体育大会でも菱グラウンドと並んで主会場として使用している。

弓道場

弓道場は、射場と矢取り塚とで構成される施設であり、弓道部が主として使用している。

2.12.2 文化施設

課外活動等で使用している主な文化施設等は次のとおりである（荒牧キャンパスのみ）。

ミュージズホール

ミュージズホールは、大学会館内の多目的ホールで、各種会合、集会等に使用する施設である。

集会室

3室の集会室があり、うち1室は和室である。和室は主に茶道部などが使用している。

2.12.3 課外活動共用施設

・荒牧キャンパス

課外活動共用施設は、南北に2棟あり北棟は主に運動系サークルが、南棟は主として文化系サークルが共同で利用している施設である。北棟は1階に7部屋、2階に8部屋の計15部屋あり、南棟は1階に6部屋、2階に6部屋の計12部屋がある。

北棟1階は主に運動関係の器具庫及び倉庫があり、2階は部室として使用している。

南棟は音楽演奏に向く防音の効いた室が1室、写真部用の暗室、学生が各種印刷に利用する印刷室などがある。また、荒牧祭実行委員会もこの課外活動共用施設を中心に活動している。

・昭和キャンパス

課外活動施設は体育館と繋がっており1階、2階、3階に各6部屋（計18室）あり、1階には音楽演奏に向く防音の効いた室が4室ある。主に文化系クラブ・サークルが利用している。

・桐生キャンパス

課外活動共用施設は、1階に9部屋、2階と3階に各6部屋の計21部屋あり、1階には音楽演奏に向く防音の効いた室が1室、写真部用の暗室、学生が各種印刷に利用する印刷室などがある。主に文化系クラブ・サークルの活動場所や運動部の器具庫及び倉庫として利用されている。

2.12.4 合宿所

・荒牧キャンパス

4部屋あり、大きさは談話室が12畳、1・2号室が計22畳、3号室が14畳、4号室が14畳である。

関東甲信越大学体育大会などの各種競技大会開催間近には、強化合宿で利用率が非常に高くなる。

なお、就寝用具などは学生の持ち込みとなっている。

・桐生キャンパス

4部屋あり、大きさは1号室が12畳、2号室が15畳、3・4号室が各6畳である。関東甲信越大学体育大会などの各種競技大会開催間近には、強化合宿で利用率が非常に高くなる。

なお、各部屋には就寝用具が備えられており、共用の調理場や浴室等も利用できる。

2.13 学生団体及び主な活動

学生団体及び主な活動は、次のとおりである。

2.13.1 学生団体

平成23年度のクラブ・サークルは、資料のとおりである。

本学の運動部の対外試合のある種目では、荒牧キャンパスと桐生キャンパスのクラブ等は、「4年制大学」の出場枠となり、昭和キャンパスは「6年制大学」の出場枠となるため、同じスポーツ名ではあっても「荒牧・桐生」と「昭和」は別団体、というクラブ・サークルが多い。

2.13.2 大学祭

学生の意識高揚と、広く群馬大学を学外に情報発信することなどを目的とし、大学祭を開催している。

- ・荒牧祭（荒牧キャンパス）は、平成23年11月12日（土）～13日（日）に開催した。
- ・医学祭（昭和キャンパス）は、平成23年11月5日（土）～6日（日）に開催した。
- ・工学祭（桐生キャンパス）は、平成23年10月14日（金）～16日（日）に開催した。
- ・太田キャンパスは、平成23年7月17日（日）に太田市祭りに併せて大学祭として出店し開催した。

なお、医学祭は隔年開催のため平成24年度は開催しない。また、桐生キャンパスの大学祭は、1年毎に群桐祭（小規模）→群桐祭（同）→工学祭（大規模）のサイクルで回っており、平成24年度、平成25年度は群桐祭、平成26年度は工学祭を開催する。

2.13.3 関東甲信越大学体育大会

関東甲信越大学体育大会は、学生スポーツの健全な発達及び普及を図り、併せて相互の親睦に資するため関東甲信越地区14大学（東京地区大学を除く。）が共同で開催している。

平成23年度は、東日本大震災の影響のため開催されなかった。

2.13.4 クラブ・サークルリーダーシップ研修会

クラブ・サークルリーダーシップ研修会は、クラブ・サークルの新旧リーダー等を対象に課外活動団体の健全な活動及び発展に寄与させることを目的として毎年行っている。

平成23年度は、

- ・「特別講演：上武大学駅伝部のあゆみ・目標達成のプロセス」

- ・「飲酒による急性アルコール中毒の弊害」
- ・「ドラッグ乱用防止の基礎知識」

を開催した。

2.14 研修施設

研修施設として北軽井沢研修所と草津セミナーハウスがある。その概要等は次のとおりである。

2.14.1 北軽井沢研修所

北軽井沢研修所は、教職員や学生等がセミナーなどで利用することを目的に昭和49年に設置された。

その場所は、群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢字南木山楢2032-242に所在し、敷地面積2,497㎡、研修施設及び田辺記念館で構成される。

開所期間は、毎年5月1日から10月15日までで、研修施設は居室3室、研修室1室、炊事施設(自炊)、風呂等を完備している。収容人数は15人である。利用に際しての施設運営費は、1人1日1,000円である。ただし、本学の教職員及び学生以外は施設使用料として1人1日40円が必要となる。

平成23年度北軽井沢研修所利用状況は、資料のとおりである。

2.14.2 草津セミナーハウス

この施設は、関東甲信越地区国立大学の共同利用合宿研修施設として、学生及び教職員が起居を共にし、相互に研鑽し人間関係を深め、対話や学習を重ねながら教養を高め、自然に親しみ、豊かな人間性を育成することを目的に昭和59年に設置された。所在地は群馬県吾妻郡草津町大字草津字白根737である。

上信越県境にそびえる草津白根山の中腹に広がる日本有数の温泉地、草津町にある。この施設は、敷地12,084㎡、建物延2,569㎡で120人を収容することが可能である。

四季を通して、セミナーや体育館を利用したのクラブ合宿の他、冬のスキー、春の新入生合宿、夏の登山及び秋の自然観察など、多彩な利用ができる。

草津セミナーハウス使用料金表(平成23年度)

| 区 分 | (1) 地区国立大学学生・教職員 | (2) (1) 以外の者 |
|-----------|-----------------------|-----------------|
| 運 営 費 | 1,400円(1,900円) | 1,800円(2,300円) |
| 施 設 使 用 料 | (2) の者のみが負担(毎年4月1日決定) | |
| 食 事 | 朝食 460円 | 昼食 500円 夕食 980円 |

(1) 地区国立大学とは関東甲信越地区国立大学をいう。

(2) () 内の数字は10月1日から4月30日までの運営費となる。

平成23年度利用者数

| 地区大学所属者 | 地区大学所属者以外 | 総 数 |
|---------|-----------|--------|
| 4,232人 | 2,618人 | 6,850人 |

2.15 学生の就職支援

荒牧キャンパスに全学生が利用可能な進路指導室としてキャリアサポート室を開設している。学生自身の適性や志向を見定め、明確な目的意識を持たせ社会や仕事、働くことの意味や意義を考え学ばせる実践的な就業体験や各種の就職ガイダンス・セミナーを開催し、多様化する就職活動に対する支援を行っている。

2.15.1 進路状況及び主な就職先

平成23年度の学生の進路状況等は、資料のとおりである。

2.15.2 全学就職ガイダンス・セミナーの開催

学生支援センター就職支援部会主催による就職対象学年及び低学年に向けた就職ガイダンスは、次のとおりである。

- 1) 一般企業向け就職ガイダンス・各種セミナー
(全33回, 参加延人数: 2,625人)
- 2) 公務員関係就職ガイダンス
(全7回, 参加延人数: 345人)
- 3) 1・2年生向けガイダンス
(全2回, 参加延人数: 85人)
- 4) インターンシップ関係説明会及び成果報告会
(全9回, 参加延人数: 1,050人)
- 5) 職務適性診断テスト等
(全6回, 参加延人数: 412人)

2.15.3 キャリアカウンセリングの充実

学生の就職相談体制の強化として、前橋地区に4名及び桐生地区に2名、太田地区に1名のキャリアカウンセラーを配置し、面接形式によるカウンセリングを実施した。

- 1) 利用件数: 462件
- 2) 主な相談・指導内容
 - ・就職活動への指導助言
 - ・職業適性・自己分析の指導助言
 - ・エントリーシートの添削指導助言
 - ・面接試験の指導助言
- 3) 就職内定学生による後輩学生への相談会を実施した。
 - ・相談実績: 11回

2.15.4 キャリアサポート室における情報収集環境の充実

- 1) 学生用に就職情報検索等のためのパソコン・プリンターを充実した。
- 2) 各種企業情報データの検索(求人件数: 1,207件)
- 3) 職業適性診断検査の利用(利用件数: 17件)
- 4) 就職関連書籍・ガイダンス開催ビデオの充実(貸出可)
- 5) キャリアサポート通信の発行(月1回)により学生への就職情報の提供を開始した。

2.15.5 就職支援の体制強化の充実

- 1) 国公立大学が参加する就職指導担当者研修会や全国就職指導ガイダンスにおいて意見交換を図るとともに企業の人事担当者等による専門的助言や情報の収集により就職支援体制を強化した。

2) 体験型インターンシップを推進すると共に各機関、企業、施設等において学生が実務経験を積むことができる環境を整備した。

- ・企業紹介説明会参加者：518人
- ・実習事前講座参加者：165人
- ・実習参加者：178人
- ・インターンシップ終了後の成果報告会参加者：367人

なお、実習期間中に職員による受け入れ先訪問を行いインターンシップ充実の支援体制を整えた。

2.15.6 就職活動のための実践的支援の充実

「模擬面接の指導」、「小論文の作成技術の訓練」、「エントリーシート及び履歴書の作成技術の訓練」及び「公務員試験受験のための試験対策セミナーの開催」をした。

2.15.7 就職支援BOOKの作成・配付

就職支援企業との連携により、就職支援BOOK「群大生のための就活ノウハウ集」を作成し、各学部の就職対象学生に配付した。

2.16 アルバイトの紹介体制の充実

学生生活を経済的に維持することが困難な学生に対し、荒牧地区はキャリアサポート室、昭和地区は昭和地区事務部学務課学事・学生支援係、桐生地区は工学部学生支援係においてアルバイト情報掲示板を設置し、学生にふさわしいアルバイト情報を紹介した。

2.16.1 主な紹介等件数

キャリアサポート室（荒牧地区）での主な紹介等件数は、次のとおりである。

- ・一般のアルバイト求人数：130件
- ・塾講師求人数：99件
- ・家庭教師求人数：56件
- ・アルバイト情報掲示利用学生数 延1,621人

2.17 学生生活実態調査

学生の生活実態や要望等を把握し、有効な学生支援の方策を検討するために、平成20年度に実施し、5年毎に実施することとした学生生活実態調査を実施した。

なお、内容を報告書にまとめ、講師以上の教員及び関係事務職員に配付し学生支援への活用を図った。

2.18 キャンパスニュース群の発行

「キャンパスニュース群」は、学生が編集に参画して作成し、学生向け広報誌として、年1回3月に6,500部発行している。

主な掲載内容は、サークル紹介、研究室紹介、就職関係、キャンパスライフ、キャンパスマップ、大学からのお知らせ等であり、毎年テーマを変更している。

2.19 学生支援センター資料集

資料 2-1：平成 23 年度入学料免除，徴収猶予実施状況

資料 2-2：平成 23 年度授業料免除，徴収猶予実施状況

資料 2-4：日本学生支援機構奨学生数（平成 23 年 10 月 1 日現在）

資料 2-6-1：平成 23 年度学部 1～3 年次生欠席状況調査一覧（前期）

資料 2-6-2：平成 23 年度学部 1～3 年次生欠席状況調査一覧（後期）

資料 2-8-1：平成 23 年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数

資料 2-8-2：平成 23 年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別
保険金請求件数

資料 2-9-1：平成 23 年度通学証明書発行枚数

資料 2-9-2：平成 23 年度学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由

資料 2-13：平成 23 年度クラブ・サークル一覧

資料 2-14：平成 23 年度北軽井沢研修所利用状況

資料 2-15-1：平成 23 年度学部卒業生の進路状況

資料 2-15-2：平成 23 年度学部卒業生の主な就職先

2.19 学生支援センター資料集

平成23年度入学者免除実施状況

平成23年度入学者徴収猶予実施状況

| | 免除申請者数 (人) | | 免除許可者数 (人) | |
|----------------------|------------|-------|------------|-------|
| | 4月入学 | 10月入学 | 4月入学 | 10月入学 |
| 教育学部 | 4 | 0 | 4 | 0 |
| 社会情報学部 | 2 | 0 | 2 | 0 |
| 医学部 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 保健学科 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 工学部 | 4 | 0 | 4 | 0 |
| 学部の計 | 10 | 0 | 10 | 0 |
| 工学部(夜間主) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 教育学研究科 (修士課程) | 11 | 0 | 11 | 0 |
| 教育学研究科 (専門職学位課程) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 社会情報学研究科 | 8 | 0 | 8 | 0 |
| 医学系研究科 (生命医科学専攻) | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 医学系研究科 (保健学専攻・前期) | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 工学研究科 (博士前期課程) | 73 | 0 | 73 | 0 |
| 大学院修士課程の計 | 94 | 0 | 94 | 0 |
| 医学系研究科 (医科学専攻) | 5 | 0 | 5 | 0 |
| 医学系研究科 (保健学専攻・後期) | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 工学研究科 (博士後期課程) | 2 | 0 | 2 | 0 |
| 大学院博士課程の計 | 8 | 0 | 8 | 0 |
| 特殊教育特別専攻科 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 112 | 0 | 112 | 0 |

| | 猶予申請者数 (人) | | 猶予許可者数 (人) | |
|----------------------|------------|-------|------------|-------|
| | 4月入学 | 10月入学 | 4月入学 | 10月入学 |
| 教育学部 | 6 | 0 | 5 | 0 |
| 社会情報学部 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| 医学部 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 保健学科 | 6 | 0 | 6 | 0 |
| 工学部 | 10 | 0 | 10 | 0 |
| 学部の計 | 25 | 0 | 23 | 0 |
| 工学部(夜間主) | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 教育学研究科 (修士課程) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 教育学研究科 (専門職学位課程) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 社会情報学研究科 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 医学系研究科 (生命医科学専攻) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 医学系研究科 (保健学専攻・前期) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 工学研究科 (博士前期課程) | 7 | 2 | 5 | 2 |
| 大学院修士課程の計 | 7 | 2 | 5 | 2 |
| 医学系研究科 (医科学専攻) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 医学系研究科 (保健学専攻・後期) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 工学研究科 (博士後期課程) | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 大学院博士課程の計 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 特殊教育特別専攻科 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 33 | 4 | 28 | 4 |

平成23年度授業料免除実施状況

| | 免除申請者数(人) | | | 免除許可者数(人) | | | 合計(延べ人数) |
|----------------------|-----------|-----|----------------------|------------|------------|------------|----------|
| | 前期 | 後期 | 判定 | 前期 | 後期 | 合計(延べ人数) | |
| 教育学部 | 124 | 110 | 全額免除 234 半額免除 | 44 70 | 41 64 | 85 134 | |
| 社会情報学部 | 59 | 51 | 全額免除 110 半額免除 | 28 23 | 15 34 | 43 57 | |
| 医学部 | 41 | 41 | 全額免除 82 半額免除 | 15 18 | 12 24 | 27 42 | |
| 保健学科 | 111 | 105 | 全額免除 216 半額免除 | 40 55 | 34 61 | 74 116 | |
| 工学部 | 234 | 221 | 全額免除 455 半額免除 | 70 128 | 67 137 | 137 265 | |
| 学部の計 | 569 | 528 | 全額免除 1097 半額免除 | 197 294 | 169 320 | 366 614 | |
| 工学部(夜間主) | 6 | 5 | 全額免除 11 半額免除 | 2 3 | 0 5 | 2 8 | |
| 教育学研究科 (修士課程) | 16 | 9 | 全額免除 25 半額免除 | 2 7 | 2 6 | 4 13 | |
| 教育学研究科 (専門職学位課程) | 2 | 2 | 全額免除 4 半額免除 | 0 2 | 0 2 | 0 4 | |
| 社会情報学研究科 | 14 | 13 | 全額免除 27 半額免除 | 4 10 | 3 10 | 7 20 | |
| 医学系研究科 (生命医科学専攻) | 4 | 4 | 全額免除 8 半額免除 | 1 2 | 0 3 | 1 5 | |
| 医学系研究科 (保健学専攻・前期) | 10 | 7 | 全額免除 17 半額免除 | 1 7 | 2 5 | 3 12 | |
| 工学研究科 (博士前期課程) | 163 | 153 | 全額免除 316 半額免除 | 52 97 | 38 110 | 90 207 | |
| 大学院修士課程の計 | 209 | 188 | 全額免除 397 半額免除 | 60 125 | 45 136 | 105 261 | |
| 医学系研究科 (医科学専攻) | 23 | 21 | 全額免除 44 半額免除 | 20 3 | 20 1 | 40 4 | |
| 医学系研究科 (保健学専攻・後期) | 4 | 4 | 全額免除 8 半額免除 | 3 1 | 3 1 | 6 2 | |
| 工学研究科 (博士後期課程) | 27 | 27 | 全額免除 54 半額免除 | 20 5 | 22 4 | 42 9 | |
| 大学院博士課程の計 | 54 | 52 | 全額免除 106 半額免除 | 43 9 | 45 6 | 88 15 | |
| 特殊教育特別専攻科 | 0 | 0 | 全額免除 0 半額免除 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 合計 | 838 | 773 | 全額免除 1611 半額免除 | 302 431 | 259 467 | 561 898 | |

平成23年度授業料徴収猶予実施状況

| | 猶予申請者数(人) | | | 猶予許可者数(人) | | | 合計(延べ人数) |
|----------------------|-----------|----|-------------------|-----------|--------|----------|----------|
| | 前期 | 後期 | 判定 | 前期 | 後期 | 合計(延べ人数) | |
| 教育学部 | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 社会情報学部 | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 医学部 | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 保健学科 | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 工学部 | 2 | 0 | 全額猶予 2 半額猶予 | 2 0 | 0 0 | 2 0 | |
| 学部の計 | 2 | 0 | 全額猶予 2 半額猶予 | 2 0 | 0 0 | 2 0 | |
| 工学部(夜間主) | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 教育学研究科 (修士課程) | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 教育学研究科 (専門職学位課程) | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 社会情報学研究科 | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 医学系研究科 (生命医科学専攻) | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 医学系研究科 (保健学専攻・前期) | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 工学研究科 (博士前期課程) | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 大学院修士課程の計 | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 医学系研究科 (医科学専攻) | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 医学系研究科 (保健学専攻・後期) | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 工学研究科 (博士後期課程) | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 大学院博士課程の計 | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 特殊教育特別専攻科 | 0 | 0 | 全額猶予 0 半額猶予 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | |
| 合計 | 2 | 0 | 全額猶予 2 半額猶予 | 2 0 | 0 0 | 2 0 | |

日本学生支援機構奨学生数

平成23年10月1日現在（人）

| 学部・研究科 | 区分 | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | 5年次 | | 6年次 | | 計 | | |
|--------|-------------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|-----|-------|-------|-----|
| | | | 一種 | 二種 | 一種 | 二種 | 一種 | 二種 | 一種 | 二種 | 一種 | 二種 | 一種 | 二種 | 一種 | 二種 | 計 |
| | | | 学部 | 教育学部 | 30 | 45 | 40 | 44 | 34 | 35 | 39 | 51 | | | | | 143 |
| | 社会学部 | 19 | 31 | 15 | 25 | 19 | 40 | 19 | 29 | | | | | 72 | 125 | 197 | |
| | 医学部 | 14 | 7 | 16 | 16 | 15 | 24 | 14 | 27 | 13 | 15 | 12 | 15 | 84 | 104 | 188 | |
| | 保健学科 | 25 | 48 | 31 | 39 | 49 | 50 | 34 | 34 | | | | | 139 | 171 | 310 | |
| | 工学部 | 76 | 172 | 111 | 161 | 87 | 161 | 83 | 143 | | | | | 357 | 637 | 994 | |
| | | 3 | 9 | 4 | 8 | 3 | 8 | 4 | 7 | | | | | 14 | 32 | 46 | |
| | 学部計 | 167 | 312 | 217 | 293 | 207 | 318 | 193 | 291 | 13 | 15 | 12 | 15 | 809 | 1,244 | 2,053 | |
| 専攻科 | 特別支援教育特別専攻科 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | |
| | 教育学研究科 | 5 | 1 | 5 | 5 | | | | | | | | | 10 | 6 | 16 | |
| | 社会学研究科 | 0 | 0 | 1 | 0 | | | | | | | | | 1 | 0 | 1 | |
| | 医学系研究科 | 3 | 1 | 1 | 0 | | | | | | | | | 4 | 1 | 5 | |
| | 博士課程 | 1 | 0 | 3 | 0 | | | | | | | | | 4 | 0 | 4 | |
| | 博士前期課程 | 3 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | | | | | 8 | 1 | 9 | |
| | 博士後期課程 | 6 | 2 | 2 | 4 | | | | | | | | | 8 | 6 | 14 | |
| | 工学研究科 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | | | | | | | 4 | 1 | 5 | |
| | | 100 | 46 | 111 | 53 | | | | | | | | | 211 | 99 | 310 | |
| | | 5 | 0 | 4 | 0 | 5 | 0 | | | | | | | 14 | 0 | 14 | |
| | 大学院計 | 125 | 50 | 131 | 64 | 6 | 0 | 2 | 0 | | | | | 264 | 114 | 378 | |

※ 1人の学生が一種と二種を併用賞与されている場合もあるので、延べ人数である。

総計 2,431

平成23年度 学部1～3年次生欠席状況調査一覧（前期）

| | 教育学部 | 社会情報学部 | 医学部 | 工学部 | | | 合計 |
|-------------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|------------|
| | | | | 昼 | 夜 | 計 | |
| 1年生 対象者数 | 名 234 | 名 106 | 名 276 | 名 522 | 名 34 | 名 556 | 名 1,172 |
| 欠席者数 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| | 0.0% | 0.9% | 0.0% | 0.2% | 0.0% | 0.2% | 0.2% |
| 2年生 対象者数 | 223 | 102 | 292 | 559 | 33 | 592 | 1,209 |
| 欠席者数 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 0.9% | 0.0% | 0.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.2% |
| 3年生 対象者数 | 225 | 133 | 299 | 625 | 36 | 661 | 1,318 |
| 欠席者数 | 2 | 0 | 1 | 11 | 1 | 12 | 15 |
| | 0.9% | 0.0% | 0.3% | 1.8% | 2.8% | 1.8% | 1.1% |
| 合計 対象者数 | 682 | 341 | 867 | 1,706 | 103 | 1,809 | 3,699 |
| 欠席者数 | 4 | 1 | 2 | 12 | 1 | 13 | 20 |
| | 0.6% | 0.3% | 0.2% | 0.7% | 1.0% | 0.7% | 0.5% |

※ 学生数は、平成23年5月1日現在

※ 休学者数は現員の内数

※ 欠席者数下段は、欠席率

平成23年度 学部1～3年次生欠席状況調査一覧（後期）

| | 教育学部 | 社会情報学部 | 医学部 | 工学部 | | | 合計 |
|-------------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|------------|
| | | | | 昼 | 夜 | 計 | |
| 1年生 対象者数 | 名 232 | 名 105 | 名 276 | 名 522 | 名 34 | 名 556 | 名 1,169 |
| 欠席者数 | 2 | 2 | 12 | 8 | 0 | 8 | 24 |
| | 0.9% | 1.9% | 4.3% | 1.5% | 0.0% | 1.4% | 2.1% |
| 2年生 対象者数 | 223 | 102 | 292 | 559 | 33 | 592 | 1,209 |
| 欠席者数 | 1 | 0 | 2 | 10 | 1 | 11 | 14 |
| | 0.4% | 0.0% | 0.7% | 1.8% | 3.0% | 1.9% | 1.2% |
| 3年生 対象者数 | 225 | 132 | 297 | 623 | 34 | 657 | 1,311 |
| 欠席者数 | 0 | 0 | 3 | 8 | 0 | 8 | 11 |
| | 0.0% | 0.0% | 1.0% | 1.3% | 0.0% | 1.2% | 0.8% |
| 合計 対象者数 | 680 | 339 | 865 | 1,704 | 101 | 1,805 | 3,689 |
| 欠席者数 | 3 | 2 | 17 | 26 | 1 | 27 | 49 |
| | 0.4% | 0.6% | 2.0% | 1.5% | 1.0% | 1.5% | 1.3% |

※ 学生数は、平成23年11月1日現在

※ 休学者数は現員の内数

※ 欠席者数下段は、欠席率

平成23年度 学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数

(平成24年3月31日現在)

| 学部 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|----|----|-------|
| 教育学部 | | 230 | 223 | 225 | 204 | | | 882 |
| 社会情報学部 | | 90 | 90 | 112 | 121 | | | 413 |
| 医学部 | 医学科 | 106 | 110 | 106 | 96 | 95 | 16 | 529 |
| | 保健学科 | 150 | 148 | 156 | 177 | | | 631 |
| | 計 | 256 | 258 | 262 | 273 | 95 | 16 | 1,160 |
| 工学部 | 昼間コース | 484 | 487 | 504 | 551 | | | 2,026 |
| | 夜間主コース | 26 | 28 | 30 | 29 | | | 113 |
| | 計 | 510 | 515 | 534 | 580 | | | 2,139 |
| 合 計 | | 1,086 | 1,086 | 1,133 | 1,178 | 95 | 16 | 4,594 |

(平成24年3月31日現在)

大学院・専攻科

(人)

| 研究科 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 |
|-------------|--------|-----|-----|----|----|-------|
| 教育学研究科 | | 38 | 37 | | | 75 |
| 社会情報学研究科 | | 9 | 5 | | | 14 |
| 医学研究科 | 修士課程 | 3 | 14 | | | 17 |
| | 博士前期課程 | 32 | 52 | | | 84 |
| | 博士後期課程 | 8 | 9 | 16 | | 33 |
| | 博士課程 | 33 | 40 | 28 | 44 | 145 |
| | 計 | 76 | 115 | 44 | 44 | 279 |
| 工学研究科 | 博士前期課程 | 259 | 317 | | | 576 |
| | 博士後期課程 | 15 | 15 | 36 | | 66 |
| | 計 | 274 | 332 | 36 | | 642 |
| 特別支援教育特別専攻科 | | 10 | | | | 10 |
| 合 計 | | 407 | 489 | 80 | 44 | 1,020 |

平成23年度 学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数

(件)

| | 学生教育研究災害傷害保険 | | | | | | 学研災付帯賠償責任保険 | 総計 |
|------|--------------|-------|-----|-------|-----|----|-------------|----|
| | 正課中 | 学校行事中 | 通学中 | 課外活動中 | その他 | 合計 | | |
| 荒牧地区 | 5 | 0 | 1 | 3 | 1 | 10 | 0 | 10 |
| 昭和地区 | 1 | 0 | 2 | 8 | 0 | 11 | 0 | 11 |
| 桐生地区 | 6 | 0 | 3 | 3 | 2 | 14 | 0 | 14 |
| 太田地区 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 合計 | 12 | 0 | 7 | 14 | 3 | 36 | 0 | 36 |

資料2-9-1

平成23年度 通学証明書発行枚数

(枚)

| 荒牧地区 | | 昭和地区 | | 桐生地区 | | 太田地区 | | 合計 |
|------|-----|------|----|------|----|------|----|-------|
| 電車 | バス | 電車 | バス | 電車 | バス | 電車 | バス | |
| 486 | 371 | 121 | 60 | 295 | 0 | 46 | 0 | 1,379 |

資料2-9-2

平成23年度 学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由

(枚)

| | 正課 | 帰省 | 就職 | 課外活動 | 見学 | 旅行 | 傷病・治療 | 計 |
|------|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-------|--------|
| 荒牧地区 | 18 | 870 | 746 | 875 | 252 | 79 | 1 | 2,841 |
| 昭和地区 | 100 | 2,512 | 340 | 1,685 | 207 | 193 | 11 | 5,048 |
| 桐生地区 | 109 | 1,730 | 1,154 | 653 | 155 | 146 | 2 | 3,949 |
| 太田地区 | 0 | 43 | 12 | 7 | 0 | 0 | 1 | 63 |
| 合計 | 227 | 5,155 | 2,252 | 3,220 | 614 | 418 | 15 | 11,901 |

平成23年度 クラブ・サークル一覧

| 整理 番号 | クラブ・サークル名 | 主な活動(所属)地区 | | | | 区分 |
|----------|---------------------------------------|------------|----|----|----|-----|
| | | 荒牧 | 昭和 | 桐生 | 太田 | |
| 1 | 荒牧ジャズ研究会 | ○ | | | | 文化部 |
| 2 | 囲碁・将棋部 | | ○ | | | 文化部 |
| 3 | 泉の会(障害児ボランティアサークル) | ○ | | | | 文化部 |
| 4 | 映画研究会 | | ○ | | | 文化部 |
| 5 | SRC(学生赤十字奉仕団) | ○ | ○ | ○ | ○ | 文化部 |
| 6 | E∞gg[えっぐ](医療系自主ゼミサークル) | | ○ | | | 文化部 |
| 7 | MMR(徒手療法研究会) | | ○ | | | 文化部 |
| 8 | エレクトーン部 | | ○ | | | 文化部 |
| 9 | 演劇部テアトル・ヒューメ | ○ | | | | 文化部 |
| 10 | 音楽研究会 | | | ○ | | 文化部 |
| 11 | 合唱サークル Pico | | ○ | | | 文化部 |
| 12 | 気象天文研究部 | ○ | ○ | ○ | | 文化部 |
| 13 | 教育サークル・青竹 | ○ | | | | 文化部 |
| 14 | Guit's(アコースティックギターサークル) | | ○ | | | 文化部 |
| 15 | クラシックギター部 | ○ | | | | 文化部 |
| 16 | グリークラブ(合唱サークル) | ○ | | ○ | | 文化部 |
| 17 | 群馬大学学生有志による義援金募金団体 | ○ | | | | 文化部 |
| 18 | 軽音楽部 | | ○ | | | 文化部 |
| 19 | 現代視覚サークル(漫画・アニメ・ラノベ) | | | | ○ | 文化部 |
| 20 | 国際交流サークルBeyond | ○ | | | | 文化部 |
| 21 | 国際医療ボランティアの会(FORS) | | ○ | | | 文化部 |
| 22 | 群馬大学混声合唱団 | ○ | | | | 文化部 |
| 23 | 茶道部 | ○ | | | | 文化部 |
| 24 | 情報保障サークル てふてふ(学生とタイカー交流) | ○ | | | | 文化部 |
| 25 | 写真部(荒牧) | ○ | | | | 文化部 |
| 26 | 写真部(昭和) | | ○ | | | 文化部 |
| 27 | 写真部(桐生) | | | ○ | | 文化部 |
| 28 | 手話さーくる でんでんむし | ○ | | | | 文化部 |
| 29 | 書道部 | ○ | | | | 文化部 |
| 30 | GA研究会(ゲーム・アニメ) | ○ | | | | 文化部 |
| 31 | G. K. オールスターズ(ビッグバンドジャズ) | | | ○ | | 文化部 |
| 32 | 群馬大学吹奏楽団 | ○ | | | | 文化部 |
| 33 | 聖書研究会 | ○ | ○ | ○ | | 文化部 |
| 34 | チームベル(環境ボランティアサークル) | ○ | | | | 文化部 |
| 35 | 東洋医学研究会 | | ○ | | | 文化部 |
| 36 | AAA☆KIDS(トリプルエーキッズ) | | ○ | | | 文化部 |
| 37 | 美術愛好会 | | ○ | | | 文化部 |
| 38 | ビリヤード部 | | ○ | | | 文化部 |
| 39 | ピアノ部 | | ○ | | | 文化部 |
| 40 | ファンタスティック(手芸部) | ○ | | | | 文化部 |
| 41 | フィルハーモニックオーケストラ部 | ○ | | ○ | | 文化部 |
| 42 | フォーク・ロック愛好会 | ○ | | ○ | | 文化部 |
| 43 | Fore-Bridge Orchestra(FBO)(ビッグバンドジャズ) | | ○ | | | 文化部 |
| 44 | FLOW Orchestra & Chorus | ○ | ○ | | | 文化部 |
| 45 | Voice Cream(アカペラサークル) | ○ | ○ | ○ | | 文化部 |
| 46 | ボランティアサークル群大アドバンス | ○ | | | | 文化部 |

平成23年度 クラブ・サークル一覧

| 整理番号 | クラブ・サークル名 | 主な活動(所属)地区 | | | | 区分 |
|------|-------------------------------|------------|----|----|----|-----|
| | | 荒牧 | 昭和 | 桐生 | 太田 | |
| 47 | 漫画研究部 | ○ | | ○ | | 文化部 |
| 48 | マンドリン・ソサエティ | ○ | ○ | | | 文化部 |
| 49 | メサイア管弦楽団・合唱団 | ○ | | | | 文化部 |
| 50 | MESS(英語サークル) | | ○ | | | 文化部 |
| 51 | モダンジャズ研究会(医学部) | | ○ | | | 文化部 |
| 52 | モダンジャズ研究会(工学部) | | | ○ | | 文化部 |
| 53 | 野外教育研究会(アウトドア系教育サークル) | ○ | | | | 文化部 |
| 54 | 八木節同好会 | | | ○ | | 文化部 |
| 55 | 野草を食べる会 | | ○ | | | 文化部 |
| 56 | 夢のわたらせ なないろ号(ボランティア企画団体) | | ○ | | | 文化部 |
| 57 | Life(旅行サークル) | ○ | ○ | ○ | | 文化部 |
| 58 | 落語・コント研究会 | ○ | | ○ | | 文化部 |
| 59 | LAMP(イベント企画団体) | ○ | | | | 文化部 |
| 60 | LEADS(小児糖尿病サマーキャンプボランティアサークル) | | ○ | | | 文化部 |
| 61 | ロボット部 | | | ○ | | 文化部 |
| 62 | YMCAクラブ | ○ | ○ | ○ | | 文化部 |
| 63 | R. F. C (スノーボード) | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 64 | 合気道部 | ○ | ○ | ○ | | 運動部 |
| 65 | アメリカンフットボール部 | ○ | | | | 運動部 |
| 66 | エスケープ(硬式テニス) | ○ | | | | 運動部 |
| 67 | Et's(バスケットボール) | | ○ | | | 運動部 |
| 68 | 空手道部 | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 69 | 環境プロセススポーツ愛好会 | | | ○ | | 運動部 |
| 70 | 弓道部 | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 71 | 弓道部(医学科) | | ○ | | | 運動部 |
| 72 | 弓道部(保健学科) | | ○ | | | 運動部 |
| 73 | 球遊会(バレーボール) | | ○ | | | 運動部 |
| 74 | クライミング部 | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 75 | 群馬CRAFT(サッカー・フットサル) | ○ | | | | 運動部 |
| 76 | 剣道部 | ○ | ○ | ○ | | 運動部 |
| 77 | 剣道部(医学部) | ○ | ○ | | | 運動部 |
| 78 | Get's(サッカーサークル) | | ○ | ○ | | 運動部 |
| 79 | 硬式テニス部(全学) | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 80 | 硬式テニス部(医学部) | | ○ | | | 運動部 |
| 81 | 硬式野球部 | ○ | | | | 運動部 |
| 82 | ゴルフ部(医学部) | | ○ | | | 運動部 |
| 83 | サイクリング部 | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 84 | サッカー部(全学) | ○ | | | | 運動部 |
| 85 | サッカー部(医学部) | | ○ | | | 運動部 |
| 86 | サバゲーサークル | | | ○ | | 運動部 |
| 87 | 少林寺拳法部 | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 88 | G☆バンビーズ(旧:夜間バスケ) | | | ○ | | 運動部 |
| 89 | 自動車部 | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 90 | 柔道部(荒牧) | ○ | ○ | | | 運動部 |
| 91 | 柔道部(工学) | | | ○ | | 運動部 |
| 92 | 準硬式野球部 | ○ | | | | 運動部 |

平成23年度 クラブ・サークル一覧

| 整理番号 | クラブ・サークル名 | 主な活動(所属)地区 | | | | 区分 |
|------|--------------------------|------------|----|----|----|-----|
| | | 荒牧 | 昭和 | 桐生 | 太田 | |
| 93 | 準硬式野球部(医学部) | | ○ | | | 運動部 |
| 94 | 杖道部 | | ○ | | | 運動部 |
| 95 | 水泳部 | ○ | ○ | ○ | | 運動部 |
| 96 | スキー部(全学) | ○ | ○ | ○ | | 運動部 |
| 97 | スキー部(医学部) | | ○ | | | 運動部 |
| 98 | Seven Stars (フットサル) | ○ | | | | 運動部 |
| 99 | ソフトテニスサークルRough | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 100 | ソフトテニス部(全学) | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 101 | ソフトテニス部(医学部) | | ○ | | | 運動部 |
| 102 | 体操部 | ○ | ○ | ○ | | 運動部 |
| 103 | 卓球部(全学) | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 104 | 卓球部(医学部) | | ○ | | | 運動部 |
| 105 | ダブルタッチサークル Vit'z | | ○ | | | 運動部 |
| 106 | ダンス部 | ○ | | | | 運動部 |
| 107 | TSUBASA FC コーチングスタッフ | ○ | | | | 運動部 |
| 108 | 軟式野球サークル A will | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 109 | ハンドボール部 | ○ | | | | 運動部 |
| 110 | バイク部 | | | ○ | | 運動部 |
| 111 | 馬術部 | ○ | ○ | | | 運動部 |
| 112 | バスケットボール部 | ○ | | | | 運動部 |
| 113 | バスケットボール部(医学部) | | ○ | | | 運動部 |
| 114 | バスケットボール部(工学部) | | | ○ | | 運動部 |
| 115 | バドミントンサークルVash | | ○ | | | 運動部 |
| 116 | バドミントン部(全学) | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 117 | バドミントン部(医学部) | | ○ | | | 運動部 |
| 118 | バレーボール部(全学) | ○ | | | | 運動部 |
| 119 | バレーボール部(医学部) | | ○ | | | 運動部 |
| 120 | B-STYLE(ストリートダンス) | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 121 | FAST(フットサル) | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 122 | FAST BREAK(バスケットボールサークル) | ○ | | | | 運動部 |
| 123 | フットサルサークル | | ○ | | | 運動部 |
| 124 | フリースタイルバスケ・フットボールサークル | ○ | ○ | ○ | | 運動部 |
| 125 | VBC桐生(バレーボール) | | | ○ | | 運動部 |
| 126 | 保健バレーボール部 | | ○ | | | 運動部 |
| 127 | borderless(各種球技) | ○ | | | | 運動部 |
| 128 | メモリアルテニス部 | ○ | | | | 運動部 |
| 129 | ラグビー部(全学) | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 130 | ラグビー部(医学部) | | ○ | | | 運動部 |
| 131 | 陸上競技部 | ○ | | ○ | | 運動部 |
| 132 | 陸上競技部(医学部) | ○ | | | | 運動部 |
| 133 | レスリング部 | ○ | | | | 運動部 |
| 134 | Let's Met's | | ○ | | | 運動部 |
| 135 | ONE WAY(バレーサークル) | ○ | | | | 運動部 |
| 136 | ワンダーフォーゲル部 | ○ | | | | 運動部 |

平成23年度 北軽井沢研修所利用状況

(人)

| 使用月 | 群馬大学 | | | その他の大学 | | | 一般 | 利用者計 | 利用者 延べ人数 |
|-----|------|----|-----|--------|----|----|----|------|-------------|
| | 教員 | 職員 | 学生 | 教員 | 職員 | 学生 | | | |
| 5月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 8 | 0 | 39 | 0 | 0 | 0 | 10 | 38 | 57 |
| 8月 | 5 | 2 | 24 | 0 | 0 | 4 | 22 | 29 | 57 |
| 9月 | 16 | 1 | 137 | 0 | 0 | 0 | 4 | 74 | 158 |
| 10月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 29 | 3 | 200 | 0 | 0 | 4 | 36 | 141 | 272 |

平成23年度 学部卒業生の進路状況(9月卒業を含む)

H23卒 平成24年5月1日現在

| 学部 区分 | 卒業年度 | 卒業生数 (A) | 進学者数 | | | | 就職者数 | | | | | | | | 就職活動中 (D) | その他 (E) $E=C/(A+B+D) \times 100$ | | | | | | | |
|----------|--------|-------------|---------|--------|------|---------------|----------|-------|------|----|----|------|-----|-----|--------------|--|-------------|----------|-----|-----|----|------|-------|
| | | | 大学院・専攻科 | 他大学学部等 | 研究生等 | 各種専修学校等 留学 | 計 (B) | 業種別内訳 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 教員 | 医療機関 | | | 一般企業 | 公務員 | 自営業 | | | 左欄以外 の人等 | 計 (C) | | | | | |
| 教育学部 | H23 | 219 | 23 | 0 | 0 | 1 | 0 | | 24 | 4 | 60 | | | | 46 | 18 | | | 12 | 0 | 1 | 14 | 17 |
| 社会情報学部 | H23 | 116 | 6 | 0 | 0 | 1 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 64 | 16 | 0 | 9 | 92 | 13 | 4 | 87.6 |
| 医学部 | 医学科 | 103 | 4 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 87 | 0 | 0 | 0 | 0 | 87 | 0 | 11 | 100.0 |
| | 保健学科 | 177 | 28 | 0 | 0 | 0 | 28 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 129 | 6 | 7 | 1 | 0 | 143 | 0 | 6 | 100.0 |
| 工学部 | 昼間コース | 540 | 345 | 1 | 1 | 4 | 351 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 134 | 20 | 1 | 1 | 156 | 16 | 17 | 90.7 |
| | 夜間主コース | 34 | 4 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 2 | 1 | 0 | 23 | 3 | 3 | 88.5 |
| 計 | | 1,189 | 410 | 1 | 1 | 6 | 420 | 4 | 60 | 46 | 18 | 12 | 0 | 220 | 238 | 62 | 4 | 13 | 677 | 37 | 55 | 94.8 | |

① その他(D)欄は、留学生の帰国、各種試験準備者、家事従事、不明である。

平成23年度 学部卒業生の主な就職先

【教育学部】

■学校教育

〈公立小学校〉

安中市 宇都宮市 太田市 大泉町 上里町 川崎市 草津町 伊勢崎市 桐生市 佐野市
 渋川市 榛東村 高崎市 館林市 玉村町 富岡市 中之条町 長野市 行方市 東吾妻町
 深谷市 藤枝市 藤岡市 前橋市 吉岡町 和光市 蕨市

〈公立中学校〉

上尾市 安中市 伊勢崎市 魚津市 邑楽町 太田市 加須市 甘楽町 埼玉県 さいたま市 渋川市 高崎市 館林市
 玉村町 千代田町 栃木県 富岡市 新潟市 沼田市 日野市 前橋市 みどり市 明和町 竜ヶ崎町

〈公立特別支援学校〉

埼玉県 群馬県 千葉県 前橋市 和光市

〈公立高等学校〉

青森県 群馬県 埼玉県 栃木県 長野県
 桐生市 前橋市

〈私立学校法人〉

学校法人 関東学園 学校法人 群馬育英学園 学校法人 群馬常磐学園

■幼児教育

〈公立幼稚園〉

渋川市 高崎市 前橋市

〈私立幼稚園〉

学校法人 清心学園

■公務

| | | |
|------------|-------|---------|
| 群馬県(学校事務) | 群馬県警察 | 安中市役所 |
| 佐久市役所 | 高崎市役所 | 藤岡市役所 |
| 下妻市役所 | 前橋市役所 | 前橋市消防局 |
| 本庄市役所 | 吉岡町役場 | 東部教育事務所 |
| 榛東村(幼稚園事務) | | |

■医療業

群馬中央医療生活協同組合

■その他法人等

社会福祉法人 つくし園 特定非営利活動法人 地球緑化センター 社会福祉法人 長野市社会福祉協議会
 国立大学法人群馬大学

■企業

| | | |
|-------------|--------------|-----------------|
| (株)総合PR | 大和リビング(株) | 高崎信用金庫 |
| (株)ベルク | (株)ベイシア | ベルジ(株)有料老人ホーム |
| 群馬県信用組合 | 群馬ダイヤモンドペガサス | (株)ワンダーコーポレーション |
| (株)アエラスグループ | (株)リネックス・サンシ | (株)4C 芸能プロダクション |

【社会情報学部】

■国家公務

全国市長会

■地方公務

| | | |
|-----------|-------|---------|
| 群馬県 | 警視庁 | |
| 前橋市役所 | 渋川市役所 | 伊勢崎市役所 |
| 沼田市役所 | 玉村町役場 | みなかみ町役場 |
| 新庄市役所 | 知立市役所 | |
| 高崎市等広域消防局 | | |

■医療業

| | | |
|--------------------|----------|--------------|
| 財団法人脳血管研究所付属美原記念病院 | 群馬大学付属病院 | 群馬中央医療生活協同組合 |
|--------------------|----------|--------------|

■その他法人等

| | | |
|------------------------------|----------|-------------------|
| 財団法人桐生地域地場産業振興センター-特定非営利活動法人 | NPO白神ネット | 社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会 |
|------------------------------|----------|-------------------|

■企業

| | | |
|-----------------------|------------------|------------------|
| 日本赤十字社(埼玉県) | 日本赤十字社(群馬県) | 前橋市農業協同組合 |
| 佐波伊勢崎農業協同組合 | 北群渋川農業協同組合 | (株)サンロフト |
| 東海加工紙(株) | 桐生信用金庫 | (株)島根銀行 |
| ユニバーサルホーム(株) | カネコ種苗(株) | (株)オウケイウェイヴ |
| (株)コンピューターネットワーク | (株)TKP | 東京海上日動火災保険(株) |
| 関東国分(株) | (株)イーエムネット | (株)オリエントコーポレーション |
| 高崎信用金庫 | クスリノマルエ | (株)ビーブレイクシステムズ |
| 松本信用金庫 | (株)若草印刷 | 豊長自動車販売(株) |
| マルキンアド(株) | (株)ティー・ヴィ・ボックス | ケイアイスター不動産(株) |
| 東日本旅客鉄道(株) | 藍澤証券 | NHK前橋放送局 |
| 富士機械(株) | 中央労働金庫 | 旭化成(株) |
| (株)シマ商会 | エス・ビー・エス(株) | (株)セコム |
| (株)ALL Japan Solution | (株)ワールドストアパートナーズ | (株)マルイチ産商 |
| (株)栃木銀行 | (株)山善 | (株)アイジェーエー |
| ゆうちょ銀行 | 市場和政法律事務所 | リコージャパン(株) |
| マクロ(株) | 足利ガス(株) | (株)新井商運 |
| 日精(株) | アイオー信金 | 住友不動産建物サービス(株) |
| (株)照栄美術 | 小松ウォール工業(株) | (株)アロー |
| (株)ミツエーリンクス | 自然耕房(株) | しのめ信用金庫 |
| 柏崎信用金庫 | (株)クライム | (株)NTSロジ |
| オリヒロモアゼリア(株) | (株)ベイシア | (株)ビジネスコンサルタント |

【医学部 医学科】

■医療業

| | | |
|------------------------|--------------------|--------------------|
| JR東京総合病院 | 相澤病院 | 伊勢崎市民病院 |
| 一般社団法人東京警察病院 | 東京大学医学部付属病院 | 茨城県立中央病院 |
| 医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 | 医療法人社団日高会 日高病院 | 青梅市立総合病院 |
| 太田病院 | 香川大学付属病院 | 群馬大学医学部付属病院 |
| 群馬中央総合病院 | 慶應義塾大学病院 | 公立昭和病院 |
| 公立富岡総合病院 | 公立藤岡総合病院 | 国立病院機構 東京医療センター |
| 国立病院機構 横浜医療センター | 済生会横浜市東部病院 | 埼玉共同病院 |
| さいたま赤十字病院 | 財団法人老年病研究所付属病院 | 自治医科大学附属さいたま医療センター |
| 自治医科大学附属病院 | 順天堂大学医学部付属病院 | 順天堂大学附属順天堂医院お茶の水本院 |
| 聖路加国際病院 | 高崎総合医療センター | 千葉大学附属病院 |
| 筑波大学附属病院 | 東京医科歯科大学医学部附属病院 | 東京都立駒込病院 |
| 東京医療センター | 東京女子医科大学病院 | 東北大学病院 |
| 利根中央病院 | 名古屋第一赤十字病院 | 名古屋大学医学部附属病院 |
| 西神戸医療センター | 日本赤十字社医療センター | 深谷赤十字病院 |
| 前橋共立病院 | 前橋赤十字病院 | 松戸市立病院 |
| 横須賀共済病院 | 横浜市立市民病院 | 横浜労災病院 |
| 横浜市立大学附属センター病院 | 横浜市立大学病院市民総合医療センター | |
| 独立行政法人労働者健康福祉機構 千葉労災病院 | | |

【医学部 保健学科 看護学専攻】

■地方公務

群馬県
伊勢崎市役所

前橋市役所
板倉町

高崎市役所
下仁田町

■医療業

群馬大学医学部附属病院
東京医科歯科大学医学部附属病院
前橋赤十字病院
東京都健康長寿医療センター
都立多摩総合医療センター
富士重工業健康保険組合 総合太田病院
虎の門病院
東京医科大学八王子医療センター
埼玉医科大学国際医療センター
みさと健和病院
東芝病院

高崎医療センター
国立がん研究センター中央病院
武蔵野赤十字病院
成田赤十字病院
独立行政法人 国立国際医療研究センター
総合太田病院
自治医科大学附属さいたま医療センター
自治医科大学附属病院
東京女子医科大学病院
前橋協立病院

西群馬病院
中林病院助産師学院
埼玉県立病院
群馬県立病院
戸山病院
群馬中央総合病院
東京医科歯科大学附属病院
聖路加国際病院
北関東循環器病院
高崎中央病院

【医学部 保健学科 検査技術科学専攻】

■医療業

籠原病院
館林厚生病院
社団法人 筑波記念病院
帝京大学附属病院
星総合病院
小児医療センター(キャリアアップ実務研修生)

河北総合病院
北原国際病院
獨協医科大学病院
日高病院
済生会前橋病院

秋田県厚生農業協同組合連合会
社団美心会 黒沢病院
北関東循環器病院
公立富岡総合病院
済生会横浜市東部病院

■企業

(株)BML
北関東循環器病院 治験スタッフ

(株)ファルコSbホールディングス
(株)エスアールエル・ラボ・クリエイト

上尾中央病院検査研究所(AML)

【医学部 保健学科 理学療法学専攻】

■医療業

太田市藪塚本町介護老人保健施設
あさくら診療所
竹川病院
竹田総合病院
黒沢病院

老年病研究所附属病院
横浜総合病院
利根中央病院
愛仁会
慶友整形外科

群馬中央総合病院
茨城西南医療センター
北関東循環器病院
しのづか病院
民医連泉総合病院

■企業

(株)関電工

【医学部 保健学科 作業療法学専攻】

■医療業

京都市民連第二中央病院
美原記念病院
千葉徳州会病院
あしかがの森 足利病院
武蔵嵐山病院
愛知県済生会病院

群馬県立精神医療センター
前橋赤十字病院
長野中央病院
渥美病院
医療法人 宏愛会

医療法人橘会 上之原病院
大宮協立病院
医療法人社団 恵友会 三恵病院
サンピエール病院
わかば病院

【工学部】

〔昼間コース〕

■国家公務

自衛官

■地方公務

群馬県(行政)
栃木県
群馬県警察官
さいたま市
富岡市

岩手県(機械)
富山県
警視庁
みどり市
前橋市

千葉県
東京都
川崎市消防局
昭和村
佐野市

〔夜間主コース〕

■地方公務

静岡市消防局

皆野町

【工学部 応用化学・生物化学科】

■企業

(株)環境技研
(株)林牧場
東亜レジン(株)
(株)ミツバ
三信化工(株)
(株)雪国まいたけ
富士電機(株)
太田都市ガス(株)
山崎製パン(株)
(株)ヴィ・ディ・エフサンロイヤル
日東化成工業(株)
(株)東邦アーステック
(株)大協精工

浜松ホトニクス(株)
パーカー熱処理工業(株)
本田技研工業(株)
(株)ベスト・エデュケーション
アース環境サービス(株)
キャノンコーポネンツ(株)
日東電工(株)
日本アキュムレーター(株)
(株)沖縄チャンドラー
ダンロップタイヤ関東(株)
栃木精工(株)
(株)ヤマト
ハルナビバレッジ(株)ウェルネスサイエンス研究所

東洋エアゾール工業(株)
(株)群馬銀行
(株)サンエー化研
リンコー(株)
(株)アーデン
(株)タケイ
小倉クラッチ(株)
(株)ドンレミー
(株)信州シキシマ
日興リカ(株)
パナソニック電工住宅設備(株)
ボイスインターナショナル(株)

【工学部 機械システム工学科】

■企業

サンデン(株)
群馬トヨペット(株)
(株)ヨコオ
岡部工業(株)
(株)ヤマト
システムセイコー(株)

日本工営(株)
本田技研工業(株)
(株)小金井精機製作所
ユイシアジェーケーシーステアリングシステム(株)
日本水工設計(株)
(株)ミツトヨ

(株)やまびこ
ヤマトシステム開発(株)
(株)デザインネットワーク
(株)山田製作所
(株)ヤタカ技研
日清紡ホールディングス(株)

【工学部 環境プロセス工学科】

■企業

明星工業(株)
クボタ環境サービス(株)
(株)テクノ菱和
(株)ケイヨー

東海ゴム工業(株)
アルファテクノロジー(株)
(株)日立産機システム
富士エンジニアリング(株)

東北エア・ウオーター(株)
大成ラミック(株)
(株)スリムビューティハウス

■その他法人

宗教法人 幸福の科学

【工学部 社会環境デザイン工学科】

■企業

| | | |
|--|---|--|
| 東海旅客鉄道(株) (株)オプトニクス精密 パシフィックコンサルタンツ(株) 西口エンタテイメント(株) 渡辺建設(株) | 若築建設(株) 東京地下鉄(株) (株)カインズ 川崎地質(株) | 日本道路(株) 静岡コンサルタント(株) (株)PIT (株)足利ガス |
|--|---|--|

【工学部 電気電子工学科】

■企業

| | | |
|---|--|---|
| (株)オフィスエフエイコム 澤藤電機(株) 富士フィルムグラフィック(株) (株)ニプロン (株)安川電機 植田酪農機工業(株) | (株)山田製作所 サンデン(株) パイオニア(株) 日本電設工業(株) (株)東京測器研究所 (株)サカエ | コダマコーポレーション(株) (株)ミツバ 小里機材(株) 東邦亜鉛(株) ニチコン(株) |
|---|--|---|

【工学部 情報工学科】

■企業

| | | |
|--|---|--|
| (株)ナブアシット 東芝ソリューション(株) システムアルファ(株) (株)アドテックス ソフトウェア情報開発(株) (株)赤井事務所 | 富士重工業(株) (株)クライム (株)コナミデジタルエンタテイメント (株)インテリジェンス リード(株) 大学生協同組合(信州大学) | 曙ブレーキ工業(株) (株)ジーシーシー (株)インフォメーション・デベロップメント (株)高崎共同計算センター (株)大協精工 |
|--|---|--|

【工学部 生産システム工学科】

【昼間コース】

■企業

| | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 富士重工業(株) 東洋電機製造(株) (株)ミツバ | いすゞ自動車(株) 杉原エスイーアイ(株) 全日空整備(株) | 小倉クラッチ(株) キャノン電子(株) (株)深井製作所 |
|---------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|

【夜間主コース】

■企業

| | | |
|---|--|---|
| (株)ゼネラルエンジニアリング 富士テクノサービス(株) しげる工業(株) 富士ゴム工業(株) (有)群馬パッキング (株)イチタン | 協和発酵キリン(株) 日本アサヒ機工販売(株) (有)小山設計 (株)オギハラ (株)キリウ | (株)ベイシア 富士重工業(株) (株)正田製作所 東亜工業(株) (株)徳永 |
|---|--|---|

【工学部 応用化学科】

■企業

| | |
|------------|----------|
| 栃木ホンダ販売(株) | (株)キューセス |
|------------|----------|

【工学部 建設工学科】

■企業

| |
|-------|
| (株)長大 |
|-------|

3 学生受入センター

3.1 はじめに

学生受入センターは、オープンキャンパス、高等学校・大学連携授業等を積極的に実施し、各高等学校に向け本学のアドミッション・ポリシーの広報活動を行った。同時に、大学ホームページや各種大学受験案内などに入試情報を掲載し、広報活動を活発化した。また、各種イベントへの参加、高校訪問、外部広報誌の活用等による種々な宣伝活動も積極的に行った。特に、9月中旬から10月上旬にかけての、特別入試学生募集要項及び一般入試学生募集要項の配付を兼ねた「学生募集要項配付と進学相談会」と銘打った群馬大学独自の進学相談会は5年目を迎え、本年は3会場に於いて開催した。来訪した延べ559名の受験生及び保護者等にフェース to フェースで募集要項を配付するとともに、各学部の進学相談担当教員が進学相談に応じた。

本報告書では、学生受入センターの2011年度における業務内容とその実績について報告する。

3.2 オープンキャンパス等

1) オープンキャンパス

平成23年8月6日(土)～7日(日)に、荒牧キャンパスでオープンキャンパスを開催した。これらの日は、これまでの5年間の広報に於いて「群馬大学はオープンキャンパスを8月の第1週の土曜日と日曜日に開催する」と案内してきた4回目の実施日にあたる。1日目は主に医学部・工学部、2日目は教育学部・社会情報学部を対象とした大学紹介・説明を行った。これまでと同様に、群馬・栃木・埼玉・新潟・長野の全高等学校を対象に、あわせて5県701校に案内した結果、延べ3,899名の参加者があった。本年の参加者は、昨年より48名増加した。

また、平成18年度から開始したクラブ・サークル紹介において、今年度は吹奏楽団の演奏を行い、参加者に本学に対する親しみやすいイメージを与えるよう配慮した。なお、当日実施したアンケート調査では、90%の参加者から参加して良かった旨の回答が得られたこと等から、本行事の意義を確認することができた。

2) 募集要項配付及び進学相談会

平成23年9月17日(土)・18日(日)・23日(金)(秋分の日)の3回にわたり、本学独自の募集要項配付及び進学相談会を実施した。これは平成19年度から実施した事業である。内容は、高崎市、桐生市及び宇都宮市の3会場に於いて、本学の特別入試学生募集要項及び一般入試学生募集要項(入学願書付)を配付し、併せて進学の相談に応じるものであり、受験動向を観察するアンテナ的イベントである。群馬・栃木・茨城・埼玉・新潟・長野の全高等学校を対象に、あわせて6県857校に案内した結果、延べ559名の参加者があった。当日のアンケート調査では、68%の出席者が本学を第一志望としていることがわかるなど、受験動向を把握する上での有効性を確認できた。

3) 模擬授業・出前授業及び大学見学

平成19年度から基本的に学生受入センターに集約することにより、効率的な運用を図った。その結果、56高等学校に模擬授業・出前授業を実施し、15の高等学校が本学を見学した。

4) 進学相談会

本事業も上記3)と同様、平成19年度から基本的に学生受入センターに集約して行うこととした。今年度、関東地区の会場を重点的に、延べ39回の進学相談会に参加し、延べ834名余りの受験生、保護者等に対して入試広報を行った。さらに効果的な入試広報を行

うため、地域や主催者別に各会場のデータを収集のうえ、受験生の特性について分析を行った。

5) ホームページ広報

本学ホームページに掲載する受験生向け情報の整理・見直しを行い、ユーザビリティの向上を図った。また、広報室と連携して、大手の受験産業関連企業が運営する進学情報ウェブサイトに入試情報を掲載し、より広範な広報活動を行った。

6) 学生受入方針の広報

オープンキャンパス、大学見学会及び進学相談会等の際、入試広報誌等を用いた学生受入方針（アドミッション・ポリシー）の積極的な説明を行った。なお、上記によるPR効果については平成23年度入学者を対象にしたアンケート方式で調査したが、その結果は各学部
の学生受入方針（アドミッション・ポリシー）の更新に役立てることができた。

3.3 入学者の追跡調査

入試の状況、各種アンケート及び入学後の成績等、入学者の追跡調査結果については、平成23年12月に報告書を発行し次年度以降の入試改革に役立てることとした。

3.4 その他

県の教育委員会の要請を受け、高大連携推進協議会に参加し、県内各種高校の教員と高大連携の進め方について意見交換を行った。県内高校教員138名の参加を受けて平成23年11月17日に開催された「高大連携フォーラム」において、本学の取り組みと高大連携についての考え方を紹介した。

4 健康支援総合センター

はじめに

健康支援総合センターは平成 18 年 4 月に保健管理センターから改組され学生の健康管理を目的とした、群馬大学大学教育・学生支援機構内の 1 センターとして位置づけられた。その業務範囲、特に教職員の健康管理に関わる範囲については平成 20 年度に総務部との協議で確定された。健康支援総合センターの業務範囲が確認された後に平成 19 年度の本報告書で最初の業務報告がなされた。

すなわち、大学の独法化に伴い教職員の健康管理は学校保健安全法よりも厳しい労働安全衛生法に則るべきであることから、旧保健管理センターの医師に課されていた荒牧事業場の保健管理医業務（資料番号 15：保健管理センター規程第 6 条）は荒牧事業場の産業医の業務とされた。これにより荒牧事業場の保健管理医業務は健康支援総合センターの業務から削除され（資料番号 22：健康支援総合センター規程）、学生のための施設とする旧文部省が目指した大学への保健管理センター設立の趣旨の姿（資料番号 16：設立通達）に復したのである。

今回の報告は健康支援総合センターとしては平成 19 年度報告書から 5 回目である。この 5 年間に健康支援総合センターの活動は第 1 期、第 2 期中期計画に従い、大学執行部、特に大学理事である石川健康支援総合センター長の基に着実に確実に発展をしてきた。

しかし、健康支援総合センターは未だ整備の過程にあり、配置されている医療職が絶対的に不足している。この状況に対しては第 1 期中期計画で改善されるべき課題であったが、第 2 期中期計画案（資料番号 20）として引き継がれ進行中である。

配置人員が不足であっても健康支援総合センターは学生の健康の保持増進に有用な事項については、実施できる形でとにかく事業を立ち上げることを主眼に進展を図ってきている。

今回は平成 23 年度の健康支援総合センターの活動を報告するが、この報告書から皆さんが健康支援総合センターの業務実態と抱えている課題を知り、併せて業務に対する健康支援総合センターの工夫と姿勢を感じていただければ幸いです。

4.1 平成 23 年度年間業務実施概要

平成 23 年度では第二期中期計画に従い、念願の昭和キャンパスへの看護職の配置が 10 月からなされたことが最大の進展事項である。

健康支援総合センターの業務は前年度の運営委員会で決定されている（資料番号 1：業務内容）。平成 23 年度には定例業務とは別に下記の 6 項目の事業が追加されたのでまず概要を述べていきたい。

- ①昭和キャンパスに看護職が配置（週に 19 時間）された。
- ②平成 21 年度から工学部からの要請により、桐生キャンパスでメンタルヘルスに問題を抱える学生の指導・対応に当たっている教員の求めに応じて、健康支援総合センターの精神科医が当該教員の専門的相談に応じる事業（必要ならば研究室にまで出向いて応じる）を継続してきた。この事業を平成 23 年度からは工学部の教員にだけでなく全学の教員に対する事業として拡大した。
- ③平成 22 年度から大学生活への不適應者に対する大学からの働きかけ要員としてキャンパスソーシャルケースワーカーを隔週で半日（4 時間）配置されたが平成 23 年度からは毎週半日に拡充された。
- ④健康支援総合センターに自己健康管理の支援機器として自律神経バランス計測装置を設定した。
- ⑤昭和キャンパスの学生健康相談室に自己健康管理用機器として自動血圧計と自動視力計、

体組成計を設置した。

⑥県内各大学でカウンセリングや精神保健などを担当している関係者の連携を図るため、群馬メンタルヘルス研究会というメーリングリストを作成し運用を開始した。現在では学内のカウンセラーや看護師、ソーシャルケースワーカーを中心に試行中である。

1) 昭和キャンパスへの「健康維持・向上相談員」(看護師)の配置

第2期中期計画において、昭和キャンパスへの看護職等の配置が計画されていたが、医学部からの要請が叶い平成23年10月から週に19時間の看護職の配置が開始された。看護職の業務の対象はキャンパス内の学部学生、大学院生であり、健康相談、健康情報・医療情報の提供、医学部で行うワクチン接種に関わる事等が主な業務である。医療機関での看護職とは異なって業務上の指示を同じ職場内の医師から受けることができない困難を有することから、看護師という言葉ではなく「健康維持・向上相談員」と新たに作られた役職とされた。

勤務時間は講義に空き時間のない多忙な学生が昼休みにも利用できるように12時から午後4時まで(金曜日は午後3時まで)とされた。

部屋としては以前から医学部学務課と同じフロアに設置されていた「学生相談室」を「学生健康相談室」としても使用している。健康維持・向上相談員は医学部学務課学事・学生支援係の所轄に入り、執務机は学事・学生支援係と上記「学生健康相談室」の双方に有る。

健康維持・向上相談員への医療上の専門的な知識、技術、方法の補佐は健康支援総合センターの医師および看護師が行い、医薬品・衛生材料の供給は従来通り健康支援総合センターが行うことで活動している。学生健康相談室には医務室としてのベッド、パーテーション、カーテンなどが新たに整備され、応急処置室および休養室としてはほぼ完備された。

2) 健康支援総合センターの精神科医によるメンタルヘルスに問題を抱える学生を担当する教員への個別相談の全学への拡大

工学部からの要請により、桐生キャンパスでメンタルヘルスに問題を抱える学生の指導・対応に当たっている教員の求めに応じて、健康支援総合センターの教員(精神科医)が桐生キャンパスに出向いて当該教員の専門的相談に応じる事業を平成21年度から継続している。この事業を平成23年度から全学に拡大した。

当該教員とは電話や電子メールで相談を受けているが、必要な場合には教員の研究室に健康支援総合センターの精神科教員が出向いて個別の相談を行っている。これにより健康支援総合センターの精神科教員が定期的に桐生キャンパスに出向いて教員の相談に応じるという従来の仕組みは拡大的に廃止した。

学生本人への相談は、荒牧キャンパス以外では今まで同様に臨床心理士である学外のカウンセラーに対応していただくことになっている。本事業の対象はメンタルヘルスに問題を持つ学生を担当する教員に限られている。実際にカウンセラーに課せられている守秘義務の関係でカウンセラーと教官が直接情報交換できない場合や、教員として当該学生にどのように関わるべきかの判断が難しい場合などに、教員にとっては健康支援総合センターの精神科医への相談が極めて有用であると評価されている。

3) 桐生キャンパスへのキャンパス・ソーシャルケースワーカーの配置時間を増した。

工学部桐生キャンパスにおいては学生支援課の事務員が指導教員の補佐を行うには時間が不足していた。それを補うために平成22年度から学生に働きかけて学生を大学に結びつける機能を果たす非常勤職員を隔週半日の勤務で配置した。

配置の目的などの詳細は本報告書平成22年度版で既に述べたのでご覧いただきたい。この配置が有用であったことから平成23年度からは毎週半日へと配置時間を増した。その成果は下記の項4.19に示す通りである。

4) 健康支援総合センターに自己健康管理の支援機器として自律神経バランス計測装置を設定した。

健康支援総合センターでは自動血圧計、自動身長・体重計、自動視力計、体組成計がどれもいつでも自由に使えるように設置されている。学生は友人と共に測定しに来る者が多い。設置しておくことが学生の健康管理に有用であるとの証拠を取ったこともないし、証拠を示すデータを見たこともない。しかし、少なくとも健康支援総合センターが学生にとって身近な存在であるのには役立っていると考えている。その一環として上原準教授の科研費から心拍数を指標とする自律神経機能検査機が設置されたことは学生が健康支援総合センターに近づく新たなチャンネルができたと考えている。特にメンタルヘルスに不安を感じている学生にとっては健康支援総合センターのスタッフと雰囲気を知るきっかけを作ることになり、カウンセリングを受ける環境整備に繋がると期待される。

5) 昭和キャンパスの学生健康相談室に自己健康管理用機器として自動血圧計と自動視力計、体組成計を設置した。

昭和キャンパスに学生健康相談室ができたので健康の自己管理の補助になると考えて設置した。併せて健康相談室の利用を促し、相談室の存在の周知に繋がるとのもくろみで設置をした。

6) メーリングリスト「群馬メンタルヘルス研究会」の運用開始

群馬県内の大学、高専でメンタルヘルスに実際に関わっている実務者に対して、群馬大学がサポートをすることで実務者間の連携を深め業務の質の向上に寄与したいとする第二期中期計画に基づいた業務が進展した結果である。高等教育現場において学生等のメンタルヘルス対策を担うという共通の問題を有する顔が見えるメンバーでの研究会は各大学等でのメンタルヘルス対策に確実な力を与えている。今後とも確実な進展が望まれる事業である。

以上、平成 23 度に新たに始めた健康支援総合センターの活動を報告した。

以後に定例業務の報告をするが、最初にご理解頂きたいのは平成 19 年度の業務報告書で述べたように健康支援総合センターの業務の原則は前橋地区の学生が対象範囲であって、桐生地区、太田地区の学生は含んではいない、両キャンパスの工学部の学生の保健管理は附属学校がそうであるように工学部が委嘱する非常勤学校医によってなされることになっているのである。

しかし、健康診断時における内科診察、胸部レントゲン撮影検査の経費の支払い、学外臨床心理士によるカウンセリング業務および平成 22 年度から開始したキャンパス・ソーシャルケースワーカー業務に限っては全学一体的に健康支援総合センターが行っている。

これは非常に特異な業務態勢である。この業務形態を理解するには本学の学生への健康管理に対する各学部の対応の歴史を知らなければならないが、ここではそれについては触れない。

このような歴史的に負の財産を背負っているという困難は有るものの、健康支援総合センターはわずかずつではあるが、学生の健康支援事業を確実に拡大しながら高度化してきている。特に平成 23 年 10 月から昭和キャンパスに看護職が週に 19 時間ではあるが配置されたことは大きな進歩であった。この昭和キャンパスの健康維持・向上相談員は医学部の事務の管轄であるが、本学の各学部の学生の健康管理に対する歴史をふまえた場合、現時点では最良の設置形態であると判断している。

以後、平成 23 度の定例業務内容について順次報告したい。

4.2 学生定期健康診断

4.2.1 及び 4.2.2 学生の定期健康診断状況

平成 23 年度の学生定期健康診断は、資料番号 2 および資料番号 3 に示す日程で行われた。この日程は平成 22 年 6 月 23 日に行われた第 10 回健康支援総合センター運営委員会（委員長：石川 治 健康支援総合センター長 病院担当理事）において承認されたものである。学生の定期健康診断日程は翌年の胸部レントゲン撮影車の配車を 7 月中には学外の業者に予約しなければならないことから例年、前年度の 7 月中には運営委員会に諮り決定している。

また、学生定期健康診断には医学部附属病院から半日を 1 回と算定して延べ 32 名（桐生地区派遣の医師を含む）の医師の派遣の協力を頂いた。また検査及び診察補助を目的に看護師を 1 日を 1 回と算定し、健康支援総合センター経費で前橋地区の健康診断に延べ 42 名を学外機関から雇い入れた。

4.2.3 及び 4.2.4 学生定期健康診断受検状況

資料番号 4 および資料番号 5 に示すとおりである。学部学生の受検率は前橋地区では全体で 94.3%，桐生地区では全体で 88.9%と極めて良好である。この受検率は全国的にもトップレベルである。学部別では教育学部 96.7%，社会情報学部 90.4%，医学部医学科 88.3%，医学部保健学科 96.5%，工学部 1 年 97.9%，工学部昼間 2 年以上 90.5%，工学部夜間主 63.8%と工学部夜間主以外は 90%以上の受診率であった。

1 年生だけを見ると教育学部 99.8%，社会情報学部 99.1%，医学部医学科 98.2%，医学部保健学科 99.4%，工学部 97.9%とほぼ全員が例年と同様に受検した。健康診断日程表で明らかなように健康診断時間は、教養教育の講義時間と平行して行われており特別に休講措置は取られてはいない。それにもかかわらず例年 1 年生のほぼ全員の健康診断がなされ続けているという事実は、教養教育の授業を担当された先生方の学生の健康診断受検行動に対する多大な理解と御協力の賜と考えられる。本学における学生の健康診断が医学部附属病院の先生方の献身的協力により成立していることをも念頭に、教養教育の授業担当の先生方の引き続きの御協力を御願いたい。

大学院生の受検率は、医学系研究科の受検率が 18.4%と極端に低値であった。医学系研究科の院生は医療機関に就業している社会人が多く、所属先の医療機関で健康診断を受けているので大学での健康診断の必要を要しないとの可能性もあるが、今後何らかの方法で所属先での健康診断の実績を含めて実質的受検率を上げることが望まれる。医学系研究科には外国人留学生が多く、彼らは他の医療機関での受検の機会もなく、感染性肺結核症の発生をみたことでもあるので、健康支援総合センターとしては留学生にたいしては後の 4.3 の項で述べるようにクオンティフェロン TB 検査をして結核感染のチェックはしているが発病に関しては胸部レントゲン検査が欠かせないので、外国人留学生の大学院生については指導教員の受検への特段の御協力をお願いしたい。

4.2.5 学生定期健康診断における疾患別要観察者数（前橋地区）

前橋地区の定期健康診断時、問診だけで明らかにされた特に管理を要すると判断された病態と該当学生数を資料番号 6 に示す。特に突然死の原因となりうる先天性心疾患や WPW 症候群が 8 名に見つかることは注目に値する。また、ここ数年は治療中の糖尿病が必ず見つかるようになってきている。腎性糖尿は尿糖陽性から精査で診断された者であり、毎年数名が新たに診断される。また健康診断時にうつ病や統合失調症と申告する学生が出て精神科、心療内科にて加療中の学生数が 17 名と捉えられるようになってきたことは最近の傾向であり、社会の精神疾患への理解が進んだのかもしれない。今回は資料に示すように延べ 1079 病態が明らかとなった。これらの病態を有する学生には、健康診断日の最後に健康支援総合センターの内科医が総合判断し健康診断の事後指導を兼ねて各人に簡単な指導を行っている。本

人が希望する場合には医学部附属病院を含めた医療機関を照会（当該学生には医療機関の受付時間とアクセス法を記載したパンフレットを渡す）したり、紹介状を作成して渡したりしている。特に気管支喘息を持つ学生については必ず主治医を持つようにと近くの喘息専門外来を有する医療機関に紹介している。照会をしたり、紹介状を発行したりする学生数は合わせて毎年 80 名程度である。このように多くの病態が健康診断を契機に学生に改めて自覚されることは学生にとっても好ましく、適切な指導が受けられる機会が提供されたことにもなる。本学の定期健康診断が学生の健康の保持増進に寄与している証左である。また、この作業が本学の学生の定期健康診断受検率が驚異的に高く、高学年でも落ちない一つの要因ともなっていると判断される。

4.2.6 学生定期健康診断時に発見された異常者数と事後指導結果（前橋地区）

学生の定期健康診断で異常値を呈した数と二次検査の結果を資料番号 7 に示す。まず対象者には二次検査を健康診断日の直後に行う。二次検査でも異常値が出た場合は医学部附属病院を含めた医療機関での精密検査のための紹介状を発行している。心疾患については、高校生までの検診時における診断技術の高度化で保健管理上問題になる異常が学生の定期健康診断で新たに発見されることは殆ど無い。しかし、尿潜血、尿蛋白や高血圧に関しては診断能力が心臓ほどは高度化していないので診断がつかないという者が若干ではあるが残る。最後の手段として経過観察となるが、健康診断を受けた最終的な判断が、要経過観察では継続して健康診断を受けようとする学生の意欲を削ぐことになるので、卒業までにはきちんとした診断を付けさせたいと苦勞をしているところである。具体的には最終学年では紹介状を医療機関に発行して、卒業後の健康管理上の指導を含めての精密検査をお願いしている。また、学校保健上最も注意すべきは胸部異常陰影が肺結核である者を確実に検出することである。そのために健康支援総合センターでは健康診断で胸部異常陰影が疑われた学生に対しては、精密検査を受けるよう再三にわたり勧告する。最後の手段としては学生が正月に帰省することを予測して、正月前に保護者宛に、精密検査を受けることを、保護者からも勧めて頂く旨の依頼文を郵送している。ここまでして精密検査を受けない者に対してはもはや打つ手が無く、大学としては管理責任を果たしていると考えている。

心電図の検査においては WPW 症候群（心臓の刺激伝導系の奇形に起因する不整脈の 1 種）の扱いに特別な配慮をしている。健康診断時に不整脈の診断歴のある学生で安全な不整脈との確定診断がついていない者については、まず全員が心電図検査を健康支援総合センターで受け、病的な場合には改めて専門医療機関を紹介している。WPW 症候群については、全員について健康支援総合センターで心電図を取り、WPW 症候群について教授（内科医）がガイダンスし心電図を渡し常時携帯するように指導し専門医を紹介し、心臓カテーテルアブレーション術（刺激伝導系の一部を焼却する治療法）の適応について判断を受けるように勧めている。

健康支援総合センターでは、平成 6 年度から BMI（体格指数）が 25 以上の者を肥満者とし、該当者に呼びかけて早朝空腹時での血糖値、インスリン値、血中脂質の測定を健康診断事後指導業務に位置づけて実施している。平成 23 年度は 20 名が受検した。検査結果は全員に説明し、後記する肥満教育プログラムへ勧誘した。肥満教育プログラムは健康診断後に開始し年間を通して行っている。その成績、効果については下記に示す全国大学等保健管理研究集会に発表し論文数編にまとめている。肥満対策は、我が国の保健施策上の重要な課題であり、平成 20 年度から、はいわゆるメタボ健診と称される特定健診として行政レベルで肥満対策が開始された。このような情勢をふまえて若年成人である大学生への肥満対策は学校保健上でも重要な課題であると健康支援総合センターは捉えている。

大学生の健康の保持増進に取り組む健康支援総合センターの課題は多岐にわたるが、本学ではそのために配置されている教職員は極めて限られている（全国の同等の学生数を擁する他大学と比較して配置職員数は最低レベルである）ことから、必要不可欠な課題に対して順

に教職員の能力を判断しつつ教職員を配置しなくてはならない。学校保健としては授業の成立を破壊する結核をはじめとする感染症の集団感染の発生の防止が最大の任務であるが、次は学業を中断に追い込む可能性のあるメンタルヘルス対策であり、国策となった肥満対策である。メンタルヘルス対策としては、施設に配置されている医療担当者の人的条件（人数及び能力）から、有症学生の早期発見にむけてのスクリーニング方法の充実と医療機関への受療促進が重要項目である。早期に対応することで、不登校や休学、退学などの発生を防止できると考えられる。

以上の考え方を健康支援総合センターの運営委員会で承認していただいて現在の業務形態を形成してきた。

4.2.7 健康診断時における精神保健調査

本年度の精神保健調査は、前述したように、気分変動、精神病兆候、食行動異常をふくめた心身の問題を早期に発見することを目的に、従来の方法を統計学的に解析し、新たなチェックリストを改編した。本チェックリストの有用性や関連する解析結果については、後述のように数編の学術論文としてまとめている。

本年度の結果を資料番号8に示した。これまでの慣例に従って、新入生を対象とした調査と、在学生を対象とした調査を分けて実施した。実施する検査方法は毎年改良を重ねており、得られた検証結果の一部は原著論文として発表した。ちなみに要医療とは医療機関での投薬治療が必要と判断された者、要カウンセリング者とは医療機関で投薬の必要はないが引き続き健康支援総合センターで面接を継続的に行うケース、その他随時の相談を強く推奨する学生に区別した。既に医療やカウンセリングを内外の機関で受療しているものは、括弧内に別途記載した。

新入生を対象とした調査結果は、資料表上に示すとおりである。健康支援総合センター准教授を中心に、医学部附属病院精神科神経科医師および健康支援総合センターの学外臨床心理士により面接を行った。医学部附属病院精神科神経科医師には定期健康診断内科診察の代替としてご協力をいただいているが、学生の健康診断への応援としては高頻度であり、紙面を借りて神経精神科教室に深く感謝申し上げる。平成23年度は新入生1251名のスクリーニングを行い、要面談者71名を検出し、38名に面談を施行、医療機関紹介1名、要カウンセリング者6名、随時の相談推奨9名を検出した。平成23年度は震災の影響が懸念されたが、要面接者数に例年と大きな変化なく、1次健診の時点ではシリアスな相談は少なかった。

在学生の精神保健調査も前述したように、改変されたスクリーニング調査票の簡易版GUMIへの記入方式で行い、面談と診断は健康支援総合センター准教授が中心となり、昭和、桐生、太田の各キャンパスに出向いて行った。平成23年度は4174名を対象として102名を検出し、54名（昨年度より3割ほど少ない）に面接を行い、要医療者2名、要カウンセリング者9名、随時の相談推奨13名を検出した。面接数は昨年度より少ないものの、要医療者はほぼ2倍に増え、通院中の4名を考慮すると、メンタルヘルスの重要性が強調される結果となった。

今年度も、抑うつ状態のみならず青年期に問題となる精神症候をなるべく早期に対応すること目指して、2次健診で面談と助言を行った。大震災の影響は、1次健診の質問紙では顕著に現れなかったが、2次面接において数は多くは無い者の、地震などへの不安、実家が直接被害、間接的な影響を語る学生に出会った。

4.3 外国人留学生健康診断状況

外国人留学生の特別健康診断を毎年11月頃に行っている。平成21年度からは留学生の結核感染の有無を検査するクオンティフェロンTB検査と引き続きのメンタルヘルスのスクリーニング検査を行った。日本人では全く発見されない感染性結核が留学生には過去10年間で3名が発見されたこと、および結核感染をツベルクリン検査と比較してより適切に診断できる検査法であるクオンティフェロンTB検査が一般化されたという二つの理由から、第8回健康支援総合センター運営委員会の議決を経て、クオンティフェロンTB検査を開始した。荒牧キャンパス、昭和キャンパスで1回、桐生キャンパスで2回、1回の検査に3から5時間をかけて行っている。対象者は平成23年4月から本学に在籍となった留学生および平成22年度の検査対象でありながら検査を受けなかった者とした。

受診率及び検査結果を資料番号9示す。今回も国際交流課による受検対象者への通知の徹底をしていただくという協力のおかげで受検率は97.2%とほぼ完全で、陽性者が10名(9.7%)、擬陽性が12名(11.7%)であった。陽性者、擬陽性者は次のように指導した。4月に胸部レントゲン検査を受けて異常が無い者は毎年必ず胸部レントゲン検査を受けるように指導した、それ以外の者は医療機関を紹介した。

陽性率ではあるが、医学部1年生への検査では陽性者が0.4%程度であったことから外国人留学生の陽性率は日本人学生の数倍はあるようである。よって本検査の継続は当分は必要と判断される。

なお今回のメンタルヘルス・スクリーニングは前述した在学生のために毎年改良を行っている検査方式の英語版を用いて行った。2次面接者を1名抽出したが、本人が精神科医との面接を希望せず、桐生キャンパスのカウンセリングや留学生センターの相談窓口に関する情報提供を行った。

4.4 ウイルス性疾患抗体検査

本学では附属病院での臨床実習を安全に行うための教育上の安全配慮策として医学部が主体で平成18年度から医学部の新生全員に対して麻疹、風疹、水痘、ムンプス(流行性耳下腺炎)、B型肝炎に対する抗体価を測定して陰性者にワクチンの接種を行うこととなった。具体的には、採血検査及び麻疹、風疹、水痘、ムンプスのワクチン接種は医学部附属病院感染制御部が、抗体価検査は同検査部が行っている。B型肝炎ワクチン接種は医学部の委嘱により健康支援総合センターが行っている。資料番号8に示すようにワクチン接種前のB型肝炎ウイルス抗体陽性者は2.2%であり、全員が保健学科の編入学生であった。

麻疹、風疹、水痘、ムンプスの抗体検査の結果を資料番号10に示す。話題の麻疹に対しては約4.8%が陰性であった。国によって平成20年度から開始された第4期の麻疹ワクチン接種が効果を発揮してきたように思われる。流行を抑制するには疫学的には人口の95%が抗体を有する必要があるとされているので、本学の医学部ではほぼ満足すべき状態であると判断される。これら抗体が陰性の者に対しては医学部附属病院感染制御部がワクチン接種を行った。

この事業に関わる経費は全額新生の負担で行っている。新生に対する検査およびワクチン接種の意義の説明は医学部の判断で行っており、ワクチン接種に関わる個別指導及び副作用への対応は健康支援総合センターで行っている。

4.5 健康支援総合センター利用者等

健康支援総合センターで行った健康相談人数、件数、内容について報告する。
学外のカウンセラーによる業務は別の項(資料番号14)で報告する。

4.5.1 利用者数

健康支援総合センターの利用件数を所属学部別に分類した結果を資料番号 11（整理番号 9）に示す。桐生キャンパス所属の学生数は荒牧キャンパスで研究をしたり、クラブ活動で荒牧キャンパスに来ている時に利用した者の数である。それぞれ月別に集計して表示した。年間延べ 936 名の利用があった。延べの計算ではあるが、この利用数は前橋地区の学生の約 4 人に 1 人が利用したことになる。大学の保健施設としては十分に機能している状態と判断される。

4.5.2 利用件数

利用件数を健康相談、精神保健相談、健康診断書の発行の 3 つに分類し月別に集計した結果を資料番号 11（整理番号 10）に示す。

この表での健康相談は応急処置を含むからだの健康相談としてまとめてある。

健康診断書は各キャンパスから自動発行されること、および就職時の提出が義務づけられなくなったことから健康支援総合センターからの発行数は激減している。しかし、様式が決められている健康診断書については手書きをして発行しておりその数は 29 通であった。

学校保健安全法に定められている（健康診断で行う検査項目）以外の検査項目についての記入を求められる診断書については健康支援総合センターでは作成できないので所属学部の担当部署を通して医療機関で作成していただくように指導している。多くは教育学部の教員としての就職や医学部学生の研修病院のマッチング試験時に提出を求められる健康診断書であるが、最近では当センターに作成を依頼に来る学生は減少している。

4.5.3 疾病領域別利用者数

疾患領域別利用者数を月ごとに集計した表を資料番号 11（整理番号 12）に示す。

呼吸器系 233、精神科 278 が圧倒的に多数であり、外科・整形外科 125、内分泌・代謝系 67、と続く。呼吸器系 233 名はほとんどがいわゆる風邪である。

精神科は 278 と昨年度とほぼ同数である。内訳は精神科医 168、カウンセラー 110 で、医療機関への紹介も 17 と昨年度の数値とほぼ横ばいで推移している。昨年度と同様、身近なテーマに関するカウンセラーによる心理相談、より複雑な問題に対する精神科医の診断面接および精神療法、さらには重度慢性化に至る前の早期医療機関受診、というトリアージの流れが確立されつつあることを示している。なお整理番号 14 に示すキャンパスごとの相談数内訳で、工学部学生が荒牧キャンパスで 30 名、桐生キャンパスで 7 名あるが、前者は主に 1 年生が対象で、校舎には准教授のみを含めており、カウンセラーによる相談は整理番号 19 カウンセリング数にカウントしてある。いずれにせよメンタルヘルス支援に関するシステムを工学部や医学部においても拡大することは、今後の重要な課題と考えられる。

外科・整形外科 125 名は外傷、捻挫が殆どである。風邪と外傷の利用者が約 358 名で全体の約 37% を占めている。この分野は応急処置として看護師が主に対応している分野である。内分泌・代謝系 67 名は健康支援総合センターの医師が内分泌、糖尿病の専門医であることからこの分野については外部の医療機関に任せることなく健康支援総合センター医師が継続的に学生との相談を行っているからである。この分野は前年度と比較して大幅に利用数が減少したが同一人の定期的な受診の回数を減らして自己管理に任せるという試行を行ったことによる。その成果は平成 24 年度の関連学会に発表の予定である。

風邪や外傷という応急処置ではない利用者が約 7 割を占めていることは本健康支援総合センターの医師やカウンセラーたちが学生の日常の健康相談機関として十分に機能していることを示唆しているものと判断できる。

4.5.4 医療機関紹介の診療科分類

健康支援総合センターから他の医療機関へ紹介した患者の紹介先を診療科毎に分類して月

毎に集計した表を資料番号 12（整理番号 13）に示す。精神科を含めてのべ 193 回の紹介をしている。大学が 35 週開講しているとして 1 日あたり 1 人以上の割で医療機関への紹介を要する学生が健康支援総合センターを訪れたことになる。応急処置までが医療行為として期待されている健康支援総合センターとしては妥当な数であろう。これだけ多数の紹介数があるということは健康支援総合センターが学生にとって良い健康相談機関であることを示しているものと考えられる。

紹介先は全科に及ぶが、外科・整形外科 59 名、皮膚科 30 名が目立つ。これは健康支援総合センターの医師に外科系がないことと、学生にとってちょうど相談しやすい疾患であることの二つの理由からだと考えられる。附属病院医師による健康支援総合センター内での定期的なスポーツ障害・整形外科相談は平成 22 年度の第 11 回の運営委員会で平成 23 年度よりの休止が決定した。健康支援総合センターの近くには、医学部附属病院以外にも優れた整形外科の診療機関が設立されたため、診療に迷ったり、困ったりすることはなくなったことが休止の理由である。

4.5.5 薬剤別処方日数

健康支援総合センターで処方した薬剤の量を投与日数で集計し、資料番号 13（整理番号 16）に示す。合計 1,016 日分を処方した。解熱・鎮痛剤、感冒剤が 7 割弱を占めている。応急処置として処方できるとすればこうなるであろう。含嗽剤の使用は中止した。補液についても経口摂取可能な状態では行わず、経口摂取が不可能な状態では医療機関に転送することとしたので利用はほとんど無くなった。また昨今、向精神薬については厳密な管理使用が法律で規定されており、該当薬品は扱っていない。

4.5.6 常備薬使用数

上記の内容を使用薬剤毎に月毎に集計して資料番号 13（整理番号 17）に示す。錠剤は 1 錠、軟膏等外用薬は 1 本、1 瓶を 1 単位として算定した。総合計 2,753 単位中で感冒薬である PL 顆粒が 1,353 単位と圧倒的に多い。次が解熱鎮痛薬 664 単位、これらは抗生剤と合わせて主に上気道感染症に使用したものである。次いで整腸剤、抗胃炎剤の合計が 381 単位で続く。次いでシップ剤の 53 単位となる。これら 4 種類の合計が 2,658 単位と処方の 9 割を占めている。この事実は応急処置だけを行い継続的な加療を行わない大学内での医療機関としての機能を明確に表している。

また年間 2,753 単位の処方数は学生の応急処置用の医療施設として健康支援総合センターが十分機能していることを表していると考えられる。

基本的には生活指導や肥満教育などの保健指導業務やカウンセラー業務には薬剤は使用されないで、ここに挙げた数字だけでは健康支援総合センターの診療内容の全体を知ることができないが、応急処置を求めて利用する学生の疾患の質と割合が類推できる興味深い統計である。

4.6 健康相談・精神保健相談

4.6.1 健康相談・精神保健相談の対応内容

健康相談をからだの健康相談とこころの健康相談に大きく分けて対応毎に月毎に集計した結果を資料番号 11（整理番号 11）に示す。

この表では精神保健相談は健康支援総合センター内での利用者数（主に荒牧、昭和キャンパス）を示し、精神科医によるものを「准教授カウンセリング」、学外カウンセラーによるものを「カウンセラーカウンセリング」と表した。カウンセラー紹介は学外のカウンセリング施設への紹介をさす。健康支援総合センターでは学校医である産科婦人科医に定期的に完全予約制でレディースクリニックを開催していただいているのでその利用数を示した。数は

少ないが、健康支援総合センターの医師としては専門的判断が困難であり、専門医での治療が必要かどうか迷っている婦人科受診をためらっている女子学生たちにとっては極めて大切な外来となっている。救急転送は6件であった。救急転送の原則は前橋市の救急車での医学部附属病院への搬送であるが、場合によってはタクシーによる輸送を行っている、その際には看護師が添乗することになっている。

4.6.2 精神保健相談者数

健康支援総合センター内で行った精神・心理相談者数を学生の所属キャンパスに分類し、月毎に集計して資料番号12（整理番号14）に示す。精神科医である准教授と2名の学外カウンセラー（10月より開始された太田キャンパスでのカウセリングは桐生工学部に含む）、およびキャンパスごとの業務を合計して集計している。

准教授カウセリングは、総数が赴任前の状況より激増しており、昨年度時点で20年度より約3倍増、平成21年度より約1.8倍増加していた。健診でチェックされたケースをきちんとフォローしている、的確に学生のニーズに応えている、途中で途切れることなく継続している、医療機関に任せきりにしないでセンターでもケアしている、といった点を指摘した。平成23年度は平成22年度とほぼ横ばいで、カウンセラーによる総数は110と微増した。一方で医療機関への紹介は、相変わらず17と減ってはいない。以上より、相談の総数は高止まりで、カウンセラーが抱えていた事例で、医療機関の関与が必要な重度もしくは複雑慢性化したケースが適切に准教授への相談受診につながり、結果として医療機関とスムーズな連携がとれつつあることを示唆している。ただし、現在の人的配置では、これ以上の相談窓口の増加や時間数の拡大は望めないことも付記しておく。

なお、学生支援センターの学生相談・生活部会が毎年2回行う学生の欠席状況調査の結果で、担当教員から精神科医との面談が必要と判断された者に対して准教授が精神保健相談を行っており、本人が来所した事例ではその数を含めている。ただし、実際は数に含まれないものの、学生本人に対する以上に、家族との半壊な電話相談、教員との頻回な面談やメール相談を繰り返していることを指摘しておきたい。それ以外にも教職員との電話やメール相談が少なからずあり、家族からの電話問い合わせや、家族のみとの家族面談も増えている。

4.6.3 精神保健相談内容

相談に訪れた動機を5つのカテゴリーに分類し、月毎に集計して資料番号12（整理番号15）に示した。当然のことながら、総数は355と昨年度と同様である。心体の不調を動機に訪れる者がほとんどであるが、修学上の問題や対人関係を動機とする学生も多い。実際の来談原因内訳は、部活動や学内外の対人関係、進路就職、家族問題、性格の悩みなどが重複し、その内容も多岐にわたる。診断も、うつ病、統合失調症、不安障害、摂食障害と多様で、その多くは適応障害圏と考えられた。

一方で、主訴の基盤として発達障害、もしくは自閉スペクトラム特性を少なからず有している学生が、さまざまな対人コミュニケーションや集団行動、修学上の困難を抱え、2次的な心身不調を呈する事例も多かった。こうした学生のほとんどは、発達障害的個性に関する確定診断を行うには、発育養育家族歴など情報が乏しく、横断的な主訴を通じて特性を推測し、助言や指導を行う以外手立てが少ない。むしろ、教職員や友人など周囲に対するコンサルテーション（構造化や視覚化などのかかわりの工夫）が有用で、実際そうした助言工夫が有用だった事例も多かった。

表示していないが、イーティング・クリニックとして対応した事例は例年数名で、運動部に関連する体重管理の悩み、高校から続く食行動の乱れ、ストレス緩和として機能してしまう食行動異常などが主訴であった。当初イーティング・クリニックを相談窓口としつつ、その後一般的なカウセリングや継続相談、時に受療に至る事例もあった。食行動の悩み（ダイエット、過食、嘔吐など）を契機として、抱えている様々な問題にとりくむ糸口になった

可能性がある。また、5名は医療機関にもつなげており、摂食障害の早期発見・対応に役立つと考えている。この活動については平成24年度の関連学会で結果を発表することになっている。

健康支援総合センターではメンタルヘルスのサポートの案内およびメンタルヘルスの自己管理を目的として、「メンタルヘルス部門」のインターネット・ホームページを開設し、自己チェックプログラム、カウンセリング案内、メンタルヘルス通信などの情報配信を随時行う事業を准教授が平成22年度より開始し継続してことが精神保健利用者数の増大に繋がっている。

また、同様に准教授が平成22年度から、身長体重測定値から病的な感じが疑われる学生（BMI17以下）に対しては健康啓蒙パンフレットを作成し配布するとともに、食と体型に関する問題（ダイエット、過食、嘔吐、やせ薬など）に特化したイーティング・クリニックを開設し、摂食障害関連問題の予防と啓発、早期対応を開始し継続している。このクリニックが有効であることは上述したとおりである。

4.7 カウンセリング状況

4.7.1 学外臨床心理士による心理カウンセリング数

この業務は健康支援総合センターの業務として平成19年度から学内全3キャンパスで開始したものである。利用者数は資料番号14（整理番号19）のとおりである。開設時間は荒牧、昭和キャンパスがそれぞれ週に1日、桐生キャンパスが週に半日を2-3回、太田キャンパスで隔週半日である。

昨年度に比し利用者数や利用回数はほぼ横ばいであった。数ではなく質的に、対応の難しい相談が増えているという臨床心理士からの報告があり、さらなる意識の向上が求められる。特に、ひきこもりで家族にさえもうまく関われない場合、退学してしまい大学とのつながりも切れてしまうケース、当人および家族に問題意識が無く精神保健サービスそのものにアクセスしない場合、などがそれである。

一方で、昭和・荒牧キャンパスでは、カウンセリング業務時間が決められた曜日にしか行われず、授業や実習の都合で受けられない学生がいることが指摘されている。荒牧キャンパスでは准教授カウンセリングがそれを補完しているが、昭和キャンパスから荒牧まで来所するのが難しい場合もあり、昭和キャンパスでのメンタルヘルス対応の充実が今後の課題の一つである。

なお教職員に対するカウンセリングは、緊急的なガイダンスや窓口的対応に限っても年間に約20回あり、准教授対応と合わせると約30回程度になる。他の職員が身近に勤務し、学生が頻りに訪れるような場所で、精神的悩みを抱えた教職員が安心して相談できるとは考えにくい。また投薬検査が十分でない状況では医療事故等の危険もあり、守秘義務や適切な医療提供に鑑みてもデメリットが多い。よって、可能な限り外部の心理相談機関（県労働安全衛生センターなど）や心療内科・精神科等の医療機関で診療を受けるように助言している。今後は大学として教職員のメンタルヘルスへの真摯な取り組み、たとえば適切な外部機関（EPAなど）が必須である。精神疾患での休職数増加や労災、自殺予防の社会的動向を見ても明白である。

4.8 教員による教養教育への参加等教育への参加状況

健康支援総合センターの教員は教養教育の講義を担当している。具体的には例年のように健康学原論の中で前期に教授、准教授がそれぞれ90分の講義を5回行った。

教授は「大学生に必要な保健知識（酒の健康学、たばこへの対応、避妊と性感染症、依存症）」、准教授は「大学生のメンタルヘルスー睡眠・トラウマについて」をテーマに1年生

を対象に講義を行った。1回につき約300名の学生を相手に、1コマで大量かつ複雑な内容を講義する必要から、一方的に知識を伝えるだけの講義となっている。学生も講義中の私語や入退室が極めて多く、基本的な聴講マナーに問題が多いのも事実である。

大学生の保健管理を専門とする健康支援総合センターの教員としては、学生が是非とも身につけて欲しい事項は多々あるが、1年生全員(約1,300名)に一律に教えるとなると時間的にも人的にも余裕の無い健康支援総合センターの教員体制では現在の講義形態とならざるをえない。以後のことはほとんど実現の可能性は無いが、教養教育の中で保健や自己防衛や自己管理や障害者やセクシャルマイノリティーとの共生など社会人として生きていくための基本知識をきちんと伝えるという目的での講義がなされるのが理想であり、その方向で現在の講義形態が改善されるべきである。

また2月27日に学務部主催の第27回クラブ・サークルリーダーシップ研修会において、教授が「急性アルコール中毒を防ぐために」と題して90分間の講演を行った。

その他准教授は、医学部医学科2年生「人の成長と発達－脳と心の発達」(1コマ)、同6年生「実践臨床病態学：児童青年期に食行動異常を呈する心身医学的病態」(1コマ)を行った。また、准教授は放送大学前橋学習センター非常勤講師として、「医療からみた臨床心理」の対面授業を担当した。

4.9 教員による健康管理に関する調査研究業務

教員による健康管理に関する調査研究業務の結果は、論文及び学会発表として公表した。健康支援総合センターの教員の健康管理に関する調査研究は、健康支援総合センター規程の第3条の第5項に「健康に係る調査及び研究に関すること」と規定されているように業務であり、大学の教員が任意にテーマを選んで自由に行う教官研究費や科学研究費や奨学寄付金での研究活動とは異なりその活動は運営経費で賄われるべきものであるが、その額はわずかである。

I：教授分

論文発表：

- 1；肥満学生へ唯一の減量法を繰り返し伝える指導法の効果について
大島喜八，上原 徹，八重樫聡子，小野里清美
CAMPUS HEALTH 48(2): 109-114, 2011

学会発表：

- 1；肥満大学生におけるソフトドリンク摂取量は増加しているか
大島喜八，上原 徹，八重樫聡子，小野里清美
群馬大学健康支援総合センター，同工学部保健室
第49回全国大学保健管理研究集会 2011年11月9-10日 山口

科学研究費による研究：

なし

II：准教授

1. 著書

- 1) Uehara T: Practice and philosophy of psychoeducation: Towards sublation between evidence and narrative. Updates from Angiology, Microcirculation, Psychotherapy. ScienceMED, vol.3, n.1 (Proceeding of the 6th World Congress of Psychotherapy 2011), p85-90, International Proceedings Division, Medimond s.r.l., Bologna, Italy, 2012

- 2) Uehara T (edt). Psychiatric Disorders- Trends and Developments, In Tech, Croatia, Dec, 2011
- 3) Uehara T, Ishige Y, Suda M.: Dissociative tendency, anger expression, and frontal activation during a verbal fluency task. IN Psychiatric Disorders- Worldwide Advances (Uehara T, edt), p69-84, In Tech, Croatia, Oct, 2011
- 4) 上原 徹：2 ところをセルフチェックする時の留意点ーセルフレイティングスケールの使い方. こころの病気のセルフチェック (樋口輝彦 編), p14-26, 日本評論社, 東京, 2011
- 5) 上原 徹：5. 神経性食欲不振症 (アノレキシア・ネルヴォーザ), II 摂食障害, 7 巻 食事と性 (中山和彦編集), 「脳と心のプライマリーケア (日野原重明, 宮岡等監修)」, p98-110, シナジー社, 東京, 2011
- 6) 上原 徹, 後藤雅博：感情表出；EE(expressed emotion) (分担執筆). 精神科臨床評価検査法マニュアル改訂版. 臨床精神医学39巻増刊号, p104-113, アークメディア, 東京, 2011

2. 論文

- 1) Suda M, Narita K, Takei Y, Suda M, Aoyama Y, Takahashi K, Yuki N, Uehara T, Fukuda F, Mikuni M: Changes in Grey Matter Volume with Rapid Body Weight Changes in Anorexia Nervosa: A Voxel-Based Morphometric Study. *Biol Psychiatry*, 70(8): e35-e36 doi:10.1016.2011
- 2) Narita K, Fujihara K, Takei Y, Suda M, Aoyama Y, Uehara T, Majima T, Kosaka H, Amanuma M, Fukuda M, Mikuni M: Associations among parenting experiences during childhood and adolescence, hypothalamus-pituitary-adrenal axis hypoactivity, and hippocampal gray matter volume reduction in young adults. *Human Brain Mapping*, (in press)
- 3) Sato T, Fukuda M, Kameyama M, Suda M, Uehara T, Mikuni M: Differential relationships between personality and brain function in monetary and goal-oriented subjective motivation: multichannel near-infrared spectroscopy study of healthy subjects. *Psychiatry Clin Neurosc*, 66,276-284,2012
- 4) UeharaT, Ishige Y, Suda M, Sachdev P: Gender differences in frontal activation while perceiving pathologically thin female body forms. *Journal of Behavioral and Brain Science*, 1(3), 102-110, 2011
- 5) Uehara T, Takeuchi K, Roberts RE: A new proposed factor structure: reliability and validity of the diagnostic and statistical manual for mental disorders scale for depression. *Journal of Psychiatry Psychology, and Mental health*, 3; issue 1, open access, 2011
- 6) Uehara T, Takeuchi K, Kubota F, Oshima K, Ishikawa O: Screening features associated with depression in first-year university students. *Psychiatry Research Journal*, 1; issue 4, 325-334, 2011
- 7) 上原 徹：スポーツと摂食障害, 特集・スポーツと精神医学, 臨床精神医学, 40, 1179-1185, 2011
- 8) 上原 徹：摂食障害：near infrared spectroscopy(NIRS) による脳機能評価と臨床への応用.(第51回日本児童青年精神医学会教育講演). 児童青年精神医学とその近接領域. 52, 264-268, 2011
- 9) 上原 徹：大学での現状と試みー大学保健管理の現場から. 発達障害への群馬での取り組み (第51回日本児童青年精神医学会ワークショップ4). 児童青年精神医学とその近接領域. 52, WS4 - 2, 536-539, 2011

- 10) 上原 徹, 石毛陽子: 大学生における双極性気分変調に関する報告: 自記式スクリーニングを用いた検討. 精神医学, 53, 647-654, 2011
- 11) 上原 徹, 大島喜八, 石川 治: 大学生における双極性気分変調に関する報告: 第一報. Campus Health, 48, 180-185, 2011

3. 学会発表

- 1) 上原 徹, 石毛陽子, 須田真史, Sachdev P: 病的やせ女性身体像を認識中における前頭葉賦活の性差. 第33回日本生物学的精神医学会総会, 東京, 5月20-21日, 2011
- 2) Uehara T, Ishige Y, Suda M: Dissociative tendency, anger expression, and frontal activation during a verbal fluency task. 14th International Congress of European Society for Child and Adolescent Psychiatry, Helsinki, Finland, 11-15 June, 2011
- 3) Uehara T: Practice and philosophy of psychoeducation: Towards sublation between evidence and narrative. The 6th World Congress for Psychotherapy (WCP2011), Sydney, Australia, 24-28 August, 2011
- 4) 上原 徹: 指定発言「摂食障害と衝動制御」, シンポジウム「摂食障害患者の万引きをめぐって」. 第107回日本精神神経学会, 東京, 10月27-28日, 2011
- 5) Uehara T, Ishige Y, Suda M, Sachdev P: Gender differences in frontal activation while perceiving pathologically thin female body forms. 2011 World Psychiatric Association Regional Meeting, Asian Mental Health-Current and Future Perspective, Nov 3-5, Kaohsiung, Taiwan, 2011

4. その他メディア等

- (1) 上原 徹: 摂食障害の脳病態研究. 20委-2 摂食障害の疫学, 病態と診断, 治療法, 転帰と予後に関する総合的研究. 厚生労働省精神・神経疾患研究開発費, 平成20-22年度総括・分担研究報告書, p21-22, 2011
- (2) 上原 徹: 書評「治療者のための女性のうつ病ガイドブック」上島国利監修, 平島奈津子編著. 家族療法研究, 28,84-85,2011

5. 研究会・学会などでの活動

Eating Disorder Research Society (certified member)

スポーツ精神医学会評議員

精神科診断学会評議員

日本摂食障害学会評議員

心理教育家族教室ネットワーク運営委員

群馬精神医学会世話人

北関東甲信越メンタルヘルス協議会世話人

厚生労働省精神神経疾患研究開発費 切池班 分担研究者

日本精神神経学会専門医制度委員会 面接試験委員

群馬県社会福祉審議会児童部会臨時委員

4.10 健康支援総合センター所属教職員等

健康支援総合センター所属の教職員および学校医を資料番号17に示す。平成23年度はこれらのスタッフで業務を行った。カウンセラーは学内のカウンセラーとして学外の臨床心理士が不在時の精神科救急にも対応していただいている。精神科医は学生の定期健康診断時の新入生および在学生のメンタルヘルススクリーニングをしていただいている。また付属病院精神神経科学教室には夜間および週末の学生の精神科救急に対応していただいている。

4.11 健康支援総合センター主催の委員会等

下記の会議を主催した。

- 1) 第 12 回 健康支援総合センター運営委員会
資料番号 18 に議題を示す。
運営委員会の議題については平成 19 年度より健康支援総合センターから審議希望事項を各学部呼びかけて募っている。
- 2) 第 13 回 健康支援総合センター運営委員会
資料番号 19 に議題を示す。
この委員会で決定された健康支援総合センターの業務内容が 24 年度の業務として実施される。
- 3) 平成 23 年度 (第 14 回) メンタルヘルス研究会 (2 月)
「精神科はどんなところ？」をテーマに群馬県立精神医療センター副院長の赤田卓志朗先生を招いて荒牧キャンパスのミューズホールで講演会を行った。学内外から、およそ 70 名を超える参加者をいただいた。別途講演録 CD を作成し、後日配布した。
- 4) 群馬県内大学等保健管理担当者会議 (9 月, 2 月)
群馬県内の大学, 高専の保健管理担当実務者及び事務担当者の出席により開催した。
第 6 回群馬県内大学等保健管理担当者会議
9 月 16 日に荒牧キャンパスで開催 16 校 17 名が参加した。
全国大学等保健管理研究集会等各種研究会の報告
情報交換: 入学時の健康情報の取り扱い, 健康診断の事後処理について
講演
上原准教授: ト라우マについて
大島教授: 応急処置 (救急蘇生術, 熱中症など) について
第 7 回群馬県内大学等保健管理担当者会議
2 月 17 日に荒牧キャンパスで開催し, 17 校 20 名が参加した。

4.12 平成 23 年度健康支援総合センター運営委員会委員

平成 23 年度の健康支援総合センター運営委員会の委員名を資料番号 21 に示す。

4.13 健康支援総合センターの全国委員会等出席

下記の委員会等に健康支援総合センターの教職員が出席した。学内には同様の機能と責任を有する教職員が存在しない健康支援総合センターの教職員にとっては、下記のそれぞれの会への出席は、組織の機能の維持、発展を図るための研修、情報交換として必須である。

- 1) 第 49 回 全国大学保健管理研究集会
教授, 准教授, 看護師が出席, 発表 開催地: 下関 11 月 9 ~ 10 日
- 2) 平成 23 年度 国立大学法人保健管理施設協議会総会
教授がセンター長の代理で出席 開催地: 下関 11 月 11 日
- 3) 第 49 回 全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会
教授, 看護師が出席 開催地: 東京 8 月 4 日から 5 日
- 4) 平成 23 年度全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会
保健・看護分科会運営委員会
看護師 3 回出席 7 月 22 日: 東京, 8 月 4 日: 東京, 1 月 22 日: 東京
- 5) 平成 23 年度全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会 幹事会
教授が出席 8 月 4 日: 東京

- 6) 平成 23 年度メンタルヘルス研究協議会北関東甲信越支部世話人会に、(当番校：宇都宮大学) 准教授が参加(宇都宮, 6月)。報告書を共同執筆した(上原 徹:分科会「震災をめぐって」, 平成 23 年度メンタルヘルス研究協議会報告書, 日本学生支援機構, p52-53, 2012)

4.14 学内諸会議への教職員の出席

教職員は下記の学内会議へ出席した。

- 1) 学生支援センター学生相談・生活部会
教授が委員として出席した。
- 2) 大学教育・学生支援機構連絡会議
教授が委員として出席した。
- 3) 荒牧事業場安全衛生委員会
産業医を併任している教授が毎月 1 回出席した。
- 4) 発達障害学生への支援, 学生支援センター FD
准教授が 12 月 27 日, 荒牧キャンパス, に参加発表した。

4.15 学内行事実施に伴う救護業務

下記の学内行事に教職員が救護活動を行った。

- 1) 教育学部体育大会
- 2) 社会情報学部スポーツ大会
- 3) 群馬大学オープンキャンパス
- 4) 教育学部, 社会情報学部推薦入学試験
- 5) 関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験
- 6) 日本語留学試験
- 7) 大学入試センター試験
- 8) 個別学力検査(前期, 後期)
- 9) 学位記授与式

4.16 出版・広報活動

平成 23 年度は下記の出版, 広報活動を行った。

- 1) 「健康ミニガイド(2011 年度ぐんま版) よりよいキャンパスライフを送るために」を発行した。
先に示した群馬県内大学等保健管理担当者会議が編集した大学生の保健必須事項をまとめて冊子にしたもので新生全員に(1300 部) 配布した。
- 2) 「群馬大学大学教育・学生支援機構 報告書 健康支援総合センター」の平成 22 年度
の原稿を作成して提出した。
- 3) 学生全員に健康支援総合センター案内と自己管理用の携帯用カードを作成し配布した。
- 4) メンタルヘルス自己管理向上およびストレス対処を目的として認知行動療法 DVD「わたしらしさよ, こんにちは」および「自律訓練法 自習用 DVD および CD」をキャンパスに複数配備してレンタル用のポータブル DVD 視聴機とともに貸し出せるようにした。

4.17 社会貢献活動

健康支援総合センターの教員は専門性を生かして下記の社会貢献活動を行った。

准教授

1. 講演など

- 1) 上原 徹：医療や脳科学からみた発達障害－問題意識の共有と協働に向けて．群馬県特別支援教育総合推進事業講演会．渡良瀬養護学校，8月8日，2011
- 2) 上原 徹：心的外傷・PTSDの理解 第6回群馬県内大学等保健管理担当者会議 9月16日，前橋，2011
- 3) 上原 徹：分科会4「震災関連」，北関東甲信越メンタルヘルス研究協議会，9月27-28日，宇都宮，2011
- 4) 上原 徹：精神医学特別講義．日本エステティック協会ソシオエステシオン養成講座，10月15日，東京，2011

2. 外部委員やコンサルテーション，嘱託医

- 1) 群馬県教育委員会管理監督者スーパーバイザー（メンタルヘルス）
- 2) 県立ぐんま学園嘱託医師（児童青年精神医学）
- 3) 国立のぞみの園診療所非常勤医師（児童青年精神医学）
- 4) 県立小児医療センター非常勤医師（小児精神科）
- 5) 群馬県保護課 生活保護医療審査会（嘱託医）
- 6) 群馬県社会福祉審議会児童部会臨時委員
- 7) 放送大学非常勤講師（前橋学習センター 面接授業担当）
- 8) 前橋家庭裁判所委員会委員

4.18 その他の活動

- 1) 荒牧事業場の事務局の職場巡視
産業医を併任している教授が原則的に月に1回（年に10回）行った。
- 2) 若宮事業場安全衛生委員会への出席
産業医を併任している教授が出席した。
- 3) 新規採用教員メンタルヘルス研修講師（准教授），人事労務，4月19日，2010
- 4) 平成22年度群馬大学安全衛生講習会 「職場におけるメンタルヘルスについて」
10月15日，18日，11月10日，各事業所，2010（准教授）

4.19 キャンパス・ソーシャルケースワーカーの活動

キャンパス・ソーシャルケースワーカーは平成22年6月から桐生キャンパスに配置し，欠席調査で検出されるなどで担当教員からの連絡が付かない状態の学生，休学中の学生など大学との関係が取れていない学生を担当の教員に結びつける作業を行った。対象学生は担当教員および担当カウンセラーから依頼のあった者とした。初年度で6月からの隔週半日の活動ではあったが14名の学生への対応の要求が出された。結果は依頼教員の評価では5名の学生については成果があったとの評価を受け3名については成果が無かった他は改善したが効果は不十分との評価であった。事業の開始初年度なので教員への周知が十分にされず利用件数は多くはなかった。しかし配置前であれば，休学から退学へと大学が関与せずに経緯するおそれのある学生を何人かは担当教員との連絡に結び付けられたことは大きな成果である。優秀な学生を社会に送り出すことが大学の使命であるが，また一方では試験をして選抜して大学が入学させた学生については可能な限り卒業させるという大学の義務から本事業は

大学としては無くてはならないものと考えられる。幸いにも依頼した教員からも良好な評価を得ているので現在の体制での強化、継続で良いと考えている。

4.20 健康維持・向上相談員の活動

本事業は平成 23 年の 10 月から開始された。本学の 3 キャンパスのうちで医療職が配置されていないキャンパスは昭和キャンパスだけであったことから、学生に対する平等な保健サービスを希望するとの医学部からの要望により、第 2 期中期計画が前倒しされる形で昭和キャンパスに週に 19 時間ではあるが毎日正午から午後 4 時まで（金曜日は 3 時まで）看護師が健康維持・向上相談員として配置された事は先に述べた。

初年度の活動状況は配置が学生に広く周知されてはいなかったことから健康相談が少し有っただけであった。しかし、病院の感染制御部が行う医学部学生へのインフルエンザワクチン接種時の医師への補佐や学生へのカウンセラーの誘導や週末に受診できる医療機関の情報提供や休養ベットの効果的な利用について健康維持・向上相談員は効果的に機能した。昭和キャンパスで生活をしている学生にとっては午後の昼休みを利用して様々な医療情報を簡単に確実に得られるという新たな財産を得たことになり今後の利用は確実に増加すると考えている。

健康支援総合センターと健康維持・向上相談員とは電話、電子メール、テレビ電話で常時連絡が取れているので、健康維持・向上相談員が必要な情報は健康支援総合センターの医師や看護師から即座に受け取ることができるようになっている。また昭和キャンパスで必要な医薬品や衛生用品などは以前から、随時健康支援総合センターの看護師を通して充足されるような仕組みになっている。

4.21 健康支援総合センターの抱える問題点と改善の方向性

以上平成 23 年度の健康支援総合センターの業務報告を行った。4 年前の平成 19 年度の報告書の中で解決可能事項として下記の 4 項目を挙げさせていただいた。

- 1) 学生の定期健康診断時の胸部レントゲン撮影経費は健康支援総合センター経費からでなく実費の全額を大学が直接支払う方式とする。
- 2) 工学部・大学院工学研究科キャンパスでの学外臨床心理士による実施時間の増加
- 3) 昭和キャンパスへの医療職の配置
- 4) 外国人留学生の感染性肺結核対策の徹底

問題は解決に向かって動いているので、平成 24 年 11 月の現時点における状況を述べる。

1) については胸部レントゲン検査経費を含めた前年度の実績に応じた健康診断経費が健康支援総合センターの予算として配分されるようになった。よってこの問題は実質的には解決できたと考えている。

2) についてはカウンセラーの時間の拡大はできなかったが、平成 22 年度から隔週に半日ではあるがキャンパス・ソーシャルケースワーカーを配置することができるようになり前進した。

しかし、将来的には桐生キャンパスに常駐するカウンセラー又は精神科医を配置すべきである。日常的に一人のカウンセラーがキャンパス内に居ることになれば自ずと教員や学生にとって取り立てて構えることなくカウンセリングを受けられるようになり、カウンセラーにとってもキャンパス内の生活の詳細が理解できるようになるのでより個別的、特異的なカウンセリングが可能となり、より高い効果が期待できるのである。この配置計画を第二次中期計画としてあげてある。定員としての配置が困難であれば桐生キャンパスに非常勤のカウン

セラールで週に半日5回（カウンセリングが受けられない曜日を無くする）の配置を目指すのが具体的な解決策であろう。

3) については平成23年10月から昭和キャンパスに週に19時間（4時間4日間、3時間が1日）看護師を「健康維持・向上相談員」として配置することができ格段の進歩を遂げた。さらに平成24年7月開催の第14回健康支援総合センター運営委員会において平成25年度以降の配置が決定された。

4) 平成23年度中に、本学に在籍する留学生全員に対して一度は結核に対する感染の有無を検査するクオンティフェロンTB検査を行うことで問題が解決された。クオンティフェロンTB検査は新たに本学に席を得た留学生に対して毎年行うので本問題は全面的に解決された。

さらに今回も、群馬大学における学生の健康管理の改善策を具体化する上での構造的弱点を述べたいと思う。本学の学生の健康管理のための教職員数が絶対的に不足していることは先に述べた。その不足を補っていくための具体策となると健康支援総合センターの努力だけでは限界がある。どうしてもキャンパス毎の教員のコンセンサスが必要となる。なぜなら4つに分かれたキャンパス毎に学生の健康管理の仕組みと学生の需要と利用状況が異なることから教職員の不足状況もキャンパス毎に異なるからである。さらに教員の新たな配置は当該学部内での教員数のやりくりでしか解決がつかないからである。当該学部で教員の増員ができれば非常勤職員を雇うことで補うしかない。その場合でも経費が新たに加わるわけであるから、どうしても学生の健康管理に要する教職員の不足状況と補充策についての当該学部・大学院教員のコンセンサスが必要となる。

そのコンセンサスを形成する際に本学の抱える弱点が阻害要因となる。その弱点とは、各学部が各学部内に発生している学生の健康管理上の問題点を計画的に解決していく組織と制度を持たないということである。各学部の教務委員会や学生支援委員会などが学生に発生する正課、課外活動、日常生活上の様々な問題を所轄することになっており現にそのように機能している。しかし、これらの委員会は学生の当座の問題点を解決するために忙殺されており、学生が問題を抱えることになった要因に対して抜本的な解決策を策定して年次計画を立てるまでには機能してはいない。これら委員会の委員の任期は1～2年と短期であり、担当事務員も同様に担当期間は2年程度と短い、これらのことが抜本的な解決策を策定する際の弱点となる。

以上から学生の健康管理のための専任教員の増員は容易ではない。現に第二次中期計画（資料番号20）に示してある工学部・工学研究科へのメンタルヘルス専門家の常駐化問題は、工学研究科の教員の数を減らしてその分で常駐専門家のポストを作らなければならないので工学部・工学研究科の教員の協力が無ければ解決はおぼつかない。

現況からは工学部の教員数を減らしてメンタルヘルスの専門家を工学部に配置することはほぼ不可能と判断される。

よって、非常勤の職員を配置するしかないが、具体策としては心理カウンセラーの配置時間の増加と非常勤精神科医の配置である。高程度の解決策は半日勤務の精神科医を配置することである。しかし、医師を非常勤で雇用するには大学の規定による経費算定では不足で、大学を非常勤の職場として希望する医師は皆無であろう。しかし、医学部付属病院の精神科医会の積極的な協力が得られれば実現は不可能では無いと考えられる。その際には精神科医会にとってのメリットが大きくなってはならないと思われる。次善の策としては心理カウンセラーの時間の増加であろう。

抜本的な解決策としては健康支援総合センターとは別個にまずは教職員や付属学校の教職員を対象とした大学としての「こころの健康センター（仮称）」を新たに創設してそこに新

たに精神科医や保健師や精神保健福祉士などを置くのである。そして、徐々に教職員数を増やしながら活動範囲を拡大していくのである。この組織は京都大学では実現しており夢物語では無い。また同様の变化は福岡教育大学で行われた。よって、大学の理事以上の理解が得られれば実現不可能では無い。しかし、これは労務人事課の課題であり、ここで論ずるべき事柄では無いであろう。やはり現在は将来を見据えながらカウンセラーの時間の増加を目指すべきと考えられる。

以上本学の学生の健康管理上の問題点と改善の方向性について述べた。

特に平成 21 年度に作成された第二次中期計画には改善策の具体案が明記してある。大学の執行部の先生方には、今回の報告書の中で述べられている第二次中期計画をじっくりとご覧いただき、健康支援総合センターの組織としての実態をまずは正確に認識して頂き、あるべき将来の姿をイメージしていただき、財政的支援を賜りますようによろしくお願いいたします。

4.22 健康支援総合センター資料集

資料番号1の1

平成23年度 業務

1. 健康支援総合センターの主体業務

| 月 | 業 務 | 対 象 | 内 容 | |
|----------------|---------------------------------|--|---|--------------------------------|
| 通年 | 応急処置 | 突然発症の傷病 学生・教職員 | 医師・看護師による応急処置 | |
| | 健康相談（身体的及び精神・心理的相談） | 有症状の学生・教職員及び要継続管理の学生の一部 | センター職員による治療・検査・保健指導・カウンセリング・医療機関紹介 | |
| | 生活習慣病対策指導 | 肥満学生 | センター教授による、採血検査・血糖検査・医療機関紹介による臨床検査・定期的保健指導 | |
| | カウンセリング | 有症状の学生・教職員及び要継続管理の学生の一部 | 学外委嘱臨床心理士によるカウンセリング、医療機関紹介 ※桐生地区は半日週3回 荒牧、昭和地区は各週1日 ※太田地区は半日(15時～18時)週1回 | |
| | | 昭和キャンパス所属の有症状の学生・教職員及び要継続管理の学生の一部 | 医学科各2名の教員によるカウンセリング、医療機関紹介 | |
| | ※指導に低反応である学生を担当する教員への助言・相談 | 桐生キャンパス内の助言・相談希望教員 | センター精神科医によるメンタルヘルスに関する個別的助言・相談希望者の有る時に1カ月に1回を限度に桐生キャンパス内で実施 | |
| | ※ホームページによりメンタルヘルス情報の配信 | 全教職員 | センターの精神科医を中心に、大学におけるメンタルヘルスに関する啓蒙的記事を1カ月に1回程度更新 | |
| | ◎整形外科・スポーツ障害相談 レディースクリニック | 有症学生 有症女子学生 | 月1回程度 専門の学校医による | |
| 4月 | 新入生オリエンテーション | 全学部の入学生 | 健康支援総合センターの案内 学外カウンセラーの紹介 | |
| | 健康調査 | 入学生および編入生 | 健康状態記録票による調査 | |
| | 学生の定期健康診断 | 教育学部、社会情報学部 医学部、工学部1年 | 既往歴、メンタルヘルスアンケート調査、身体計測、血圧測定、検尿、内科診察、胸部X線間接撮影「健康白書2010」作製用データ処理 | |
| | 2年生以上学生へのメンタルヘルススクリーニング（アンケートで） | アンケートにより抽出された在學生 | 医師による面談・カウンセリング、医療機関への紹介 | |
| | 4月～2月 | ※※B型肝炎ワクチン接種 | 医学部1学年生のウイルス抗体陰性者 | 3回は全員に接種、3回接種後の陰性者に4回目の接種を行い終了 |
| | 4月～10月 | 学生の定期健康診断 二次検診 | 要再検者 | 血圧測定、学生検尿、心電図、医療機関紹介、未受検者への連絡 |
| | 5月 | 新入生メンタルヘルススクリーニング | 健康状態記録表により抽出した入学生及び編入生 | 医師による面談・カウンセリング、医療機関紹介 |
| 10月 | 外国人留学生の特別健康診断 | 4月から活動を開始したり指名した外国人留学生 | 3キャンパスで採血し、クオンティフェロンTB検査を行う | |
| 8月 ～ 2月 | 群馬県内大学等保健管理担当者会議 | 群馬県内の大学、高専の保健管理担当者 | 大学等における保健管理の主に事務上の問題解決に向けての研修、情報交換、事業を目的に年に2回の会議を開催 | |
| 11月 ～ 2月 | メンタルヘルス研究会 | 学内カウンセラー、厚生補導関係教職員、県内大学等の厚生補導関係教職員、メンタルヘルス担当関係者、学生 | 学外専門講師による講演と県内関係者連携会議 | |

※ 平成21年10月より実施 ※※ 平成18年度より実施

2. 刊行事業

健康支援総合センターの案内原稿作成，新入生用健康管理用リーフレット作成
 新入生用「健康ミニガイド」作成，メンタルヘルス研究会報告書作成，群馬大学大学教育・学生支援機構報告書に執筆

3. 諸会議

| 月 | 名 称 | 回数 | 主 な 議 題・備 考 |
|----------|---------------------------------|----|--|
| 4 月 } | 健康支援総合センター運営委員会 (必要に応じて開催する) | 随時 | 年度業務計画案等 学生定期健康診断日程表作成等 学生定期健康診断受検状況報告等 次年度学生定期健康診断日程等 概算要求関係・学内要求事項等 中期計画案・報告等 |
| 3 月 | | | 学生支援センター学生相談・生活部会 |
| | 大学教育・学生支援機構連絡会議 | 適時 | センター長・副センター長が出席 |

4. 講義

「健康学原論」教養教育学生を対象にセンター医による講義（健康管理学）
 90分間の講義を合計10回程度行っている。

5. 健康情報の発信

感染症，中毒など緊急の保健情報を全学に周知掲示する。

6. 研究集会等

| 名 称 | 回 数 | 出 席 者 |
|----------------------------------|-----|----------|
| 全国大学保健管理研究集会 | 年1回 | 教員・看護師 |
| 全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会 | 年1回 | 教員・看護師 |
| 北関東・甲信越地区メンタルヘルス研究協議会 | 年1回 | 教員・看護師 |
| フィジカル・ヘルス・フォーラム | 年1回 | 教員（内科医） |
| 国立大学法人保健管理施設協議会総会 | 年1回 | センター長 |
| 全国大学保健管理協会総会 | 年1回 | 教員 |
| 全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会保健看護分化学会運営委員会 | 年3回 | 看護師 |
| 北関東甲信越地区メンタルヘルス研究協議会運営委員会 | 年3回 | 教員（精神科医） |
| 全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会 | 年1回 | 教員・看護師 |
| 全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会幹事会 | 年2回 | 教員 |
| 全国大学保健管理協会評議員会 | 年1回 | 教員 |

7. 学内行事等に伴う協力事業

| 月 | 行 事 | 対 象 | 内 容 |
|------------|------------------------------|---------------------------------------|---|
| 4月 | (入学式) | 学生・教職員・保護者等 | 救護 |
| | 群馬大学新任教員説明会 | 新任教員 | 学生へのメンタルヘルス対応法講話 |
| 5月 | 関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験 | 受験者 | 救護 |
| 7月 | 教育学部体育大会 | 教育学部の学生及び教職員 | 救護 |
| | 社会情報学部編入学試験 | 受験者 | 救護 |
| 8月 | 大学説明会 | 参加高校生 | 救護 |
| 10月 () | 新規採用職員研修 | 新規採用職員 | 健康管理講話／メンタルヘルス講義 |
| | 教職員の定期健康診断 | 荒牧地区(事務局・図書館・教育学部・社会情報学部) 放送大学 | 身体計測. 血圧測定. 検尿 血液検査. 心電図. 内科診察 胸部X線間接撮影. 便潜血 喀痰等検査時の器材および会場の提供 |
| | 社会情報学部スポーツ大会 (生涯生活設計セミナー) | 社会情報学部の学生・教職員 45歳以上の職員及び特に参加を希望する者 | 救護 講演 (健康管理プラン) |
| 11月 | 推薦入学試験(教育・社会情報学部) | 受験生 | 救護 |
| | (定年等退職予定者説明会) | 定年等退職予定者 | 保健講話 (健康管理) |
| 12月 | 大学入試センター試験 | 受験生 | 救護 |
| 1月 () | 身体に障害を有する入学志願者との事前相談 | 該当受験希望者 | 受験可否の判断 |
| | 個別学力検査(前期・後期) | (教育・社会情報)学部受験生 | 救護 |
| 3月 | 学位授与式 | 卒業生. 教職員. 保護者等 | 救護 |

() は必ずしも例年とは限らない。

8. 産業医業務 (教授が荒牧事業場の産業医を兼ねている)

| 内 容 | 回 数 | 業 務 内 容 |
|----------------|------|--------------|
| 職場巡視 | 毎月1回 | 職場巡視と巡視記録の作成 |
| 荒牧事業場安全衛生委員会出席 | 毎月1回 | 産業医としての提言 |
| 若宮事業場安全衛生委員会出席 | 毎年1回 | 産業医としての提言 |
| 上沖事業場安全衛生委員会出席 | 毎年1回 | 産業医としての提言 |

9. 学内教育・広報活動等の協力業務等

寄稿：学内情報誌等の依頼により健康支援総合センターより全学生，教職員向けに活動状況および健康管理情報を掲載

講演：上記7. 以外に各学部より依頼の教員および学生向けのメンタルヘルス対応や健康管理に関する講話

10. 地域貢献事業

地域の各種団体の依頼により，教員が講演会等の講師や健康管理業務に参画する。

整理番号 1

平成 23 年度 前橋地区学生定期健康診断日程表

| 受付時間 実施日 | 午 前 | | 午 後 | | 対象数(概数) |
|--------------|--|------------------------------|---|---------------------------------------|----------------------------------|
| | 9:00 ～ 10:15 (75分) | 10:15 ～ 11:30 (75分) | 13:00 ～ 14:15 (75分) | 14:15 ～ 16:00 (105分) | |
| 4. 1 (金) | 医学部 (医学科・保健学科) 2年 | | 医学部 (医学科・保健学科) 3年 | | 午前400人 午後400人 |
| | 医学部 医学科 5年 | | | | 合計800人 |
| | 大学院 医学系 2～4年 | | | | |
| 4. 4 (月) | 医学部 (医学科・保健学科) 4年 | | 社会情報学部 2年 | 社会情報学部3年 | 午前435人 午後350人 |
| | 医学部 医学科 6年 | | | | 合計785人 |
| | 大学院 医学系 2～4年 | | | | |
| 4. 6 (水) | 社会情報学部 4年 | | | | 午前295人 午後335人 合計 630人+α |
| | 教育学部 1年 | | 特別支援教育特別専攻科 大学院 教育学 1～2年 | | |
| | | | 社会情報学部 1年 | | |
| | | | 社会情報学部 3年次編入生 | | |
| | | | 大学院 社会情報学 1～2年 | | |
| | 予 備 日 | | | | |
| 4. 7 (木) | 1年 ワクチン接種用採血あり | | 医学部 保健学科 1年 (検査・理学・作業) ワクチン接種用採血あり | 医学部 保健学科 1年 (看護) ワクチン接種用採血あり | 午前135人 午後310人 |
| | 医学部医学科 2年次編入生 医学部保健学科 3年次編入生 ワクチン接種用採血あり | | | | 合計 445人+α |
| | 予 備 日 | | | | |
| 4. 8 (金) | 工 学 部 1 年 | | | | 午前280人 午後250人 合計530人 |
| | 機械システム | 生産システム | 社会環境デザイン | 電気電子 | |
| | 情報工学 | 環境プロセス | | | |
| | 応用化学・生物化学 | | | | |
| 4. 11 (月) | 教育学部 2年 | | 教育学部 3年 | | 午前355人 午後350人 |
| | 教 育 学 部 4 年 | | | | 合計705人 |
| | (国語・社会 ・英語) | (数学・理科 ・技術) | (音楽・美術 ・保健体育) | (家政・教育・教育 心理・障害児教育) | |

- 1) 健康診断項目：既往歴、身体計測、血圧測定、検尿、胸部X線撮影、内科診察、アンケート。
- 2) 健康診断会場：健康支援総合センター
- 3) 健康診断を受けないと健康診断書の発行はできません。

整理番号2

平成23年度 桐生・太田地区学生定期健康診断日程表

| 場所 | 項目 | 検査日 | 時間 | 対象 | 対象数(概数) 2,840人 | |
|-----------------|----------------------------|-------------|---------------------------|-------------------|-------------------|------|
| 桐生 キャン パス | 胸部 X線 撮影 及び 検尿 | 4/12 (火) | 13:00~17:30 | 4年生・大学院生 夜間主学生 | 760人 | |
| | | 4/13 (水) | 9:00~11:30 13:00~16:00 | 3年生 大学院生 | 870人 | |
| | | 4/14 (木) | 9:00~11:30 13:00~16:00 | 3年生 2年生 | 850人 | |
| | 内科診察 及び 計測 | 4/19 (火) | 13:00~17:00 | 3年生・4年生 | 640人 | |
| | | 4/20 (水) | 13:00~17:00 | 大学院生・夜間主学生 | 630人 | |
| | | 4/21 (木) | 13:00~17:00 | 2年生・大学院生 | 610人 | |
| | | 4/22 (金) | 13:00~17:00 | 2年生・3年生 | 600人 | |
| | 太田 キャン パス | 全 項 目 | 5/10 (火) | 18:15~19:30 | 夜間主学生 | 130人 |
| | | | 5/11 (水) | 10:10~12:00 | 昼間学生・大学院生 | 230人 |

- ・クラスごとの実施割振りは、平成23年度前期授業時間割表により決定する。
- ・授業の空き時間を活用し、全ての実施時間が授業と重なった場合は休講措置とする。

1) 健康診断項目

4月12~14日 胸部X線撮影・検尿・アンケート

4月19~22日 既往歴・身体計測・血圧測定・内科診察

5月10・11日 既往歴・身体計測・血圧測定・内科診察・胸部X線撮影・検尿・アンケート

2) 健康診断会場

4月 桐生キャンパス体育館及び7号館

5月 太田キャンパス教室

整理番号3

平成23年度 学生定期健康診断受検状況（荒牧・昭和地区）

| | 対象者数 | 血圧測定・尿検査・内科診察 | | 胸部X線撮影 | |
|-----------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| | | 受検者数 | 受検率 | 受検者数 | 受検率 |
| 学部合計 | 3,237 | 3,052 | 94.3% | 3,052 | 94.3% |
| 大学院等の合計 | 593 | 197 | 33.2% | 192 | 32.4% |
| 合計 | 3,830 | 3,249 | 84.8% | 3,244 | 84.7% |

対象者数は平成23年4月1日現在の学生数とし休学者は除いた。

受検率は小数点第二位を四捨五入

上記の他に、教育学部特別聴講生7名、社会情報学部研究生1名・特別聴講生5名、医学部研究生2名、

<学部学生>

| | 対象者数 | 血圧測定・尿検査・内科診察 | | 胸部X線撮影 | | | |
|-------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | | 受検者数 | 受検率 | 受検者数 | 受検率 | | |
| 教育学部 | 1年 | 233 | 232 | 99.6% | 232 | 99.6% | |
| | 2年 | 222 | 207 | 93.2% | 207 | 93.2% | |
| | 3年 | 225 | 223 | 99.1% | 223 | 99.1% | |
| | 4年 | 236 | 224 | 94.9% | 224 | 94.9% | |
| | 合計 | 916 | 886 | 96.7% | 886 | 96.7% | |
| 社会情報学部 | 1年 | 106 | 105 | 99.1% | 105 | 99.1% | |
| | 2年 | 100 | 91 | 91.0% | 91 | 91.0% | |
| | 3年 | 131 | 119 | 90.8% | 119 | 90.8% | |
| | 4年 | 131 | 108 | 82.4% | 108 | 82.4% | |
| | 合計 | 468 | 423 | 90.4% | 423 | 90.4% | |
| 医学部 | 医学科 | 1年 | 109 | 107 | 98.2% | 107 | 98.2% |
| | | 2年 | 119 | 115 | 96.6% | 115 | 96.6% |
| | | 3年 | 119 | 96 | 80.7% | 96 | 80.7% |
| | | 4年 | 94 | 71 | 75.5% | 71 | 75.5% |
| | | 5年 | 96 | 81 | 84.4% | 81 | 84.4% |
| | | 6年 | 104 | 96 | 92.3% | 96 | 92.3% |
| | | 合計 | 641 | 566 | 88.3% | 566 | 88.3% |
| | 保健学科 | 1年 | 164 | 163 | 99.4% | 163 | 99.4% |
| | | 2年 | 169 | 161 | 95.3% | 161 | 95.3% |
| | | 3年 | 174 | 166 | 95.4% | 166 | 95.4% |
| | | 4年 | 183 | 176 | 96.2% | 176 | 96.2% |
| | | 合計 | 690 | 666 | 96.5% | 666 | 96.5% |
| | | 合計 | 1,331 | 1,232 | 92.6% | 1,232 | 92.6% |
| 工学部 | 1年 | 522 | 511 | 97.9% | 511 | 97.9% | |
| 学部合計 | 3,237 | 3,052 | 94.3% | 3,052 | 94.3% | | |

<大学院学生>

| | 対象者数 | 血圧測定・尿検査・内科診察 | | 胸部X線撮影 | | | | |
|----------------|-----------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------|
| | | 受検者数 | 受検率 | 受検者数 | 受検率 | | | |
| 教育学研究科 | 修士課程 | 1年 | 23 | 23 | 100.0% | 23 | 100.0% | |
| | | 2年 | 25 | 18 | 72.0% | 18 | 72.0% | |
| | 専門職学位課程 | 1年 | 17 | 17 | 100.0% | 16 | 94.1% | |
| | | 2年 | 16 | 3 | 18.8% | 3 | 18.8% | |
| | 教育学部特別支援教育特別専攻科 | 10 | 10 | 100.0% | 9 | 90.0% | | |
| 合計 | 91 | 71 | 78.0% | 69 | 75.8% | | | |
| 社会情報学研究科 | 修士課程 | 1年 | 14 | 11 | 78.6% | 10 | 71.4% | |
| | | 2年 | 15 | 8 | 53.3% | 8 | 53.3% | |
| | 合計 | 29 | 19 | 65.5% | 18 | 62.1% | | |
| 医学研究科 | 医科学専攻 | 修士課程 | 1年 | 6 | 6 | 100.0% | 6 | 100.0% |
| | | | 2年 | 16 | 7 | 43.8% | 7 | 43.8% |
| | | 博士課程 | 1年 | 43 | 21 | 48.8% | 19 | 44.2% |
| | | | 2年 | 57 | 8 | 14.0% | 8 | 14.0% |
| | | | 3年 | 51 | 8 | 15.7% | 8 | 15.7% |
| | | | 4年 | 121 | 6 | 5.0% | 6 | 5.0% |
| | 合計 | 294 | 56 | 19.0% | 54 | 18.4% | | |
| | 保健学専攻 | 博士前期課程 | 1年 | 39 | 16 | 41.0% | 16 | 41.0% |
| | | | 2年 | 66 | 28 | 42.4% | 28 | 42.4% |
| | | 博士後期課程 | 1年 | 10 | 3 | 30.0% | 3 | 30.0% |
| | | | 2年 | 16 | 1 | 6.3% | 1 | 6.3% |
| | | | 3年 | 48 | 3 | 6.3% | 3 | 6.3% |
| | | 合計 | 179 | 51 | 28.5% | 51 | 28.5% | |
| 合計 | | 473 | 107 | 22.6% | 105 | 22.2% | | |
| 大学院等の合計 | 593 | 197 | 33.2% | 192 | 32.4% | | | |

整理番号 4

平成23年度 学生定期健康診断受検状況(桐生・太田地区)

| 区 分 | | | 対象者数 | 内科診察・計測 | | 胸部X線撮影・検尿 | | |
|-----------------------|-------------|-----|----------|--------------|------------|------------|------------|------------|
| | | | | 受検者数 | 受検率(%) | 受検者数 | 受検率(%) | |
| 工 学 部 | 昼 間 | 2年 | 552 | 498 | 90.2 | 507 | 91.8 | |
| | | 3年 | 613 | 514 | 83.8 | 523 | 85.3 | |
| | | 4年 | 561 | 526 | 93.8 | 532 | 94.8 | |
| | | 昼間計 | 1,726 | 1,538 | 89.1 | 1,562 | 90.5 | |
| | 夜 間 主 | 1年 | 32 | 25 | 78.1 | 25 | 78.1 | |
| | | 2年 | 32 | 24 | 75.0 | 24 | 75.0 | |
| | | 3年 | 33 | 18 | 54.5 | 19 | 57.6 | |
| | | 4年 | 44 | 20 | 45.5 | 22 | 50.0 | |
| | | 夜間計 | 141 | 87 | 61.7 | 90 | 63.8 | |
| | 学部計 | | 1,867 | 1,625 | 87.0 | 1,652 | 88.5 | |
| 工 学 研 究 科 | 修 士 | 1年 | 365 | 352 | 96.4 | 354 | 97.0 | |
| | | 2年 | 394 | 366 | 92.9 | 372 | 94.4 | |
| | | 修士計 | 759 | 718 | 94.6 | 726 | 95.7 | |
| | 博 士 | 1年 | 30(15) | 12 | 40.0(80.0) | 12 | 40.0(80.0) | |
| | | 2年 | 31(23) | 17 | 54.8(73.9) | 17 | 54.8(73.9) | |
| | | 3年 | 46(22) | 17 | 37.0(77.3) | 17 | 37.0(77.3) | |
| | | 博士計 | 107(60) | 46 | 43.0(76.7) | 46 | 43.0(76.7) | |
| | 研究科計 | | 866(819) | 764 | 88.2(93.3) | 772 | 89.1(94.3) | |
| | 合 計 | | | 2,733(2,686) | 2,389 | 87.4(88.9) | 2,424 | 88.7(90.2) |

※対象者数は、4月1日現在の学生数(休学者を除く)

受検率は、小数点第二位を四捨五入

()内は、社会人を除いた学生数及び受検率

整理番号5

平成23年度 学生定期健康診断における疾患別要観察者
(継続観察者を含む)

| | | 要 管 理 者 | | | 疾患別 合 計 |
|------------|----------|------------|------------|--------------|--------------|
| | | 男 | 女 | 合 計 | |
| 循環器疾患 | 高血圧 | 3 | 2 | 5 | 50 |
| | 高血圧疑い | 2 | 0 | 2 | |
| | 低血圧 | 1 | 24 | 25 | |
| | 先天性心疾患 | 3 | 1 | 4 | |
| | WPW | 1 | 3 | 4 | |
| | 心電図異常 | 2 | 2 | 4 | |
| | その他 | 3 | 3 | 6 | |
| 呼吸器疾患 | 気管支喘息 | 8 | 14 | 22 | 22 |
| 消化器疾患 | | 2 | 3 | 5 | 5 |
| 腎・泌尿器疾患 | 慢性腎炎 | 1 | 0 | 1 | 8 |
| | IgA腎症 | 0 | 1 | 1 | |
| | 蛋白陽性 | 0 | 1 | 1 | |
| | 潜血陽性 | 3 | 2 | 5 | |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | |
| 代謝疾患 | 肥満 | 220 | 76 | 296 | 783 |
| | やせ | 171 | 311 | 482 | |
| | 1型糖尿病 | 1 | 1 | 2 | |
| | 腎性糖尿 | 3 | 0 | 3 | |
| | 高脂血症 | 0 | 0 | 0 | |
| 内分泌疾患 | バセドウ氏病 | 1 | 3 | 4 | 5 |
| | 橋本病 | 0 | 1 | 1 | |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | |
| 血液疾患 | | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 神経・筋疾患 | 片頭痛 | 1 | 1 | 2 | 8 |
| | てんかん | 3 | 1 | 4 | |
| | その他 | 0 | 2 | 2 | |
| 膠原病および類縁疾患 | | 0 | 3 | 3 | 3 |
| アレルギー性疾患 | アトピー性皮膚炎 | 22 | 22 | 44 | 126 |
| | アレルギー性鼻炎 | 17 | 14 | 31 | |
| | 花粉症 | 27 | 24 | 51 | |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | |
| 精神疾患 | | 5 | 12 | 17 | 17 |
| 整形外科疾患 | | 6 | 6 | 12 | 12 |
| 皮膚疾患 | | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 眼科疾患 | | 2 | 2 | 4 | 4 |
| 耳鼻科疾患 | | 2 | 1 | 3 | 3 |
| 歯科・口腔外科疾患 | | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 産婦人科疾患 | | | 30 | 30 | 30 |
| 合 計 | | 511 | 568 | 1,079 | 1,079 |

整理番号6

平成23年度 学生定期健康診断結果

(1) 身体測定

| | 受検者数 | 結 果 | | | | | | | |
|--------|-------|------------|---------------|---------------|------------|-----|------|----|------|
| | | やせ | | 正常 | | 肥満 | | | |
| | | BMI 18.6未満 | BMI 18.6~24.9 | BMI 25.0~29.9 | BMI 30.0以上 | | | | |
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | |
| 教育学部 | 957 | 109 | 11.4% | 745 | 77.8% | 81 | 8.5% | 22 | 2.3% |
| 社会情報学部 | 442 | 71 | 16.1% | 335 | 75.8% | 29 | 6.6% | 7 | 1.6% |
| 医学部 | 1,339 | 203 | 15.2% | 1,036 | 77.4% | 84 | 6.3% | 16 | 1.2% |
| 工学部 | 511 | 99 | 19.4% | 355 | 69.5% | 40 | 7.8% | 17 | 3.3% |
| 合 計 | 3,249 | 482 | 14.8% | 2,471 | 76.1% | 234 | 7.2% | 62 | 1.9% |

(2) 血圧測定

1) 一次検査

| | 受検者数 | 結 果 | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|
| | | 正常血圧 | | 高血圧疑い | | 低血圧症 | |
| | | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 957 | 932 | 97.4% | 22 | 2.3% | 3 | 0.3% |
| 社会情報学部 | 442 | 434 | 98.2% | 8 | 1.8% | 0 | 0.0% |
| 医学部 | 1,339 | 1,301 | 97.2% | 19 | 1.4% | 19 | 1.4% |
| 工学部 | 511 | 506 | 99.0% | 2 | 0.4% | 3 | 0.6% |
| 合 計 | 3,249 | 3,173 | 97.7% | 51 | 1.6% | 25 | 0.8% |

2) 二次検査

| | 対象者数 | 結 果 | | | | 精 密 検 査 結 果 | | | |
|--------|------|------|------|-----|-----|-------------|------|-----|--------|
| | | 正常血圧 | 経過観察 | 要精査 | 未受検 | 異常なし | 経過観察 | 要治療 | 結果報告なし |
| 教育学部 | 22 | 14 | 0 | 6 | 2 | 0 | 2 | 1 | 3 |
| 社会情報学部 | 8 | 4 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 医学部 | 19 | 17 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 工学部 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 51 | 37 | 0 | 8 | 6 | 0 | 3 | 1 | 4 |

(3) 尿検査

1) 一次検査

| | 受検者数 | 結 果 | | 陽 性 項 目 内 訳 | | | |
|--------|-------|------|------|-------------|----|-------|----|
| | | 陽性者数 | % | 蛋白 | 潜血 | 蛋白・潜血 | 糖 |
| 教育学部 | 957 | 21 | 2.2% | 6 | 11 | 0 | 4 |
| 社会情報学部 | 442 | 11 | 2.5% | 3 | 6 | 0 | 2 |
| 医学部 | 1,339 | 21 | 1.6% | 3 | 9 | 0 | 9 |
| 工学部 | 511 | 6 | 1.2% | 1 | 1 | 0 | 4 |
| 合 計 | 3,249 | 59 | 1.8% | 13 | 27 | 0 | 19 |

2) 二次検査

| | 対象者数 | 結 果 | | | | | | 精 密 検 査 結 果 | | | | |
|--------|------|------|------|------|---------|-----|-----|-------------|------|-----|--------|--------|
| | | 異常なし | 蛋白陽性 | 潜血陽性 | 蛋白・潜血陽性 | 糖陽性 | 未受検 | 異常なし | 経過観察 | 要治療 | 結果報告なし | 備 考 |
| 教育学部 | 21 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 社会情報学部 | 11 | 5 | 1 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 0 | 1 | 海綿腎1名 |
| 医学部 | 21 | 16 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| 工学部 | 6 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 腎性糖尿2名 |
| 合 計 | 59 | 42 | 1 | 6 | 0 | 2 | 8 | 2 | 5 | 0 | 2 | |

(4) 胸部X線間接撮影検査

| | 受検者数 | 要精検 | | 精密検査結果 | | | 備考 |
|--------|-------|-----|------|--------|------|-----|----|
| | | 人数 | % | 異常なし | 経過観察 | 要治療 | |
| 教育学部 | 955 | 1 | 0.1% | 0 | 1 | 0 | |
| 社会情報学部 | 441 | 2 | 0.5% | 0 | 2 | 0 | |
| 医学部 | 1,337 | 2 | 0.1% | 2 | 0 | 0 | |
| 工学部 | 511 | 0 | 0.0% | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 3,244 | 5 | 0.2% | 2 | 3 | 0 | |

(5) 内科診察

| | 受検者数 | 要精検 | | | | | | 精密検査結果 | | | |
|--------|-------|-----|------|------------|------|------|------|--------|------|-----|----|
| | | 心雑音 | | 貧血(眼瞼結膜所見) | | 甲状腺腫 | | 異常なし | 経過観察 | 要治療 | 備考 |
| | | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | | | | |
| 教育学部 | 957 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0 | 0 | |
| 社会情報学部 | 442 | 2 | 0.5% | 1 | 0.2% | 0 | 0.0% | 3 | 0 | 0 | |
| 医学部 | 1,339 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0 | 0 | |
| 工学部 | 511 | 1 | 0.2% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 3,249 | 3 | 0.1% | 1 | 0.0% | 0 | 0.0% | 3 | 0 | 0 | |

(6) 心電図検査

健康診断時に心雑音が聴取されず不整脈が理学的に認められたり、過去の心電図検査において異常を指摘されたが確定診断が不明である者を対象とした。

| | 対象者数 | 検査結果 | | | 精密検査結果 | | | | |
|--------|------|------|-----|-----|--------|------|-----|--------|-------|
| | | 正常範囲 | 要精検 | 未受検 | 異常なし | 経過観察 | 要治療 | 結果報告なし | 備考 |
| 教育学部 | 4 | 2 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | WPW1名 |
| 社会情報学部 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 医学部 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| 工学部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 9 | 6 | 3 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | |

(7) 健康支援総合センターでの精密検査

| | 受検者数 | 結果 | | |
|---------|------|------|------|-----|
| | | 異常なし | 要教育者 | 要治療 |
| 血糖・脂質測定 | 20 | 9 | 11 | 0 |
| 糖負荷試験 | 2 | 0 | 2 | 0 |
| 合計 | 22 | 9 | 13 | 0 |

異常なし：異常な理学的所見はあるが、精密検査の結果、放置してもよい病態と診断された者

要教育者：治療を直ちに行う程ではないが、センターで健康教育および定期的な医療機関での観察を要すると診断された者。

要治療：医療機関での治療が必要と判断された者

平成23年度 精神保健調査

昨年に引き続いて、新入生 35 項目在校生 20 項目からなる Gunma University Mental-healthInventory を用い、抑うつに加え、気分変調、精神病像、食行動異常、生活支障度、相談希望をスクリーニングした。

新入生は要面接数に昨年と大きな変化がなく、在校生では約 2 割減となった。一方で、医療機関への紹介が倍増し、カウンセリング継続後に医療機関につなげた事例も含めると、スクリーニングによる早期対応が図られていると考えられる。ちなみに大震災後 1 月以内という状況での記入が多かったが、直接的な影響は質問紙にはあまり明らかに示されなかった。しかし 2 次面接の中では、地震などへの不安、実家が直接的に被災、間接的な影響などを語る学生に出会った。

(1) 新入生の精神保健調査

新入生の精神保健調査は、入学時提出のメンタルヘルス質問票(新入生版)を基に要面接学生を抽出し、健康支援総合センター准教授、臨床心理士および附属病院精神科医師10名との面接をすすめた。

対象学生は、各学部入学生のメンタルヘルス質問票(新入生版)提出者とし、大学院入学生(医学部・工学部を除く)、特別支援教育特別専攻科、編入生(社会情報学部・医学部・工学部)、工学部夜間1年生を含めた。

| | 対象学生数 | 要 面 接 | | 面接を うけた 学生数 | 結 果 | | | | |
|--------|-------|-------|------|-------------------|------|-----------|----------------|------------|-----|
| | | 人数 | % | | 問題なし | 随時の相 談 | カウンセリング 継 続 | 医療機関 紹介 | 通院中 |
| 教育学部 | 279 | 17 | 6.1% | 4 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| 社会情報学部 | 131 | 9 | 6.9% | 7 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 医学部 | 281 | 14 | 5.0% | 7 | 4 | 2 | 1 | 0 | 0 |
| 工学部 | 560 | 31 | 5.5% | 20 | 17 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 1,251 | 71 | 5.7% | 38 | 27 | 9 | 1 | 1 | 0 |

※これまでに精神科、心療内科、神経科に通院歴あり:44名(3.5%)

(2) 在校生の精神保健調査

本調査は、健康診断時に在校生版メンタルヘルス質問票に記入してもらい、要面接学生を抽出し、健康支援総合センター准教授、臨床心理士が面接を行った。対象学生は、荒牧・昭和・桐生・太田地区の健康診断時に在校生版メンタルヘルス質問票を提出した学生とした。

| | 対象学生数 | 要面接 | | 面接を うけた 学生数 | 結 果 | | | | |
|--------|-------|--------|------|-------------------|------|-----------|----------------|------------|-----|
| | | 人数 | % | | 問題なし | 随時の相 談 | カウンセリング 継 続 | 医療機関 紹介 | 通院中 |
| 教育学部 | 666 | 24(2) | 3.6% | 13 | 4 | 3 | 3 | 3 | 0 |
| 社会情報学部 | 300 | 8(1) | 2.7% | 5 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 医学部 | 1,018 | 13 | 1.3% | 10 | 4 | 3 | 0 | 3 | 0 |
| 工学部 | 2,190 | 57(4) | 2.6% | 26 | 7 | 7 | 5 | 3 | 4 |
| 合 計 | 4,174 | 102(7) | 2.4% | 54 | 19 | 13 | 9 | 9 | 4 |

注：() は、通院中またはカウンセリング中にて、面接除外を希望した学生数で内数

※過去1年間に精神科、心療内科、神経科に通院歴あり:82名(2.0%)

(3) 追記:

面接実施状況について

面接施行にあたって、准教授が桐生キャンパスに4回、太田キャンパスに1回赴いた。

臨床心理士は、昭和キャンパスと桐生キャンパスの定期相談日に面接を施行した。

附属病院医師には、荒牧キャンパスに2週間にわたって順次来所していただき面接をお願いした。

整理番号 7

平成 23 年度外国人留学生健康診断結果

本学では、過去 10 年間に於いて感染性結核症の学生が 3 名発生し、すべて外国人留学生であった。そのため、第 8 回健康支援総合センター運営委員会（平成 21 年 8 月 3 日開催）において、外国人留学生に対しクオンティフェロン TB（結核感染診断マーカー検査）を特別健康診断項目として行うことが決定された。

1. 受検状況

| | 対象者数 | 受検者 | | 未受検者内訳 |
|-------------|------|-----|-------|------------------|
| | | 人数 | % | |
| 教育学部 | 12 | 11 | 91.7% | ほとんど大学に来ていない(1名) |
| 社会情報学部 | 15 | 14 | 93.3% | 当日連絡つかず(1名) |
| 医学部 | 9 | 9 | 100% | |
| 工学部 | 70 | 69 | 98.6% | 未入国(1名) |
| 国際教育・研究センター | 0 | 0 | | |
| 合計 | 106 | 103 | 97.2% | |

対象者：学部および大学院 1 年生、学部 3 年次編入生

2. クオンティフェロン TB ゴールト検査結果

| | 受検者数 | 陰性 (-) | | 陽性 (+) | | 疑陽性 (±) | |
|-------------|------|--------|-------|--------|-------|---------|-------|
| | | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 11 | 8 | 72.7% | 3 | 27.3% | 0 | 0% |
| 社会情報学部 | 14 | 13 | 92.9% | 0 | 0% | 1 | 7.1% |
| 医学部 | 9 | 5 | 55.6% | 0 | 0% | 4 | 44.4% |
| 工学部 | 69 | 55 | 79.7% | 7 | 10.1% | 7 | 10.1% |
| 国際教育・研究センター | 0 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 合計 | 103 | 81 | 78.6% | 10 | 9.7% | 12 | 11.7% |

* 参考資料

| | 受検者数 | 陰性 (-) | | 陽性 (+) | | 疑陽性 (±) | |
|-----------------------|------|--------|-------|--------|------|---------|------|
| | | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 平成 21 年度 留学生健康診断結果 | 93 | 83 | 89.2% | 4 | 4.3% | 5 | 5.0% |
| 平成 22 年度 留学生健康診断結果 | 165 | 142 | 86.1% | 11 | 6.7% | 12 | 7.3% |

3. 医療機関受診結果

| | 医療機関紹介者数 | 受診結果 | |
|-------------|----------|------|------------|
| | | 正常 | 潜在性結核として治療 |
| 教育学部 | 3 | 2 | 1 |
| 社会情報学部 | 1 | 1 | 0 |
| 医学部 | 3 | 3 | 0 |
| 工学部 | 9 | 9 | 0 |
| 国際教育・研究センター | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 16 | 15 | 1 |

陽性者全員は、医療機関を紹介した。

4. メンタルヘルス質問票による精神保健調査

| | 受検者数 | 問題なし | | 要面接者数 | |
|-------------|------|--------|-------|-------|------|
| | | 人数 | % | 人数 | % |
| 教育学部 | 11 | 11 | 100% | 0 | 0% |
| 社会情報学部 | 14 | 14(1) | 100% | 0 | 0% |
| 医学部 | 9 | 9(1) | 100% | 0 | 0% |
| 工学部 | 69 | 68(1) | 98.6% | 1 | 1.4% |
| 国際教育・研究センター | 0 | 0 | | 0 | |
| 合計 | 103 | 102(3) | 99.0% | 1 | 1.0% |

() は通院歴のある学生数で内数
要面接者 1 名は、面接の希望なし

整理番号 8

平成23年度 医学部1年ウイルス性疾患(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎)抗体価検査

| 検査項目 | 受検者数 | 陰性 | | 陽性 | |
|-----------|------|----|-------|-----|-------|
| | | 人数 | % | 人数 | % |
| 麻疹抗体 | 271 | 13 | 4.8% | 258 | 95.2% |
| 風疹抗体 | 271 | 7 | 2.6% | 264 | 97.4% |
| 水痘抗体 | 271 | 5 | 1.8% | 266 | 98.2% |
| 流行性耳下腺炎抗体 | 271 | 46 | 17.0% | 225 | 83.0% |

71

～備考～

- ・1種のウイルスに対して抗体価陰性者は52名(19.2%)
- ・2種のウイルスに対して抗体価陰性者は8名(3.0%)
- ・3種のウイルスに対して抗体価陰性者は1名(0.4%)

* 学科別内訳

| 学 科 | 検査項目 | 受検者数 | 陰性 | | 陽性 | |
|------|-----------|------|----|-------|-----|-------|
| | | | 人数 | % | 人数 | % |
| 医学科 | 麻疹抗体 | 108 | 5 | 4.6% | 103 | 95.4% |
| | 風疹抗体 | 108 | 3 | 2.8% | 105 | 97.2% |
| | 水痘抗体 | 108 | 4 | 3.7% | 104 | 96.3% |
| | 流行性耳下腺炎抗体 | 108 | 14 | 13.0% | 94 | 87.0% |
| 保健学科 | 麻疹抗体 | 163 | 8 | 4.9% | 155 | 95.1% |
| | 風疹抗体 | 163 | 4 | 2.5% | 159 | 97.5% |
| | 水痘抗体 | 163 | 1 | 0.6% | 162 | 99.4% |
| | 流行性耳下腺炎抗体 | 163 | 32 | 19.6% | 131 | 80.4% |

71

平成23年度 医学部1年クオンティフェロンTBゴールド検査

| 受検者数 | 陰性 | | 陽性 | | 判定不能 | |
|------|-----|-------|----|------|------|------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 271 | 264 | 97.4% | 4 | 1.5% | 3 | 1.1% |

平成23年度 医学部1年B型肝炎ワクチン接種状況

(1) B型肝炎抗体価検査結果(4月)

| 受検者数 | 結果 | | | |
|------|-----|-------|----|------|
| | 陰性 | | 陽性 | |
| | 人数 | % | 人数 | % |
| 271 | 265 | 97.8% | 6 | 2.2% |

(2) B型肝炎ワクチン接種

| 接種対象者数 | 接種人数 | | | 副作用 | |
|--------|---------|---------|----------|-----|----|
| | 1回目(6月) | 2回目(7月) | 3回目(11月) | 人数 | 症状 |
| 263 | 263 | 261 | 257 | 0 | |

整理番号 9

平成23年度 利用人数

| 所属学部等 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------------|---------|----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 荒牧キャンパス | 教育学部 | 37 | 53 | 45 | 45 | 16 | 5 | 30 | 23 | 32 | 23 | 8 | 9 | 326 |
| | 社会情報学部 | 13 | 31 | 34 | 17 | 18 | 6 | 25 | 24 | 23 | 18 | 14 | 8 | 231 |
| | 医学部 | 14 | 19 | 22 | 16 | 2 | 1 | 8 | 10 | 9 | 4 | 3 | 1 | 109 |
| | 工学部 | 18 | 15 | 29 | 14 | 5 | 5 | 25 | 15 | 16 | 21 | 8 | | 171 |
| | 留学生センター | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 |
| 昭和キャンパス | 医学部 | 14 | 7 | 13 | 3 | 3 | 6 | 8 | 3 | 9 | 6 | 2 | 3 | 77 |
| 桐生・太田キャンパス | 工学部 | 2 | 6 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 17 |
| 合計 | | 98 | 131 | 143 | 96 | 44 | 23 | 99 | 75 | 90 | 72 | 36 | 29 | 936 |

整理番号 10

平成23年度 利用件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 健康相談 | 87 | 75 | 110 | 73 | 20 | 15 | 83 | 55 | 52 | 47 | 17 | 8 | 642 |
| 精神保健相談 | 9 | 41 | 33 | 25 | 19 | 9 | 17 | 22 | 38 | 27 | 19 | 19 | 278 |
| 健康診断書発行 | 2 | 17 | 0 | 1 | 4 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 29 |
| 合計 | 98 | 133 | 143 | 99 | 43 | 24 | 102 | 77 | 91 | 74 | 36 | 29 | 949 |

整理番号 11

平成23年度 健康相談・精神保健相談の対応内容

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | |
|------|----------------------|--------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
| 健康相談 | 肥満治療 | 0 | 0 | 11 | 7 | 4 | 1 | 11 | 10 | 4 | 5 | 5 | 0 | 58 | |
| | レディースクリニック | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| | 外傷処置 | 3 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 8 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 18 | |
| | 検査 | 2 | 0 | 2 | 3 | 0 | 2 | 12 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 25 | |
| | 投薬 | 38 | 32 | 54 | 31 | 6 | 6 | 43 | 24 | 27 | 24 | 3 | 4 | 292 | |
| | 休養ベッド使用 | 2 | 4 | 4 | 3 | 1 | 2 | 0 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 22 | |
| | 健康・保健用器具貸し出し | 0 | 0 | 13 | 2 | 0 | 1 | 3 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 23 | |
| | 医療機関紹介 | 30 | 27 | 27 | 16 | 8 | 5 | 19 | 13 | 12 | 10 | 5 | 0 | 172 | |
| | 救急転送 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 6 | |
| 精神相談 | カウンセリング (荒牧, 昭和分) | 准教授 | 6 | 27 | 14 | 16 | 13 | 7 | 10 | 13 | 24 | 14 | 11 | 13 | 168 |
| | | カウンセラー | 3 | 14 | 19 | 9 | 6 | 2 | 7 | 9 | 14 | 13 | 8 | 6 | 110 |
| | カウンセラー紹介 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 投薬 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 医療機関紹介 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 6 | 2 | 0 | 2 | 17 | |

整理番号 12

平成23年度 疾病領域別利用者数

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|---------|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|
| 内科 | 循環器系 | 8 | 1 | 0 | 5 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 20 |
| | 呼吸器系 | 39 | 35 | 36 | 15 | 3 | 3 | 36 | 15 | 23 | 15 | 10 | 3 | 233 |
| | 消化器系 | 3 | 4 | 11 | 9 | 0 | 2 | 3 | 3 | 2 | 4 | 0 | 0 | 41 |
| | 腎臓系 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 内分泌・代謝系 | 2 | 0 | 11 | 8 | 4 | 1 | 12 | 10 | 4 | 7 | 6 | 2 | 67 |
| | その他 | 9 | 7 | 11 | 12 | 4 | 1 | 4 | 7 | 9 | 5 | 0 | 0 | 69 |
| 精神科 | 11 | 41 | 33 | 26 | 22 | 9 | 17 | 22 | 38 | 29 | 20 | 20 | 288 | |
| 外科・整形外科 | 14 | 19 | 24 | 13 | 4 | 3 | 15 | 9 | 8 | 10 | 3 | 3 | 125 | |
| 脳神経外科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | |
| 泌尿器科 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | |
| 耳鼻咽喉科 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 1 | 2 | 2 | 0 | 1 | 13 | |
| 眼科 | 1 | 1 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 15 | |
| 皮膚科 | 6 | 7 | 11 | 9 | 3 | 4 | 7 | 9 | 4 | 4 | 0 | 0 | 64 | |
| 歯科・口腔外科 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 7 | |
| 産婦人科 | 4 | 3 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | |
| 合計 | | 99 | 120 | 145 | 102 | 46 | 26 | 104 | 79 | 94 | 80 | 41 | 30 | 966 |

整理番号 13

平成23年度 医療機関紹介の診療科分類

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 内科 | 循環器系 | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 7 |
| | 呼吸器系 | 12 | 7 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 27 |
| | 消化器系 | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| | 腎臓系 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 内分泌・代謝系 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | その他 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 15 |
| 精神科 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 6 | 2 | 0 | 2 | 17 |
| 外科・整形外科 | | 4 | 13 | 12 | 6 | 2 | 1 | 7 | 6 | 3 | 4 | 1 | 0 | 59 |
| 脳神経外科 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 泌尿器科 | | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 耳鼻咽喉科 | | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 11 |
| 眼科 | | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 5 |
| 皮膚科 | | 2 | 2 | 5 | 5 | 2 | 3 | 4 | 4 | 2 | 1 | 0 | 0 | 30 |
| 歯科・口腔外科 | | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 産婦人科 | | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 合計 | | 31 | 29 | 28 | 18 | 9 | 6 | 19 | 14 | 20 | 12 | 5 | 2 | 193 |

整理番号 14

平成23年度 精神保健相談者数

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 荒牧キャンパス | 教育学部 | 3 | 15 | 10 | 11 | 8 | 0 | 5 | 7 | 10 | 3 | 3 | 2 | 77 |
| | 社会情報学部 | 4 | 17 | 11 | 7 | 9 | 3 | 7 | 8 | 14 | 8 | 8 | 8 | 104 |
| | 医学部 | 0 | 1 | 2 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 10 |
| | 工学部 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 3 | 11 | 6 | 5 | 30 |
| | 留学生センター | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 昭和キャンパス | 医学部 | 2 | 6 | 9 | 2 | 0 | 6 | 4 | 3 | 10 | 5 | 1 | 2 | 50 |
| 桐生キャンパス | 工学部 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 7 |
| 合計 | | 9 | 41 | 33 | 25 | 19 | 9 | 17 | 22 | 38 | 27 | 19 | 19 | 278 |

ほかに教職員の総数10名に対して応急措置としての精神保健相談を行った。

整理番号 15

平成23年度 精神保健相談内容

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------|--|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 心理性格 | | 1 | 7 | 5 | 5 | 1 | 3 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | 30 |
| 対人関係 | | 3 | 10 | 5 | 5 | 4 | 4 | 3 | 6 | 12 | 9 | 8 | 8 | 77 |
| 心体の不調 | | 5 | 22 | 18 | 12 | 9 | 5 | 8 | 17 | 21 | 11 | 6 | 6 | 140 |
| 修学 | | 3 | 14 | 9 | 5 | 8 | 1 | 7 | 4 | 12 | 9 | 8 | 6 | 86 |
| その他 | | 2 | 7 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 3 | 22 |
| 合計 | | 14 | 60 | 38 | 29 | 23 | 13 | 20 | 28 | 49 | 31 | 24 | 26 | 355 |

1回の相談につき、相談内容が複数の場合があります。

資料番号 13

整理番号 16

平成23年度 薬剤別使用数（処方日数による）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------------|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-------|
| 抗 生 剤 | 3 | 8 | 11 | 3 | 11 | 0 | 14 | 17 | 5 | 25 | 0 | 3 | 100 |
| 解熱・消炎・鎮痛剤 | 20 | 32 | 27 | 19 | 3 | 0 | 24 | 21 | 41 | 36 | 9 | 6 | 238 |
| 感 冒 剤 | 52 | 55 | 75 | 39 | 4 | 3 | 80 | 35 | 51 | 32 | 20 | 8 | 454 |
| 健胃剤・抗潰瘍剤 | 8 | 1 | 5 | 19 | 3 | 6 | 0 | 11 | 8 | 12 | 0 | 0 | 73 |
| 整 腸 剤 | 2 | 8 | 6 | 9 | 0 | 3 | 6 | 0 | 3 | 3 | 3 | 0 | 43 |
| 止 瀉 剤 | 1 | 2 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 16 |
| 鎮 吐 剤 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 3 | 3 | 3 | 2 | 0 | 0 | 17 |
| 抗ヒスタミン剤 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 精 神 安 定 剤 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 含 嗽 剤 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 口腔内塗布剤 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 外用副腎皮質ホルモン剤 | 0 | 0 | 4 | 3 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 12 |
| 外用抗生剤 | 3 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| 外用抗ウイルス剤 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 外用抗ヒスタミン剤 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 外用消炎剤 | 6 | 6 | 7 | 3 | 0 | 2 | 3 | 1 | 3 | 0 | 0 | 1 | 32 |
| 点 眼 薬 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 9 |
| 補 液 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 98 | 118 | 140 | 103 | 23 | 23 | 135 | 93 | 121 | 112 | 32 | 18 | 1,016 |

整理番号 17

平成23年度 常備薬使用数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | |
|------------|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-------|-------|
| ケフラル | 18 | 48 | 0 | 0 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 84 | 260 |
| ケフレックス | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 36 | 36 | 0 | 18 | 0 | 18 | 108 | |
| クラビット | 0 | 0 | 11 | 3 | 8 | 0 | 8 | 11 | 5 | 22 | 0 | 0 | 68 | |
| スバラ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 664 |
| ボルタレン | 54 | 81 | 81 | 36 | 9 | 0 | 66 | 45 | 108 | 81 | 18 | 18 | 597 | |
| カロナール | 0 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15 | 27 | 0 | 0 | 54 | |
| インデバンsp | 2 | 1 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 1,353 |
| SG顆粒 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| PL顆粒 | 156 | 156 | 225 | 117 | 12 | 9 | 240 | 105 | 153 | 96 | 60 | 24 | 1,353 | |
| セルベックス | 18 | 1 | 6 | 35 | 9 | 6 | 0 | 33 | 24 | 27 | 0 | 0 | 159 | 165 |
| タケブロン | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 6 | |
| ラックビー微粒N | 6 | 24 | 18 | 27 | 0 | 9 | 18 | 0 | 9 | 3 | 9 | 0 | 123 | 123 |
| ロベミン | 1 | 2 | 0 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21 | 0 | 0 | 0 | 42 | 42 |
| ブリンパラン | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 9 | 18 | 9 | 6 | 0 | 0 | 51 | 51 |
| ジルテック | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| セルシン | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| イソジンガーゲル | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 |
| デスバ | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| リンデロンVG | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | 11 |
| デルモベートクリーム | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | |
| ゲンタシン軟膏 | 3 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 11 |
| アラセナーA軟膏 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| レスタミン | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 |
| MS湿布 | 7 | 6 | 18 | 4 | 0 | 3 | 8 | 3 | 3 | 0 | 0 | 1 | 53 | 53 |
| タリビット点眼薬 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 9 | 9 |
| 生理食塩水 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 268 | 337 | 371 | 252 | 58 | 39 | 390 | 258 | 347 | 285 | 87 | 61 | 2,753 | 2,753 |

整理番号 19

学外臨床心理士による心理カウンセリング数《平成23年度》

～学生～

カウンセリング人数

| 実施キャンパス | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 荒牧地区 | 1 | 4 | 8 | 4 | 5 | 2 | 3 | 4 | 7 | 3 | 3 | 3 | 47 |
| 昭和地区 | 1 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 3 | 4 | 0 | 1 | 21 |
| 桐生地区 | 9 | 20 | 16 | 14 | 8 | 8 | 14 | 10 | 13 | 14 | 11 | 15 | 152 |
| 太田地区 | 2 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 11 |
| 合計 | 13 | 29 | 30 | 19 | 13 | 10 | 20 | 16 | 25 | 21 | 15 | 20 | 231 |

カウンセリング回数

| 実施キャンパス | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 荒牧地区 | 2 | 9 | 14 | 9 | 6 | 2 | 4 | 7 | 11 | 9 | 8 | 5 | 86 |
| 昭和地区 | 1 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 3 | 4 | 0 | 1 | 24 |
| 桐生地区 | 14 | 26 | 25 | 19 | 11 | 19 | 29 | 20 | 20 | 20 | 16 | 24 | 243 |
| 太田地区 | 2 | 3 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 13 |
| 合計 | 19 | 43 | 47 | 29 | 17 | 21 | 36 | 29 | 36 | 33 | 25 | 31 | 366 |

カウンセリング動機内訳

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 心理性格 | 0 | 2 | 4 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| 対人関係 | 4 | 11 | 8 | 11 | 8 | 8 | 14 | 14 | 16 | 17 | 13 | 10 | 134 |
| 心体の不調 | 7 | 18 | 22 | 7 | 8 | 10 | 17 | 12 | 11 | 9 | 9 | 11 | 141 |
| 修学影響心理等 | 6 | 11 | 11 | 6 | 0 | 2 | 4 | 3 | 7 | 5 | 2 | 10 | 67 |
| その他 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 13 |
| 合計 | 19 | 43 | 47 | 29 | 17 | 21 | 36 | 29 | 36 | 33 | 25 | 31 | 366 |

～職員～

カウンセリング人数

| 実施キャンパス | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 荒牧地区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 昭和地区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 桐生地区 | 3 | 0 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 12 |
| 太田地区 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | 3 | 0 | 3 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 15 |

カウンセリング回数

| 実施キャンパス | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 荒牧地区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 昭和地区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 桐生地区 | 4 | 0 | 3 | 1 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 15 |
| 太田地区 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | 4 | 0 | 4 | 1 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 18 |

カウンセリング動機内訳

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 心理性格 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 対人関係 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 心体の不調 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 修学影響心理等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 4 | 0 | 4 | 1 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 17 |
| 合計 | 4 | 0 | 4 | 1 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 18 |

群馬大学保健管理センター規程

(昭和 52. 7.25 制定)

改訂 昭和 58. 4. 1 昭和 60. 4. 1
平成 8. 4. 1 平成 10. 2. 1
平成 12. 4. 1

(趣 旨)

第 1 条 この規程は、群馬大学学則第 11 条の規定に基づき、群馬大学保健管理センター（以下「センター」という。）に関して必要な事項を定める。

(目 的)

第 2 条 センターは、学生及び職員の健康の健康の保持増進を図り、その将来にわたる健康の確保に寄与することを目的とする。

(業 務)

第 3 条 センターは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 学生の定期及び臨時の健康診断を実施すること。
- (2) 職員の定期健康診断等の保健に関する専門的業務の実施について協力すること。
- (3) 身体的及び精神的健康相談に応じ、応急処置又は保健指導等を行うこと。
- (4) 保健思想の普及及び啓蒙等の健康の保持増進上必要な教育・指導を行うこと。
- (5) 健康の保持増進について必要な企画、立案について指導助言を与えること。
- (6) 学内の環境衛生及び伝染病の予防について指導助言を行うこと。
- (7) 保健管理の充実向上のための調査研究を行うこと。
- (8) その他健康の保持増進について必要な専門的業務を行うこと。

(組 織)

第 4 条 センターに、次の職員を置く。

- (1) 所長
- (2) 専任教官
- (3) 学校医
- (4) カウンセラー
- (5) 技術職員
- (6) その他必要な職員

(所 長)

第 5 条 所長は、本学の教授又は助教授をもって充てる。

2 所長は、センターの業務を掌理する。

3 所長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の補欠の所長の任期は、前任者の残任期間とする。

4 所長及び専任教官の選考は、群馬大学保健管理センター管理委員会（以下「管理委員会」という。）の議に基づき、学長が行う。

(保 健 管 理 医)

第 6 条 保健管理医は、センターの専任教官をもって充てる。

2 保健管理医は、センターの専門的業務に従事する。

(技 術 職 員)

第 7 条 技術職員は、センターの技術的業務に従事する。

(運 営 委 員 会)

第 8 条 センターの円滑な運営を図るため、群馬大学保健管理センター運営委員会を置く。

2 運営委員会に関する事項は、別に定める。

(分 室)

第 9 条 保健管理上必要があるときは、センターに分室を設けることができる。

(事 務)

第 10 条 センターの運営に関する事務は、当分の間、学生部厚生課において処理する。

(規 程 の 改 廃)

第 11 条 この規程の改廃は、管理委員会の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

保健管理センターの設置について

〔 昭和四十一年五月二十日 〕
〔 文部省大学学術局 〕

1 設置の趣旨

保健管理センターは、大学の保健管理に関する専門的業務を一体的に行う厚生補導のための施設として設置し、学生の心身の健康の保持増進をはかることを目的とする。

2 業務内容

保健管理センターにおいては、概ね次のような業務を行うものとする。

- ① 学生の定期及び臨時の健康診断の業務を行うこと。
- ② 学生のため随時健康相談に応じること。
- ③ 学生に対し健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導を行うこと。
- ④ 学内の環境衛生及び伝染病の予防について指導援助すること。
- ⑤ 学内保健計画の立案について指導援助すること。
- ⑥ 保健管理の充実向上のための調査研究を行うこと。
- ⑦ その他学生の健康の保持増進について必要な専門的業務を行うこと。

3 施設及び設備

保健管理センターの施設及び設備は、「国立大学における厚生補導に関する基準的な施設・設備（昭和40年2月学生課作成）」に規定する保健管理センターの施設及び設備を標準として整備するものとする。

4 組織及び運営

- ① 保健管理センターは、学部に属しない全学共通施設とする。
- ② 保健管理センターに所長を置き、教授又は助教授をもってあてるものとする。所長は、保健管理センターの所務を掌理するものとする。
- ③ 保健管理センターに所長のほか、教授、助教授、講師又は助手及び技術職員を置くものとする。
- ④ 保健管理センターの運営については、必要に応じ、その審議にあたるものとして保健管理センター運営委員会を置くものとする。

平成23年度 学校医・カウンセラー

学校医(通年)

| | |
|-------------|--------|
| 医学部附属病院教授 | 田村 遵一 |
| 医学部医学系研究科講師 | 石塚 全 |
| 医学部附属病院講師 | 前野 敏孝 |
| 医学部医学系研究科助教 | 内海 英貴 |
| 医学部附属病院講師 | 五十嵐 茂雄 |
| 医学部附属病院教授 | 大嶋 清宏 |

精神科医(メンタルヘルススクリーニング)

| | |
|-------------|-------|
| 医学部附属病院講師 | 米村 公江 |
| 医学部附属病院助教 | 間島 竹彦 |
| 医学部附属病院助教 | 成田 耕介 |
| 医学部附属病院助教 | 亀山 正樹 |
| 医学部医学系研究科助教 | 成田 秀幸 |
| 医学部附属病院助教 | 高橋 啓介 |
| 医学部附属病院助教 | 武井 雄一 |
| 医学部医学系研究科助教 | 酒井 努 |
| 医学部附属病院助教 | 青山 義之 |
| 医学部附属病院医員 | 栗田 澄江 |

カウンセラー

| | |
|-----------|-------|
| 医学部附属病院講師 | 米村 公江 |
| 医学部附属病院助教 | 間島 竹彦 |

第12回（平成23年度第1回）健康支援総合センター運営委員会次第

1 日 時 平成23年7月11日（月） 15時30分～

2 場 所 教養教育GB棟2階大会議室

3 議 題

○ 協議事項

- (1) 平成24年度学生の定期健康診断日程（案）について 【資料1】
- (2) 工学部桐生地区キャンパスソーシャル・ワーカーに係る予算確保
について（案） 【資料2】
- (3) 学外心理カウンセラーの平成24年度以降の業務体制について 【資料3】
- (4) 健康支援総合センターの精神科医によるメンタルヘルスに問題を
有する学生を担当している教員に対する相談業務の全学展開につ
いて 【資料4】
- (5) 各学部等提出の協議事項について

○ 報告事項

- (1) 平成23年度学生定期健康診断結果について 【資料5】
- (2) 平成22年度工学部桐生地区キャンパスソーシャルワーカーの業
務実施概要について 【資料6】
- (3) 第2期中期計画の平成22年度実施報告について 【資料7】
- (4) 平成22年度健康支援総合センター業務実施データについて 【資料8】
- (5) その他

第13回（平成23年度第2回）健康支援総合センター運営委員会次第

1 日 時 平成23年12月5日（月） 14時～

2 場 所 事務局5階特別会議室

3 議 題

○ 協議事項

- (1) 平成24年度健康支援総合センター業務計画（案）について 【資料1】
- (2) 平成24年度工学部桐生地区へのキャンパスソーシャル・ケース
ワーカーの継続について 【資料2】
- (3) 医学部健康支援相談員の継続配置及び予算確保について 【資料3-1】
【資料3-2】
- (4) 医学部保健室の整備計画について
- (5) 平成24年度中期計画実施計画について 【資料4】
- (6) 各学部等提出の協議事項について
- (7) その他

○ 報告事項

- (1) 平成24年度学生定期健康診断担当附属病院医師の派遣依頼につ
いて 【資料5】
- (2) 平成23年度中期計画実施報告について 【資料6】
- (3) 外国人留学生特別健康診断結果報告について 【資料7】
- (4) メンタルヘルス研究会開催（平成24年2月17日）について 【資料8】
- (5) 平成23年度全国保健管理研究集会及び国立大学保健管理施設協
議会報告について 【資料9】
- (6) 北関東・甲信越地区メンタルヘルス研究協議会報告について 【資料10】
- (7) 群馬県内大学等保健管理担当者会議及び全国大学保健管理協会関
東甲信越地方部会保健・看護分科会運営委員会報告について 【資料11】
- (8) 平成23年度カウンセラー・キャンパスソーシャル・ケースワー
カーと工学部国際交流・学生支援委員会委員長等との懇談会につ
いて 【資料12】
- (9) その他

第二期中期目標・中期計画に係る6年間の実施予定計画

基本方針

1. 第I期に引きつぎ現有的健康支援総合センターの教職員の能力を活用した学生への健康管理施策の改善を継続する。
2. 学生の健康管理に関する教職員が絶対的に不足している衛生地区についてはカウんセラの常駐化で対応するようにする。
3. 学生用の医療職が配置されていない昭和地区においては保健師等の配置の可能性について結論を得る。

| | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|---|---|---|--|------|------|------|
| 7 メンタルヘルスの充実のために学生に係る精神保健調査・カウんセラ実施評価方法等の調査・検討を行う。 | 1. 学生定期健康診断における精神保健調査項目の改定を検討する。 2. 精神面等による休学者への精神保健調査を検討する。 3. 留学生への精神保健調査を検討する。 4. カウんセラ等の実施結果の評価方法等の検討を行う。 | 1. 改訂した精神保健調査項目により学生定期健康診断に調査する。 2. 精神面等による休学者への精神保健調査を行う。 3. 留学生への精神保健調査を行う。 4. 新たな評価方法によりカウんセラの実施結果の評価を行う。 | → | → | → | → |
| 8 健康支援拡充用保健師の配置及びメンタルヘルスの充実のためにカウんセラ（臨床心理士）の担当時間増を図る。 | | 1. 工学部担当カウんセラ等の昼間授業期間中における常駐化を検討する。 | → | → | → | → |
| 9 健康相談の充実を図る。 | 1. 教員への精神相談コンサルテーションの試行を行う。 2. メンタルヘルス担当専門者間でのカンファレンスを実施する。 3. 学生のメンタルヘルスに関するピアサポート計画の策定を行う。 4. 群馬県内大学等メンタルヘルス関係者ネットワークの立ち上げを行う。 | 1. 教員への精神相談コンサルテーションの試行結果の改善を行う。 3. 学生のメンタルヘルスに関するピアサポートを試行する。 4. 群馬県内大学等メンタルヘルス関係者ネットワークの活用を開始する。 | 1. 教員への精神相談コンサルテーションを行う。 2. 昭和地区健康支援担当保健師等の配置の可能性を検討する。 3. 学生のメンタルヘルスに関するピアサポートを実施する。 4. 群馬県内大学等メンタルヘルス関係者ネットワークを県内大学等メンタルヘルス研究会に発展させる。 | → | → | → |
| | | 1. 工学部担当カウんセラ等の昼間授業期間中における常駐化を図る。 2. 昭和地区健康支援担当保健師等の配置の可能性を得る。 5. 不適応学生への精神保健調査を実施する。 | → | → | → | → |

平成23年度

健康支援総合センター運営委員会委員名簿

平成23年4月1日

| 所属・職名 | 委 員 | | | 関 係 職 員 | | |
|------------------------------|------------------------------|------|-------|---------------|---------|------|
| | 氏 名 | 内 線 | 規定第3条 | 職 名 | 氏 名 | 内 線 |
| センター長・委員長 理事(教育・国際交流担当) | 石 川 治 osamuish@med. | 7112 | 1号委員 | | | |
| 副センター長 健康支援総合センター専任教員 | 大 島 喜 八 kihachi@aramaki. | 7160 | 2号委員 | 看護師 | 八重樫 聡 子 | 7161 |
| 健康支援総合センター 健康支援総合センター専任教員 | 上 原 徹 toruaki@ | 7162 | 3号委員 | | | |
| 教育学部 学生支援委員長 | 西 園 大 実 zono@edu. | 7342 | 4号委員 | 教務係長 | 石 森 正 二 | 7223 |
| 社会情報学部 学生委員 | 柿 本 敏 克 kakimoto@si. | 7462 | 4号委員 | 教務係長 | 尾 上 吉 男 | 7404 |
| 医学系研究科医科学専攻 教務部会長 | 村 上 正 巳 mmurakam@showa. | 8550 | 4号委員 | 学生支援係長 | 西 川 二 郎 | 7796 |
| 医学部保健学科 厚生補導専門委員長 | 小 河 原 はつ江 ogawara@health. | 8938 | | | | |
| 工 学 部 国際交流・学生支 援委員長 | 中 川 紳 好 nakagawa@cee. | 1458 | 4号委員 | 学生支援係長 | 吉 田 潔 | 1023 |
| | | | | 看護師 | 小野里 清 美 | 1044 |
| 総務部長 | 堀 川 光 久 mhorijimu. | 7002 | 5号委員 | 人事労務課 専門職員 | 加 藤 守 | 7023 |
| 学 務 部 長 | 池 田 三喜男 mikeda25@jimui. | 7121 | 5号委員 | 学生支援課長 | 佐 藤 剛 史 | 7135 |
| | | | | 副課長 | 後 藤 孝 一 | 7136 |
| | | | | 学生支援係長 | 中 野 政 一 | 7138 |

健康支援総合センター規程

平成 18. 4. 1 制定

(趣 旨)

第 1 条 この規程は、群馬大学大学教育・学生支援機構規則第 3 条第 2 項の規定に基づき、健康支援総合センター（以下「センター」という。）に関し必要な事項を定める。

(目 的)

第 2 条 センターは、群馬大学(以下「本学」という。)の学生及び教職員の心身の健康の保持増進を図ることを目的とする。

(業 務)

第 3 条 センターは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 健康診断の企画、立案及び実施に関すること。
 - (2) 健康診断の事後処置等に係る指導助言に関すること。
 - (3) 身体的及び精神的（カウンセリングを含む。）な健康相談に関すること。
 - (4) 応急措置に関すること。
 - (5) 健康に係る調査及び研究に関すること。
 - (6) 伝染病の予防及び環境衛生に係る指導助言に関すること。
 - (7) その他センターの目的を達成するために必要な事項
- 2 センターは、業務を行うに当たって、必要に応じ各事業場の安全衛生委員会その他関係部局と連携するものとする。

(職 員)

第 4 条 センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 専任教員
- (4) 学校医
- (5) カウンセラー
- (6) 技術職員
- (7) その他必要な職員

(センター長)

第 5 条 センター長は、学長が指名する理事をもって充てる。

- 2 センター長は、センターの業務を掌理する。
- 3 センター長の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合は、前任者の残任期間とする。

(副センター長)

第 6 条 副センター長は、本学の教員のうち学長が指名する者をもって充てる。

- 2 副センター長は、センター長を補佐し、センター長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 副センター長の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合は、前任者の残任期間とする。

(専任教員)

第 7 条 専任教員の選考は、大学運営会議の議に基づき、学長が行う。

(健康支援室)

第 8 条 保健管理上必要があるときは、センターに健康支援室を置くことができる。

(運営委員会)

第 9 条 センターの円滑な運営を図るため、健康支援総合センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

- 2 運営委員会については、別に定める。

(事 務)

第 10 条 センターの事務は、当分の間、その業務内容により総務部人事労務課及び学務部学生支援課において関係部局と協力して処理する。

(雑 則)

第 11 条 この規程に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、機構長が別に定める。

(規程の改廃)

第 12 条 この規程の改廃は、大学運営会議の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。